

症例 D1

D判定

6施設再判定:D 6

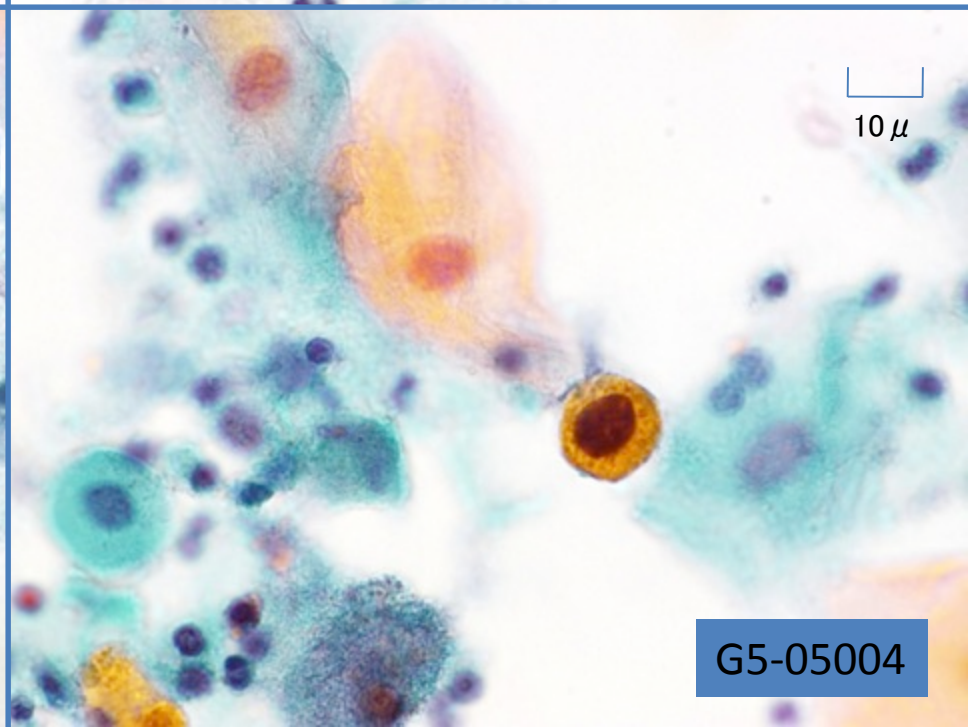
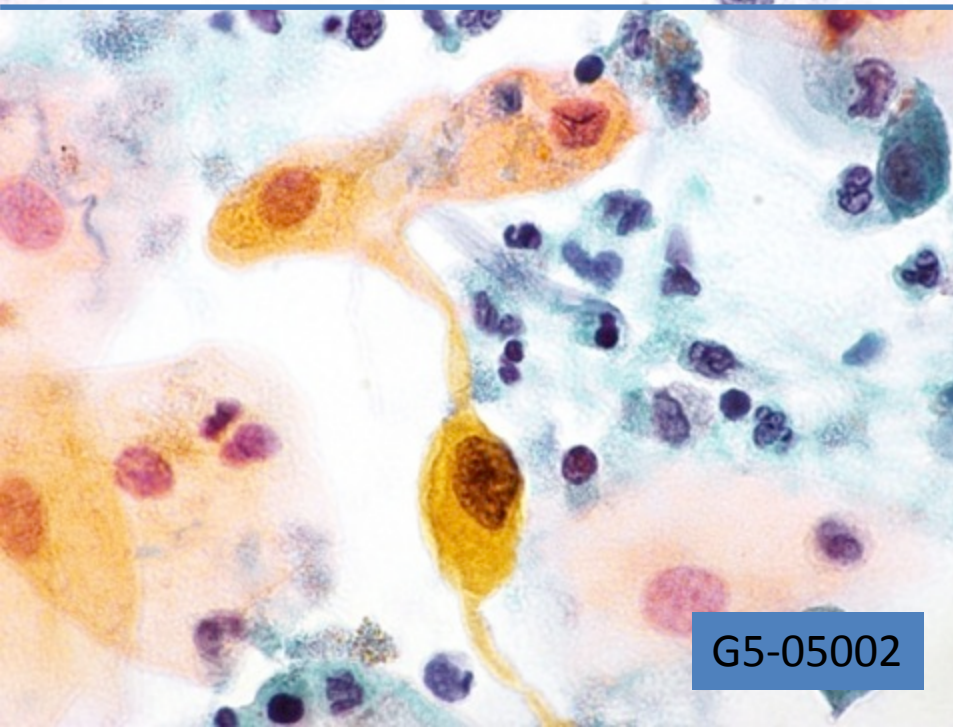
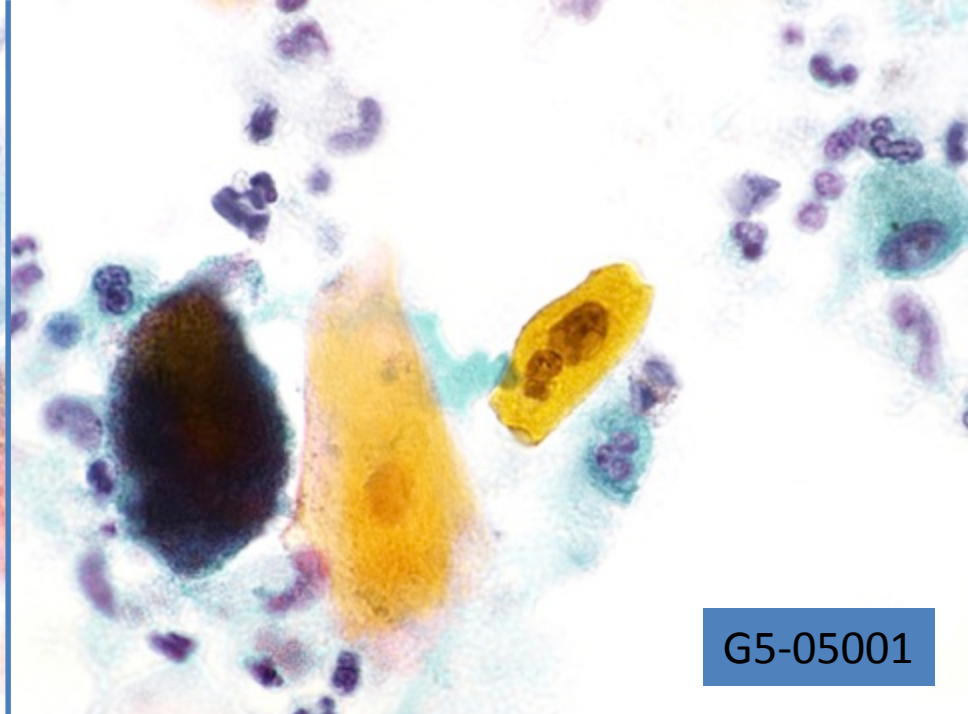
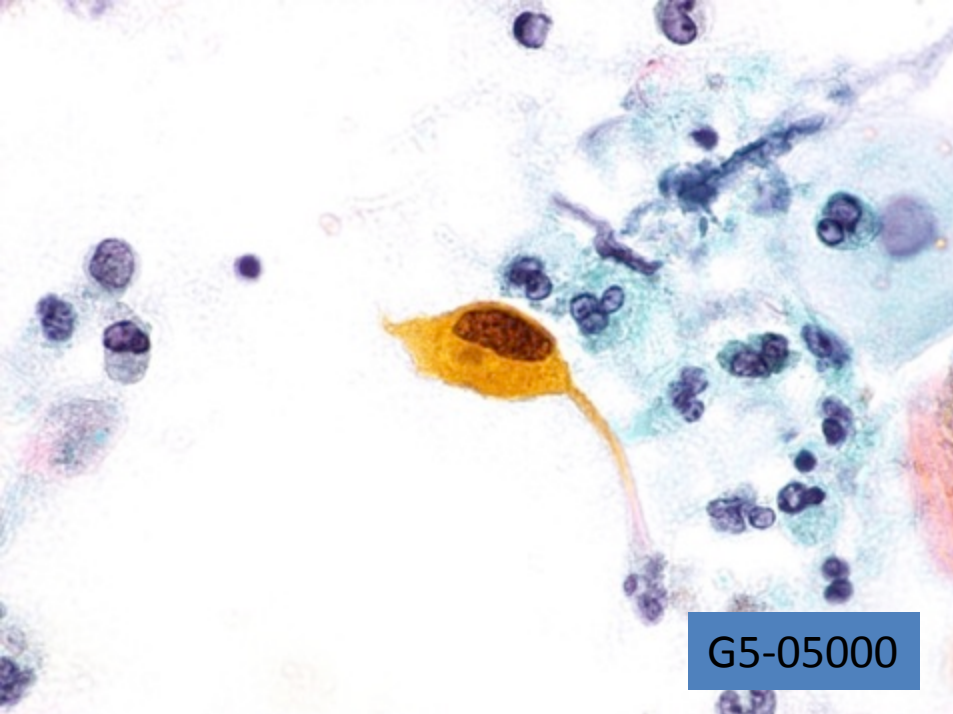
類円形～不整形の、多くは小型細胞で、OG濃染し、クロマチン中等度増量を認める。

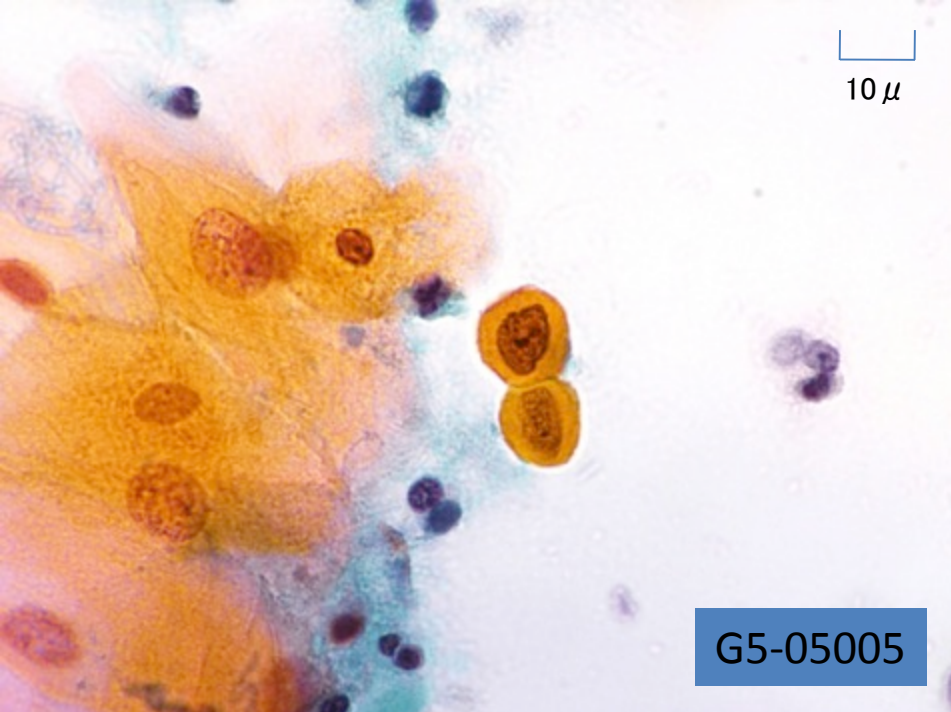
C判定としない理由

- ・ クロマチン中等度増量(G5-05000, 05002)
- ・ クロマチン粗顆粒状

E判定としない理由

- ・ 小型の細胞が主体
- ・ 細胞質の厚みが足りない





10 μ

G5-05005

症例 D2

D判定

6施設再判定:D 6

光輝性橙黄色に濃染する細胞(G1-09000,09003,09004,09006,09010)で、小型～大型細胞で大小不同を認める。N/C比小～大で、クロマチンはやや不均等分布を呈す。

C判定としない理由

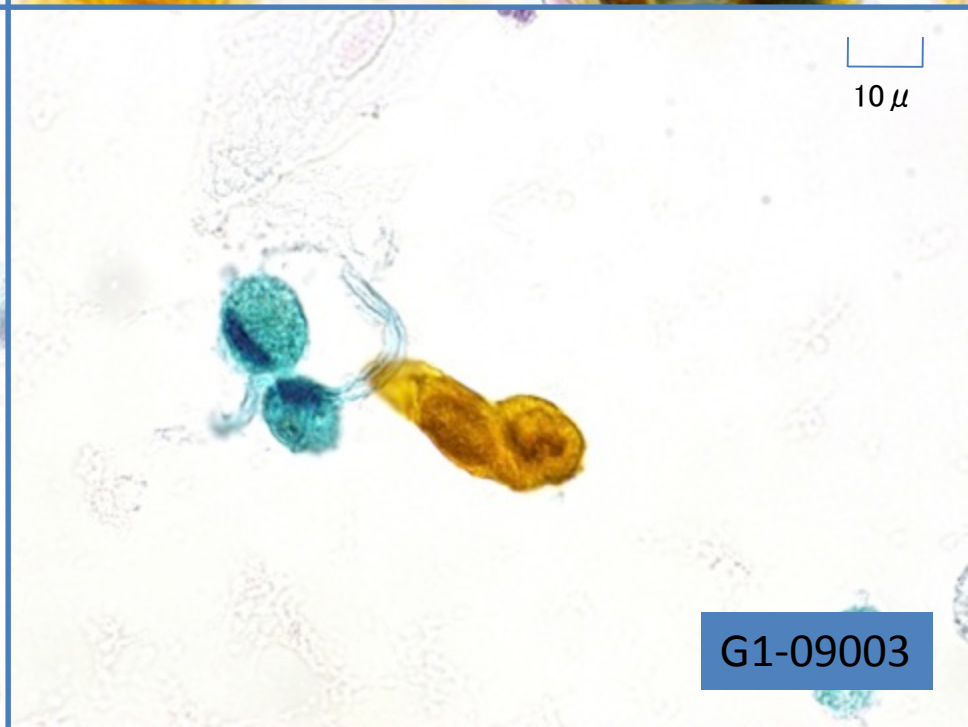
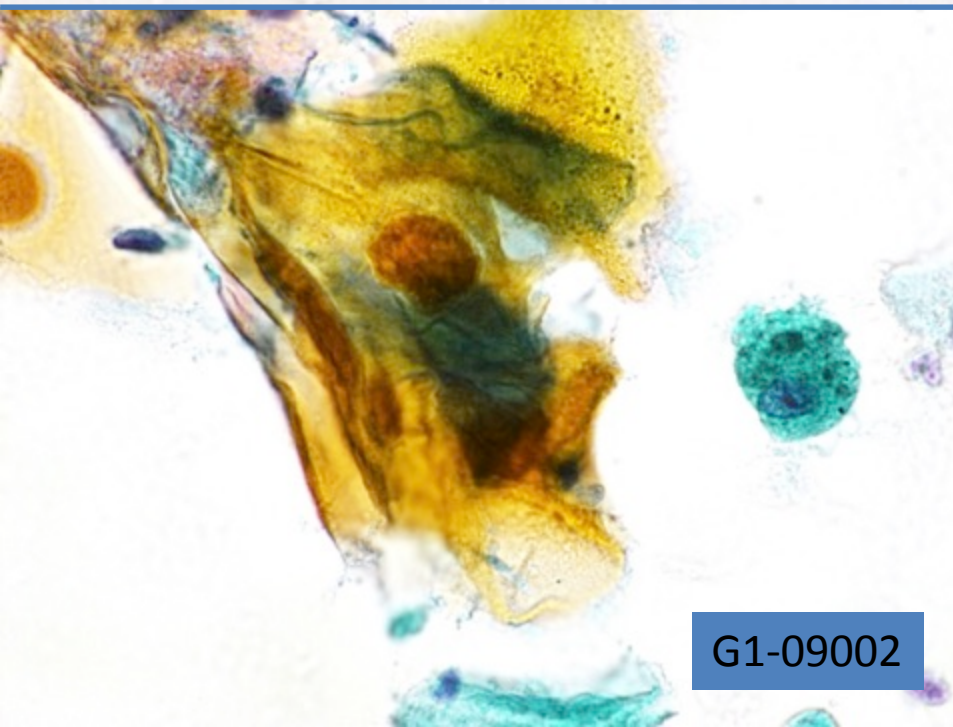
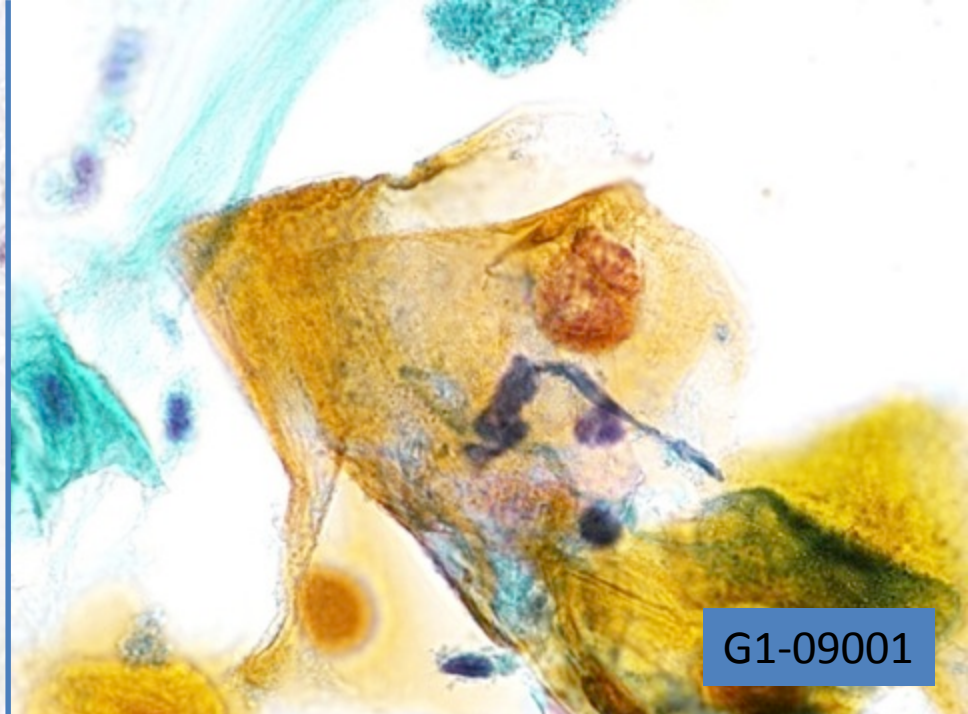
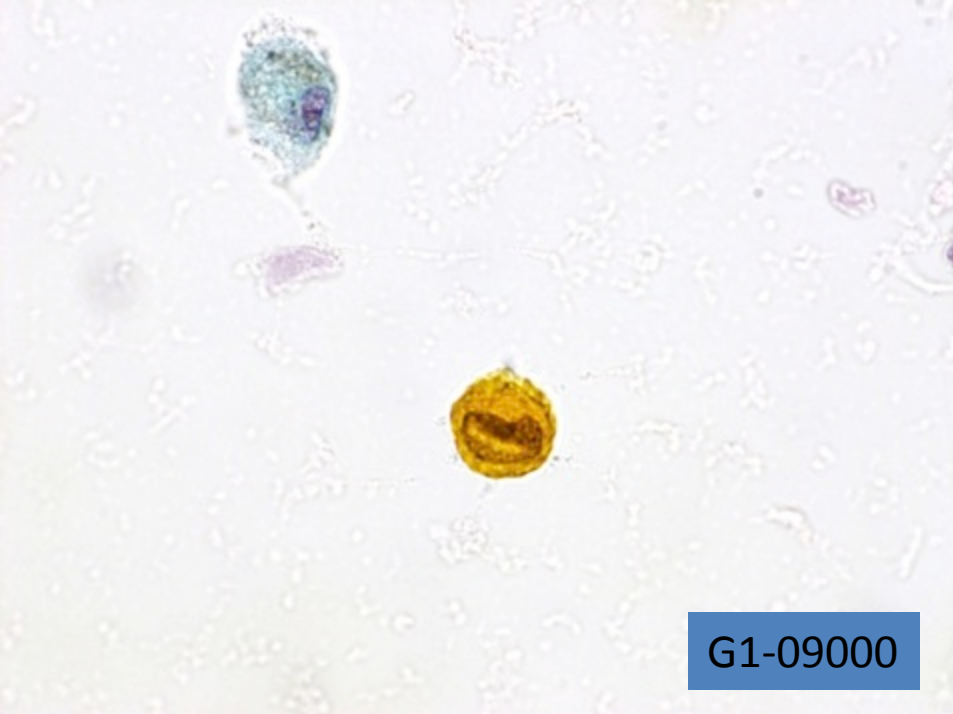
- ・ クロマチン粗剛、核の大小不同、配列の乱れ(G1-09001,09002, 09010)

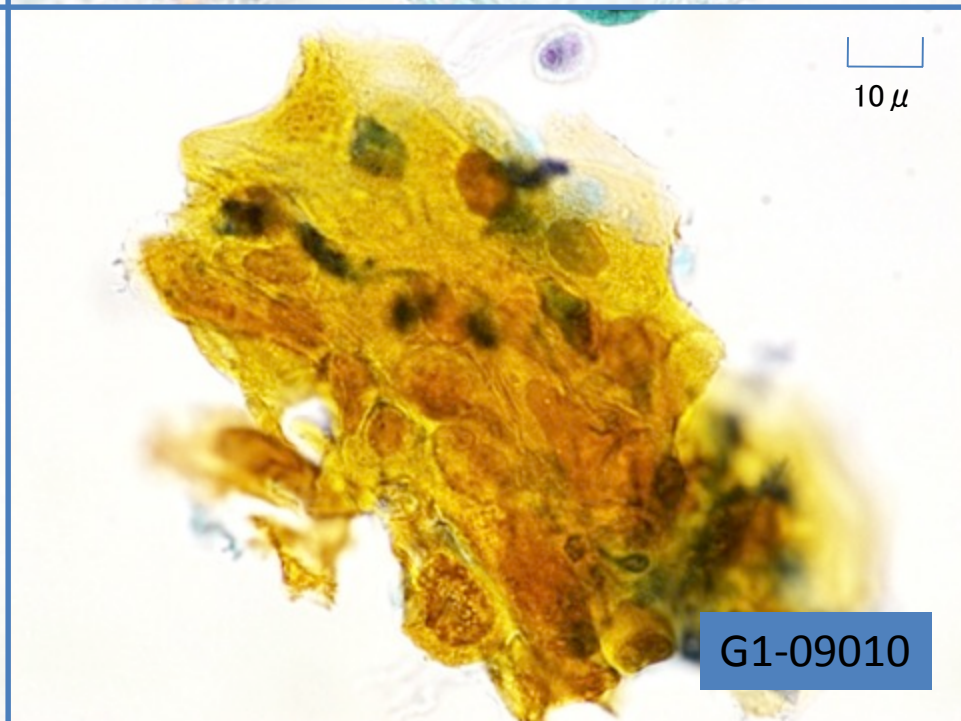
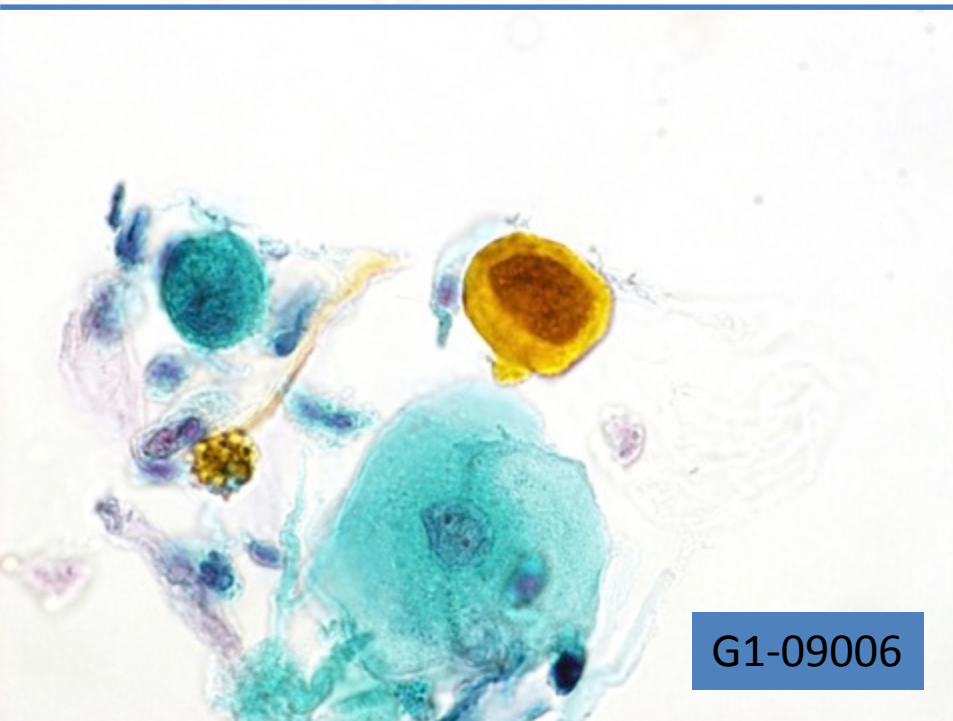
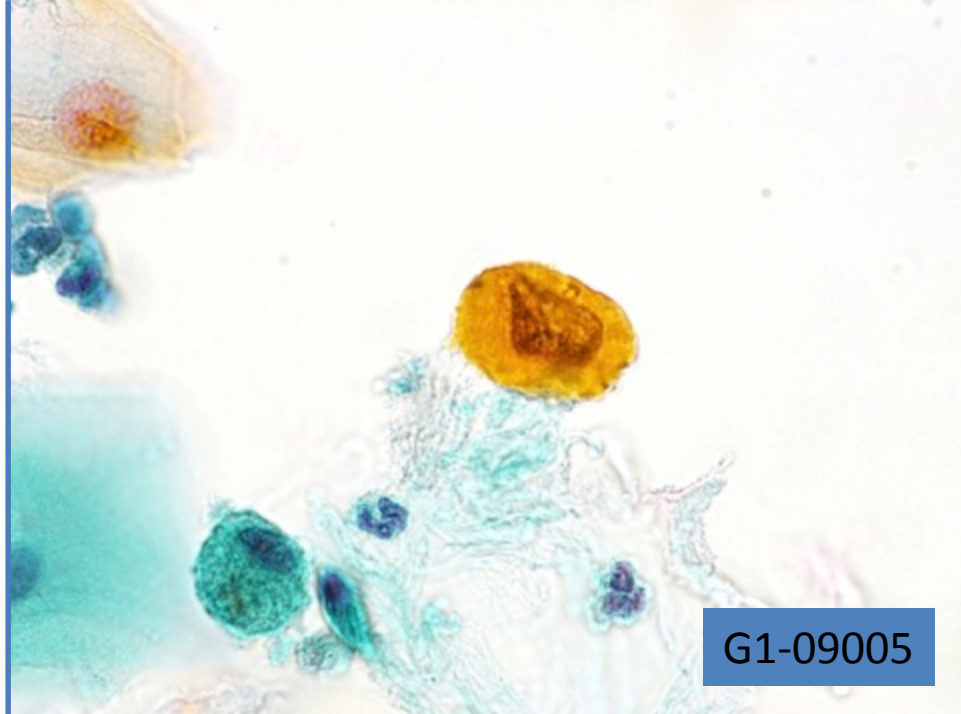
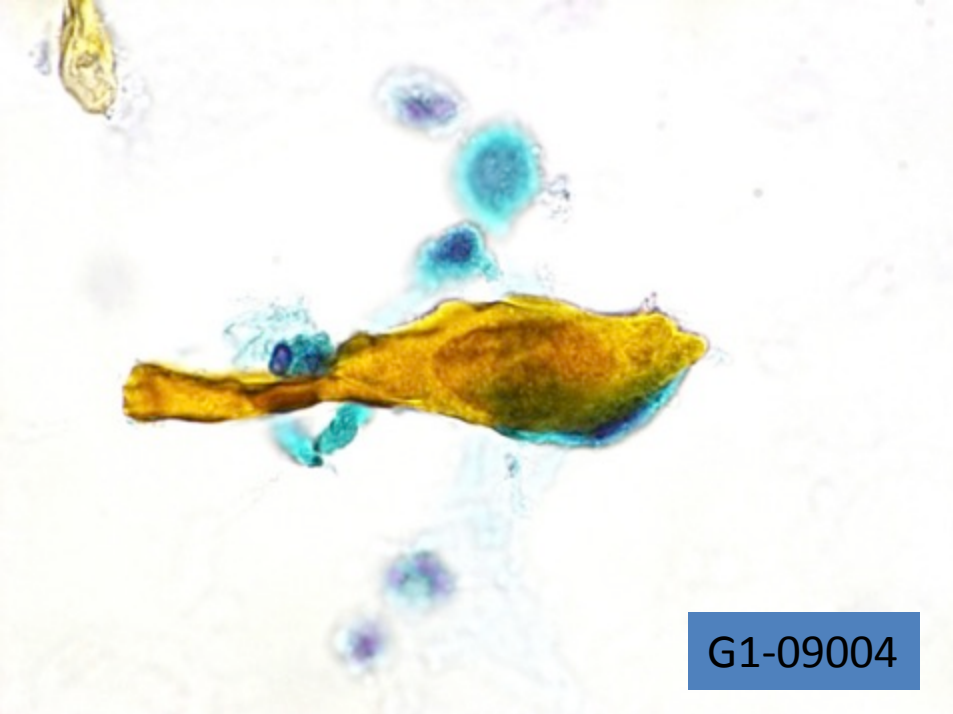
E判定としない理由

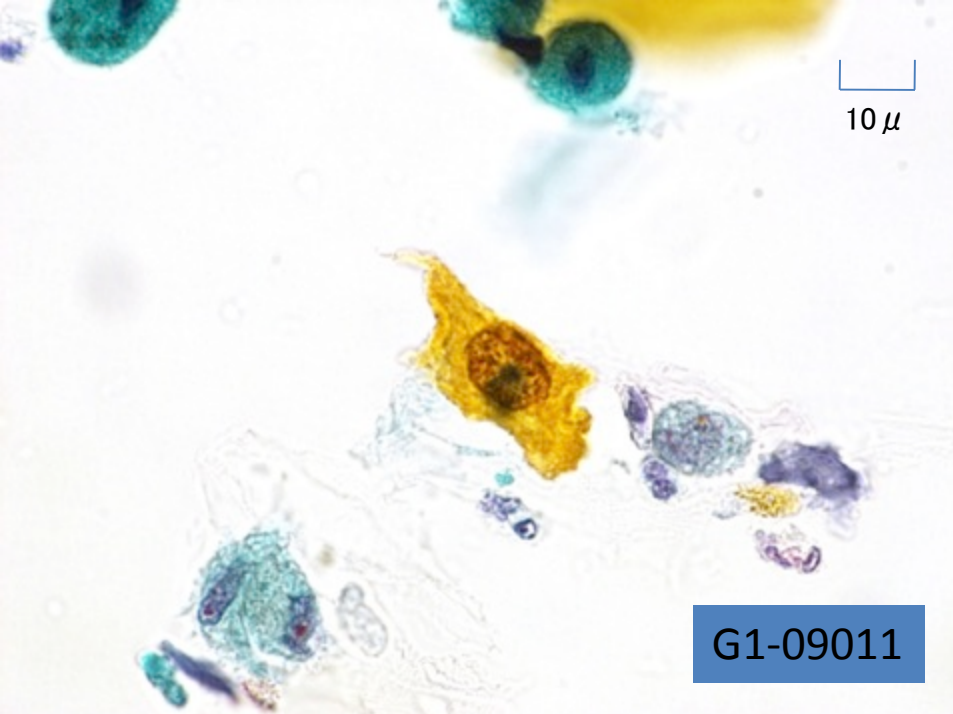
- ・ クロマチンの増量が著明ではない

その他

- ・ 癌の可能性を強く疑う所見







G1-09011

症例 D3

D判定

6施設再判定:C 1, D 5

類円形細胞で、大小不同を認め、OGに濃染～過染し、クロマチンは中等度増量を呈する。

C判定としない理由

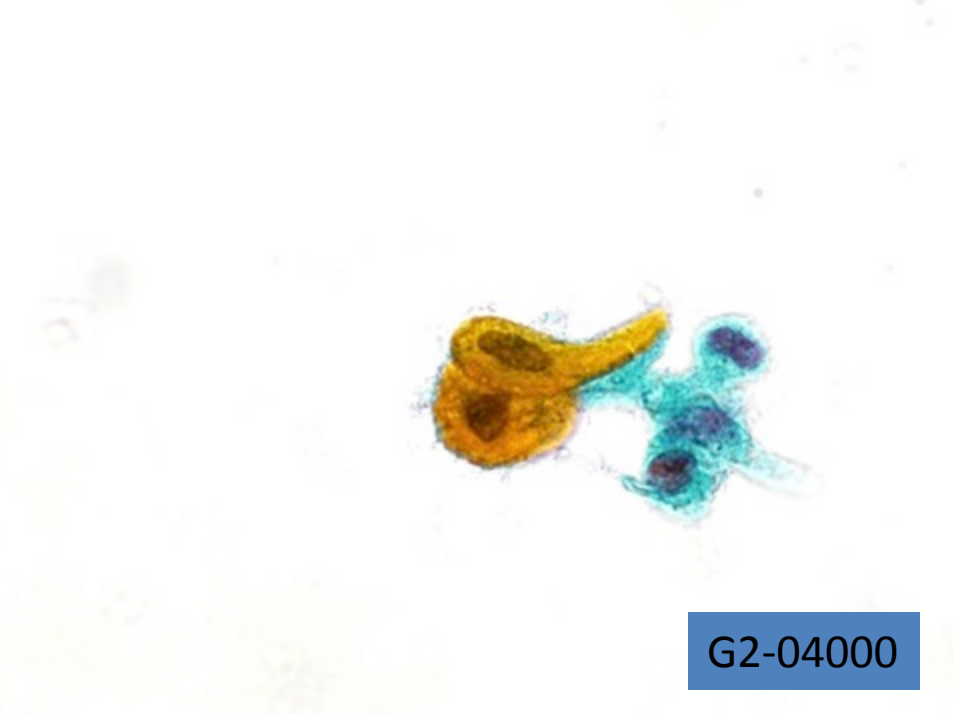
- ・ 核の濃染、クロマチン中等度増量

E判定としない理由

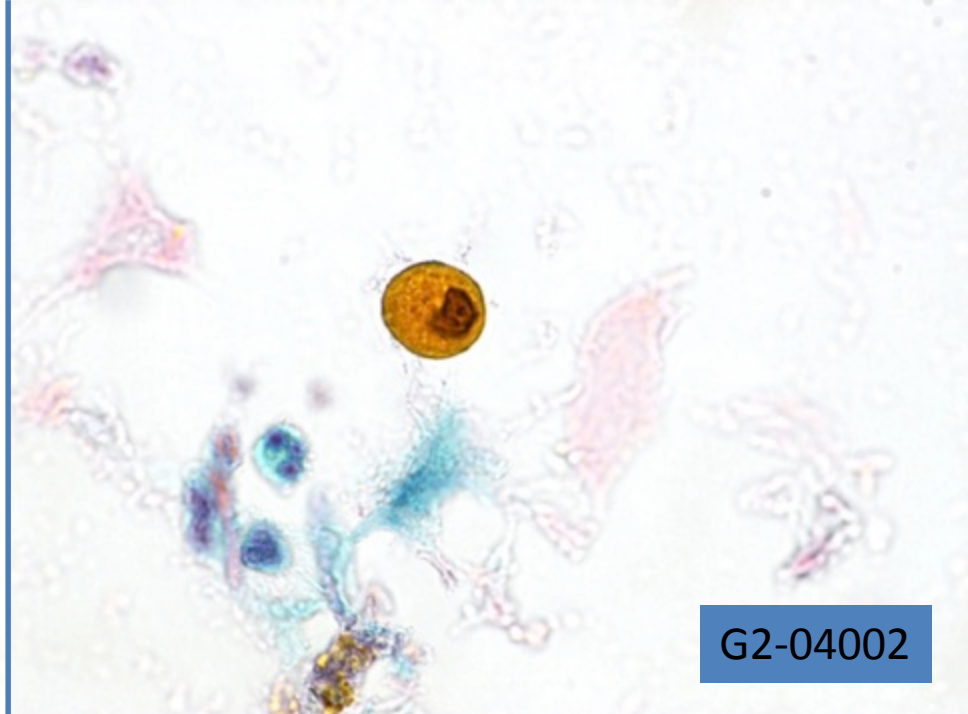
- ・ N/C比が小さい細胞が多い
- ・ クロマチン分布均等で細顆粒状

その他

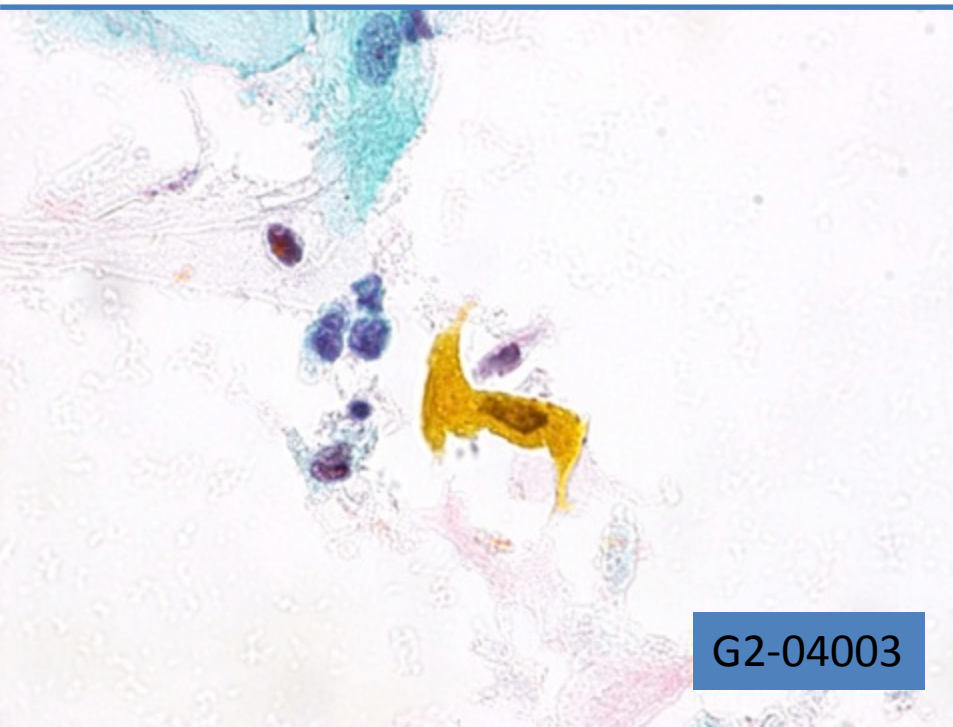
- ・ 大型類円形細胞(G4-04004,04008)は、細胞質豊富でクロマチン均等分布
- ・ 異形成を考慮する所見



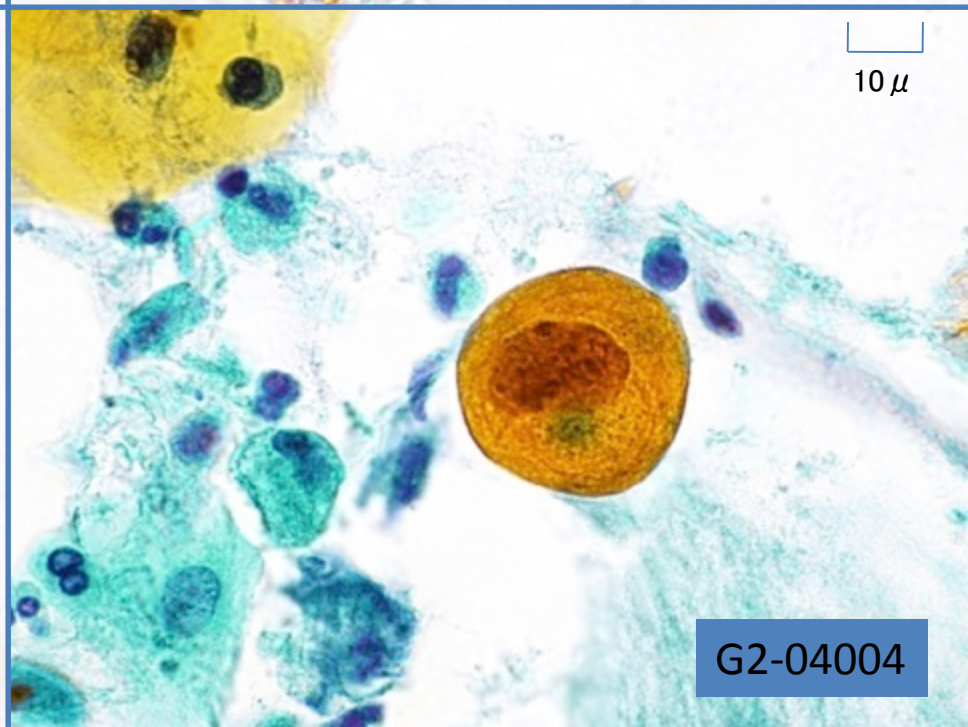
G2-04000



G2-04002

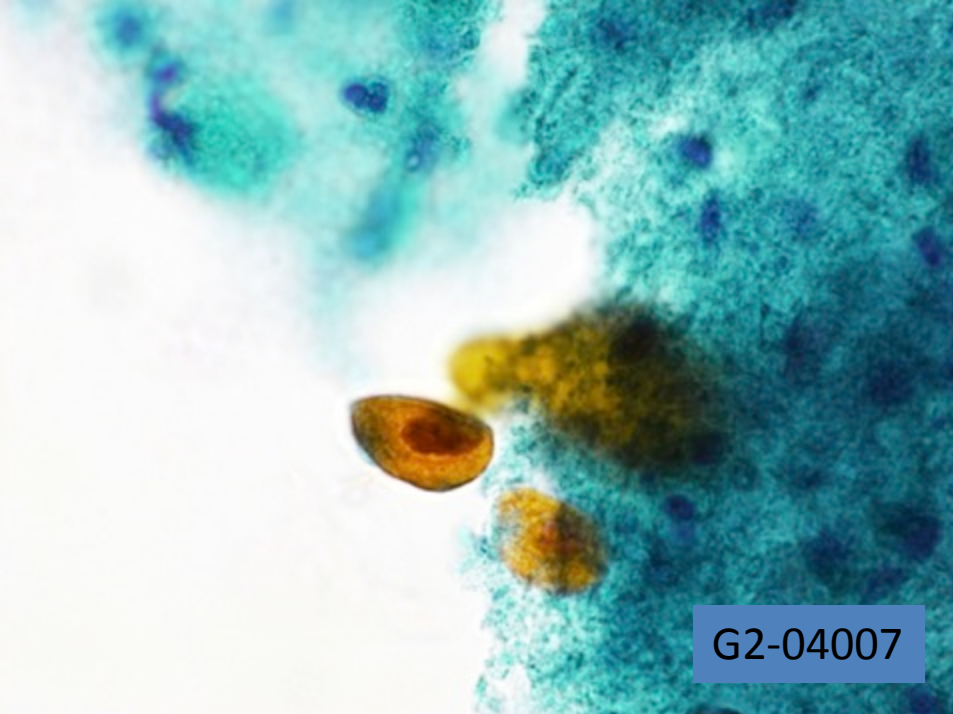


G2-04003

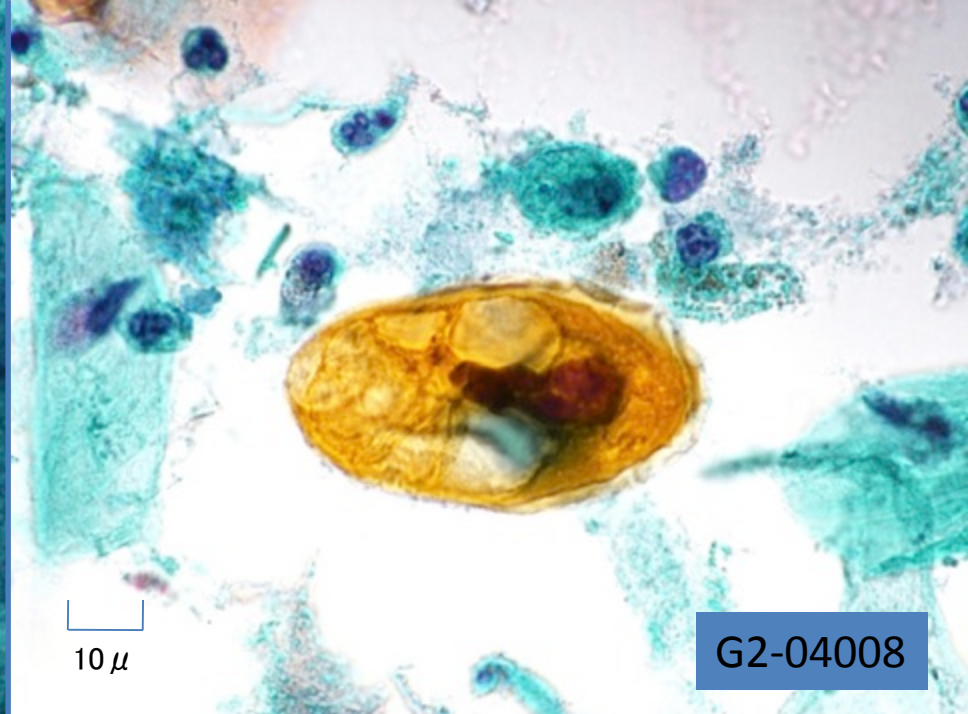


G2-04004

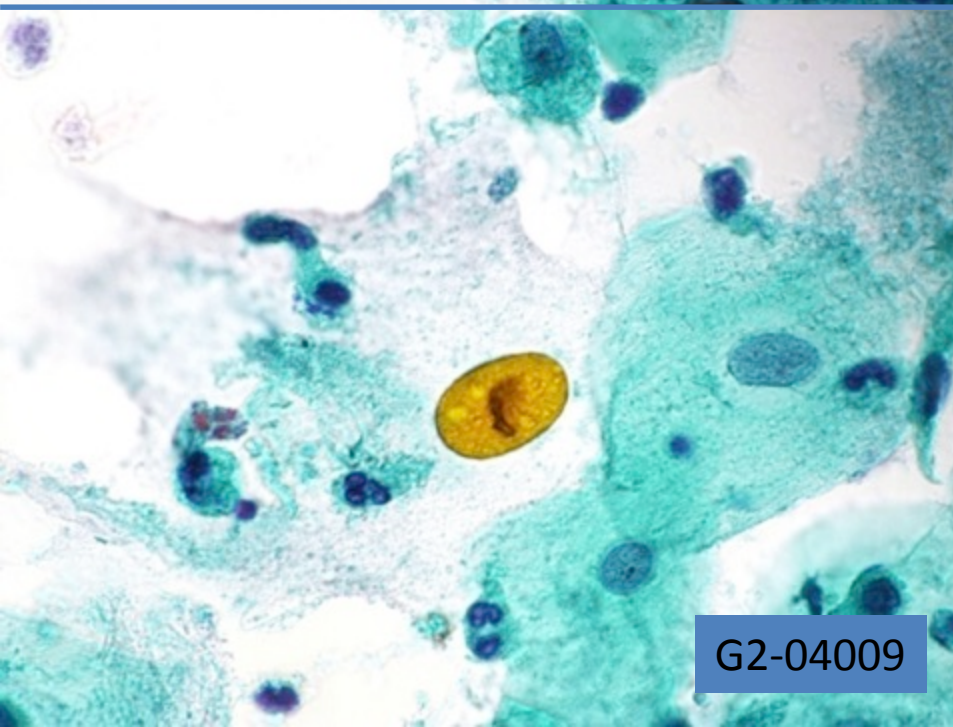
10 μ



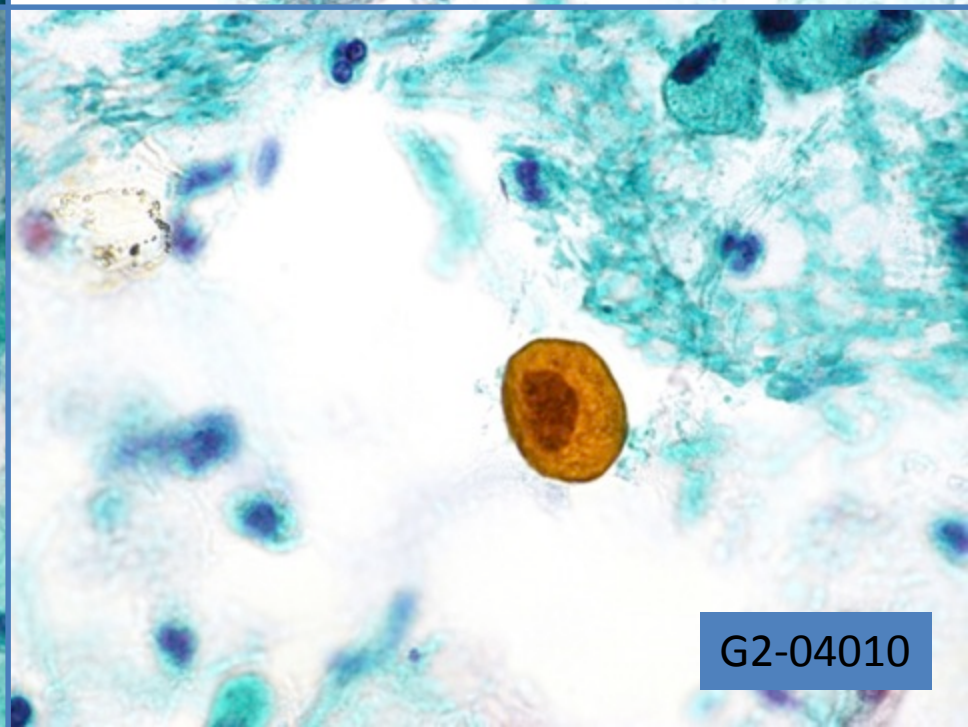
G2-04007



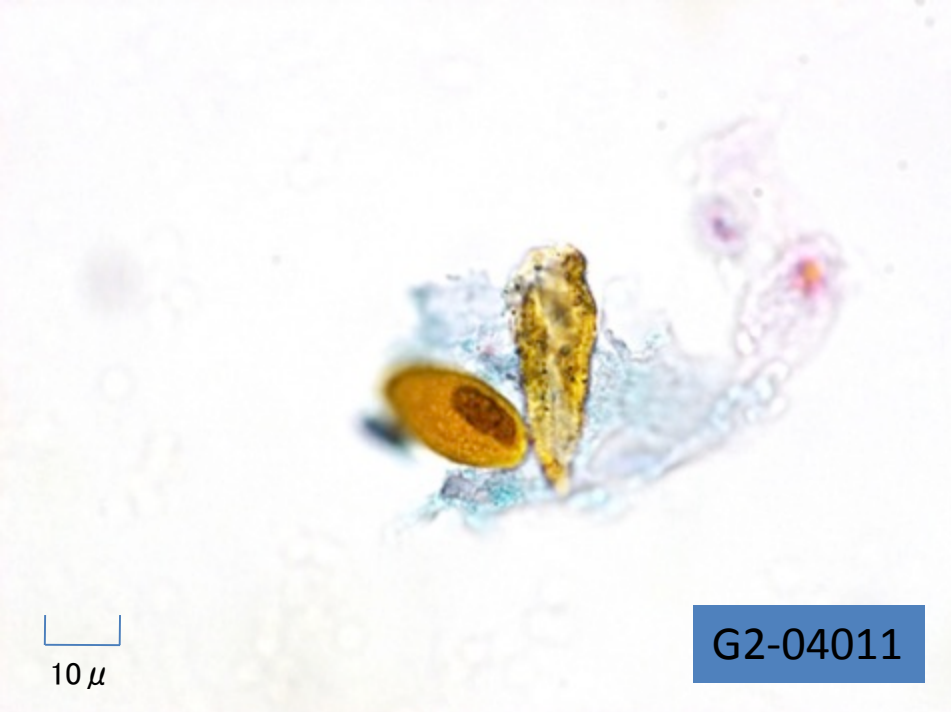
G2-04008



G2-04009



G2-04010



10 μ

G2-04011

症例 D4

D判定

6施設再判定:C 1, D 5

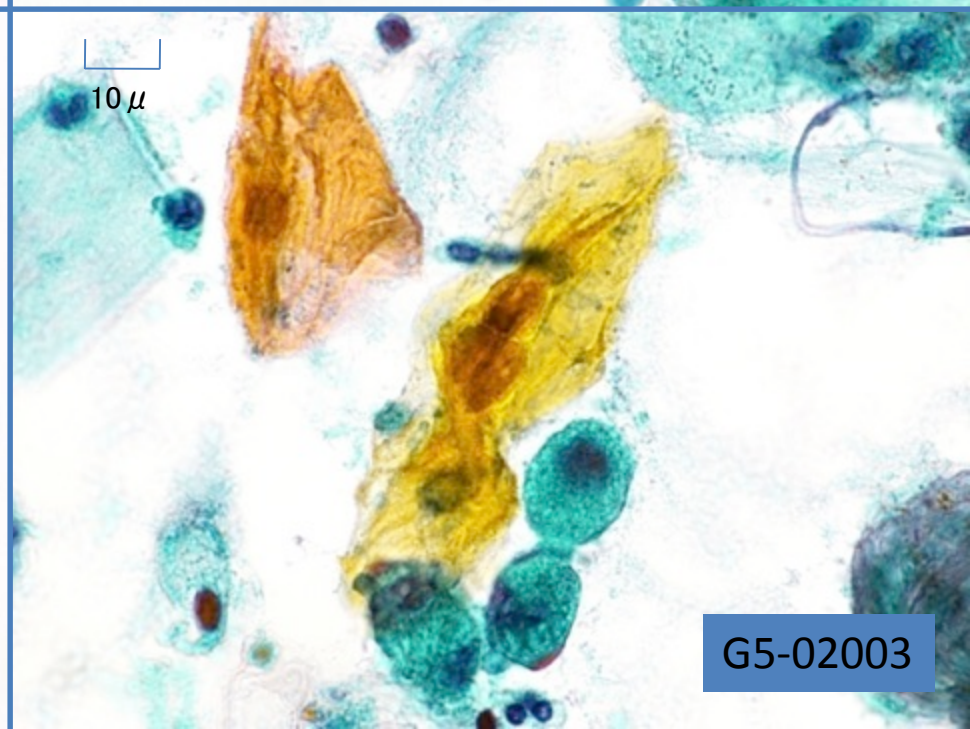
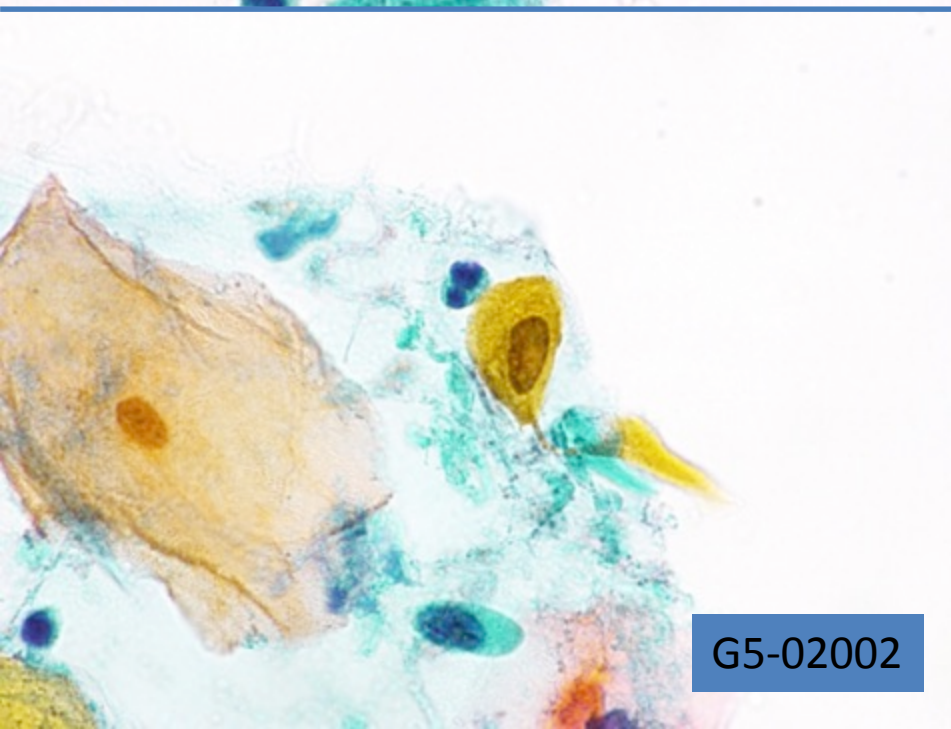
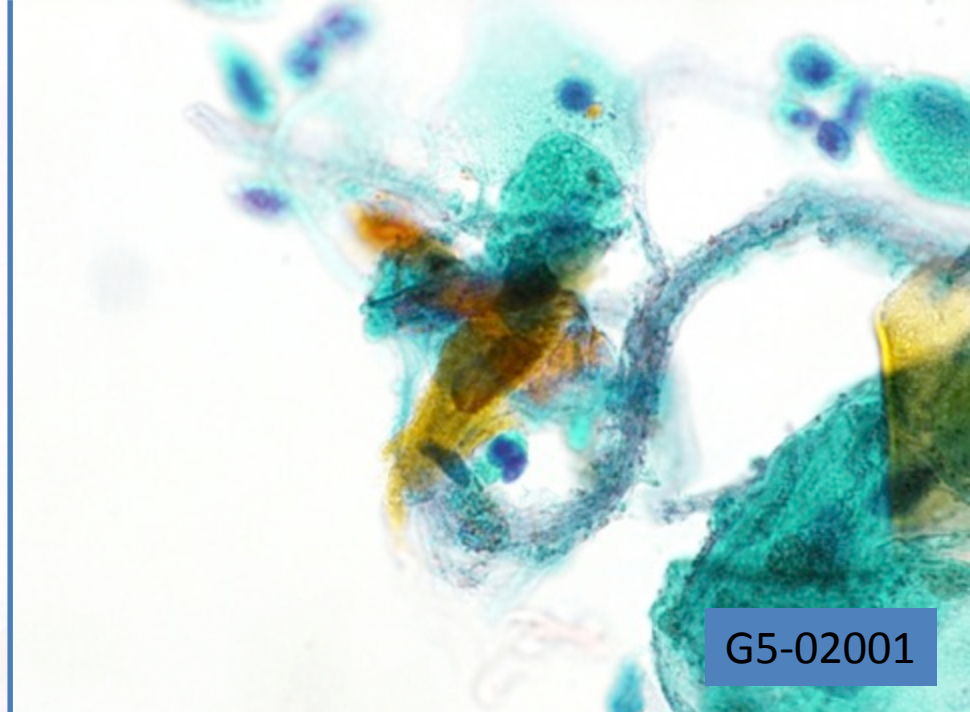
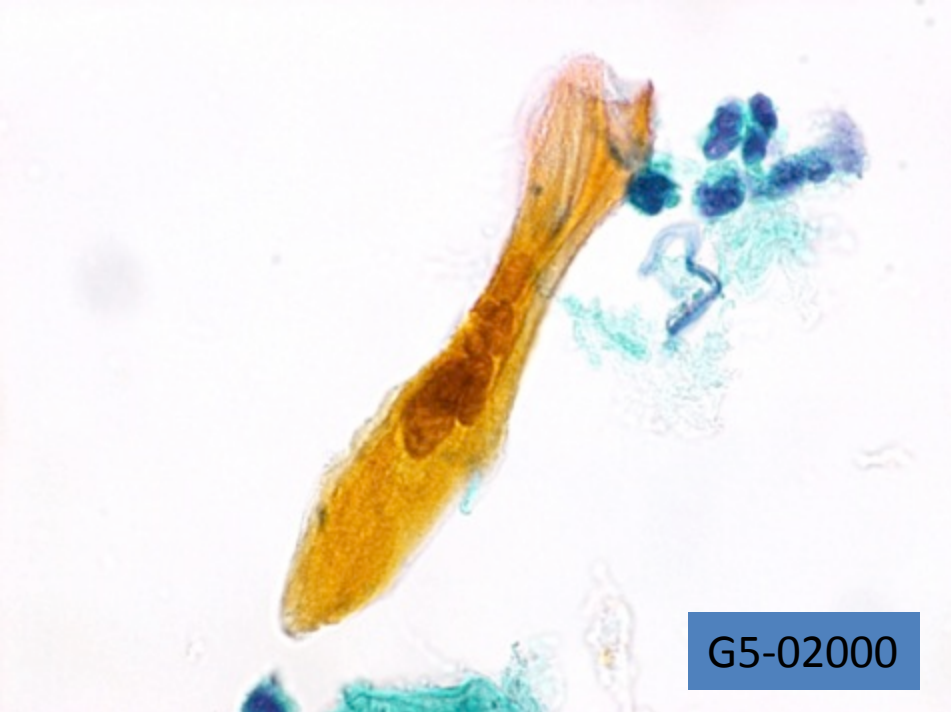
細胞は、小型～大型で、多辺形～不整形を呈し、クロマチンは中等度増量し、細顆粒状～中顆粒状に認める。

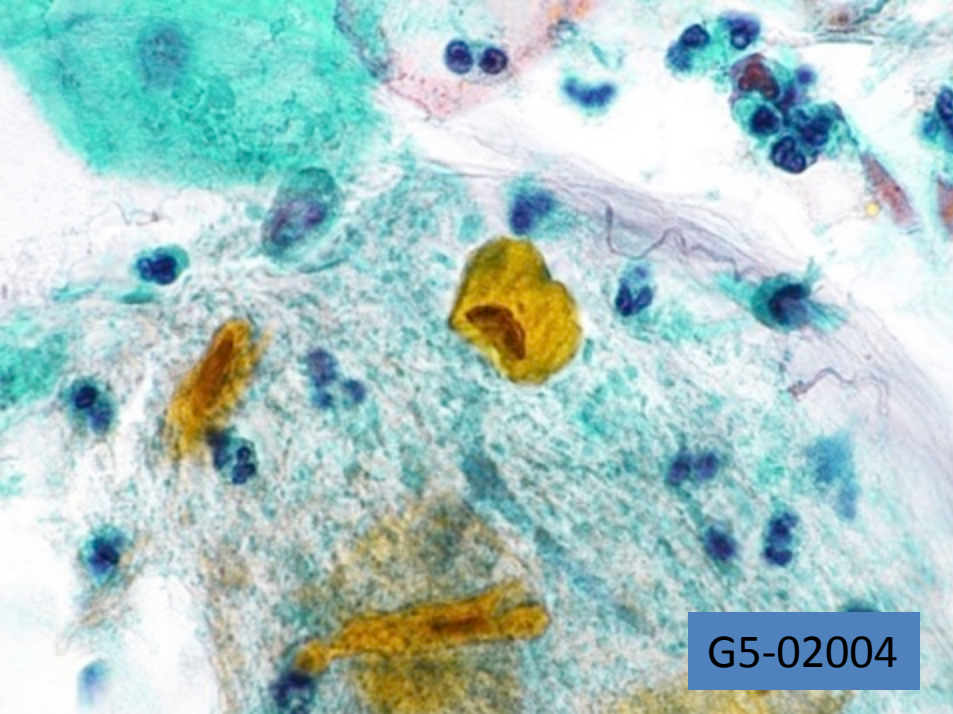
C判定としない理由

- ・多彩な細胞形とクロマチンの中等度増量

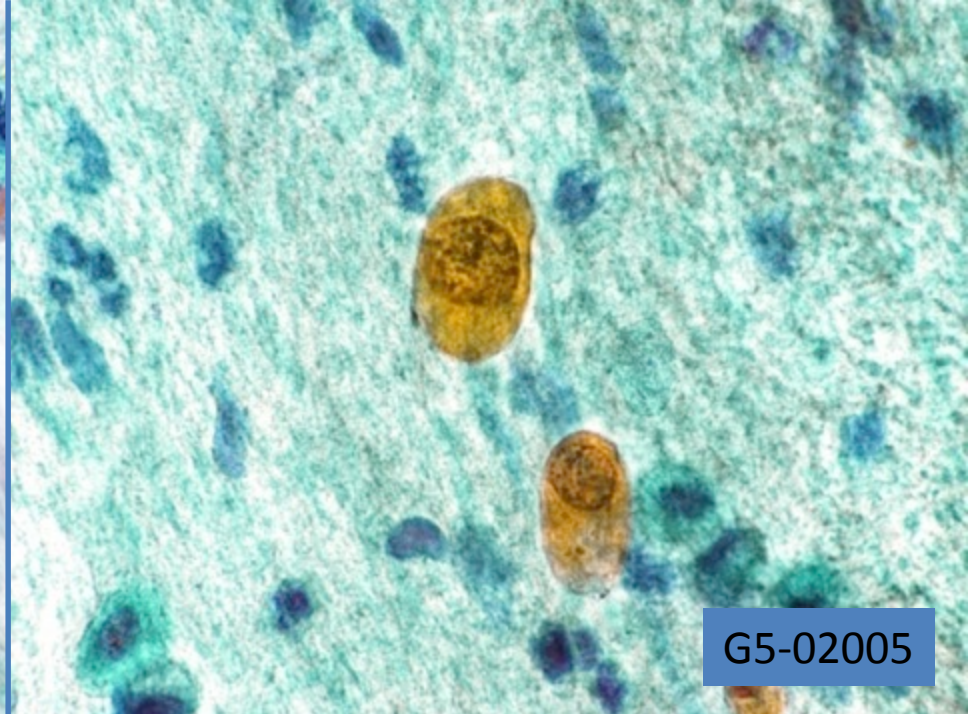
E判定としない理由

- ・細胞質の厚みに乏しい

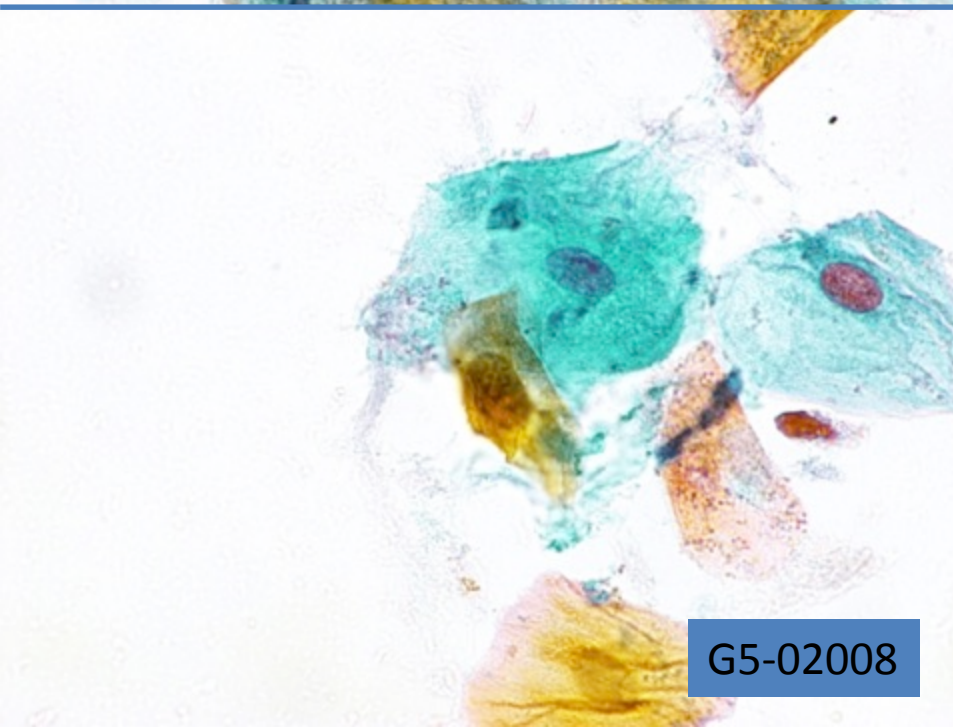




G5-02004



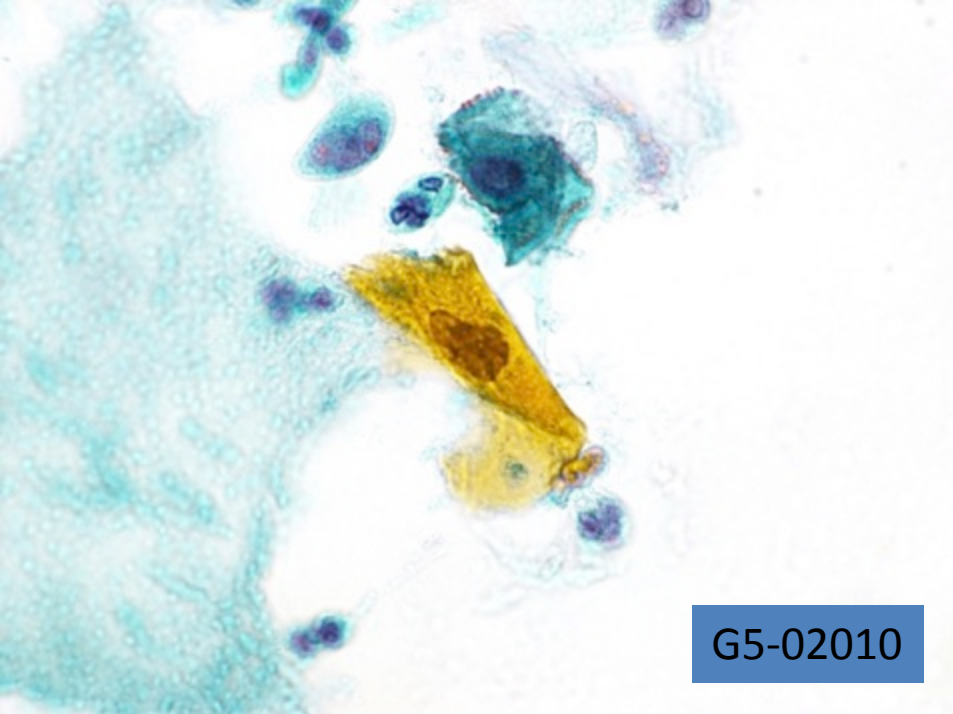
G5-02005



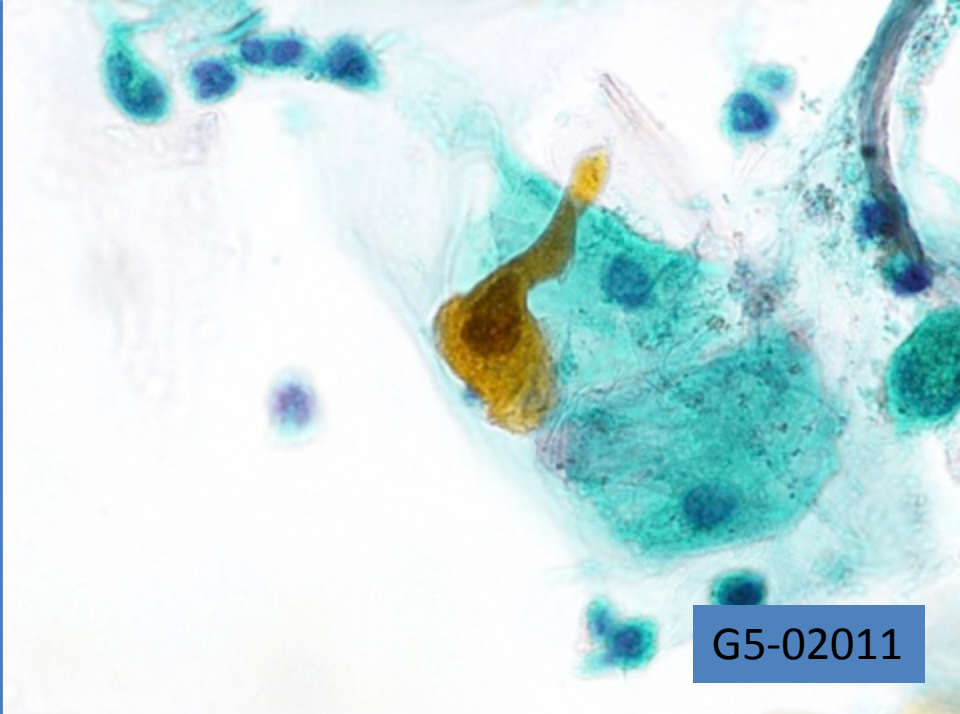
G5-02008



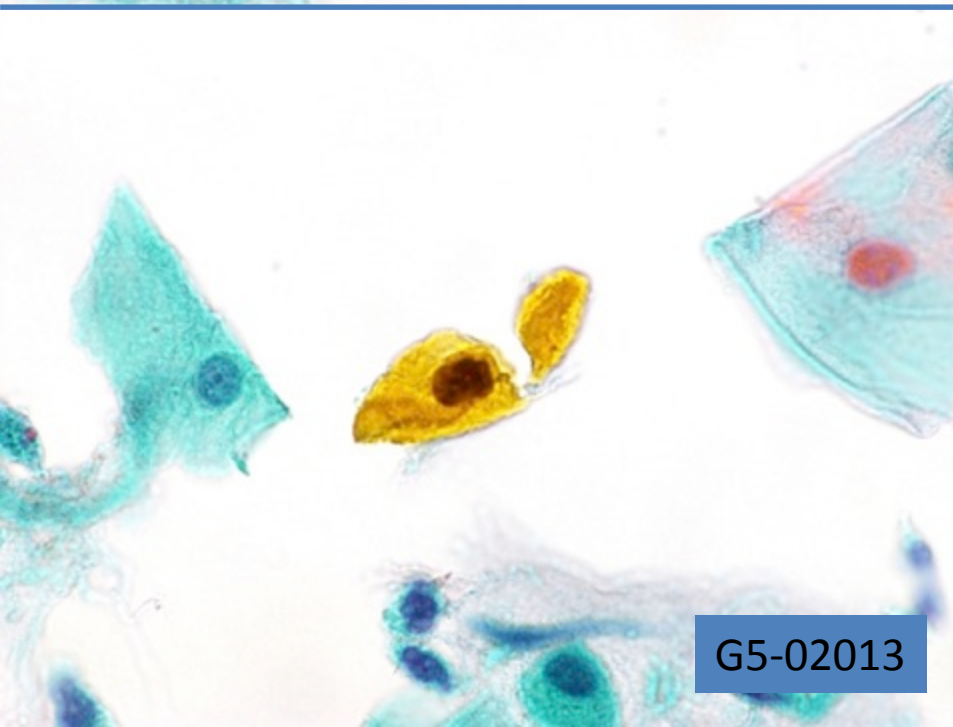
G5-02009



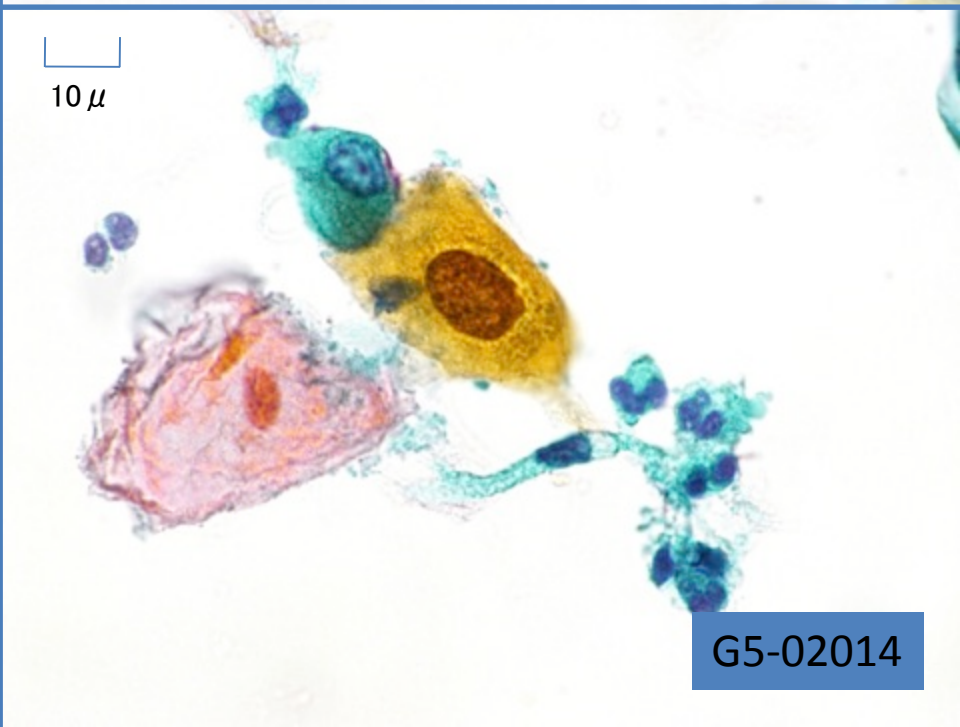
G5-02010



G5-02011



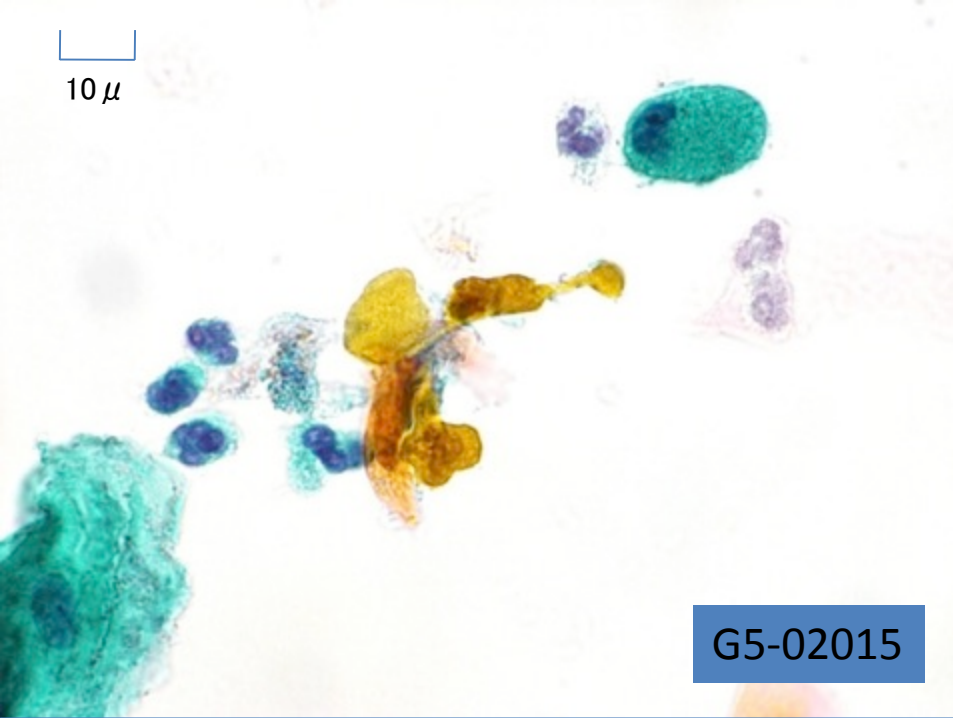
G5-02013



G5-02014



10 μ



G5-02015

症例 D5

D判定

6施設再判定:D 6

奇妙な形を含む不整形細胞は小型～大型で、OGに濃染する類円形細胞、多核細胞を認め、クロマチンは軽度～中等度増量を呈する。

C判定としない理由

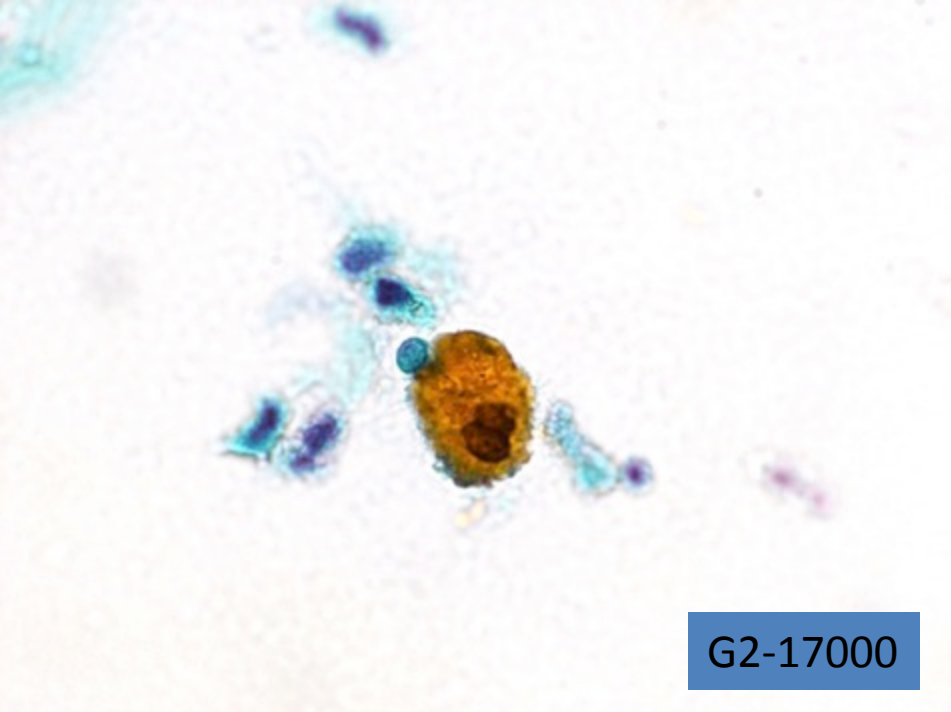
- ・ 奇妙な形の細胞の出現

E判定としない理由

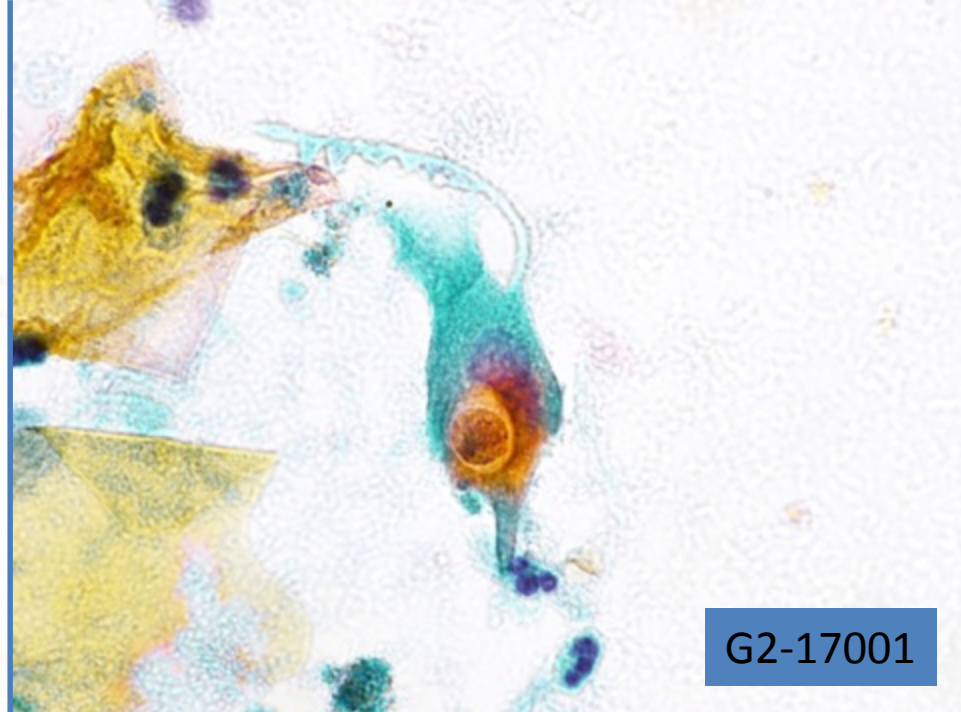
- ・ 変性が強い
- ・ クロマチン増量が中等度にとどまる

その他

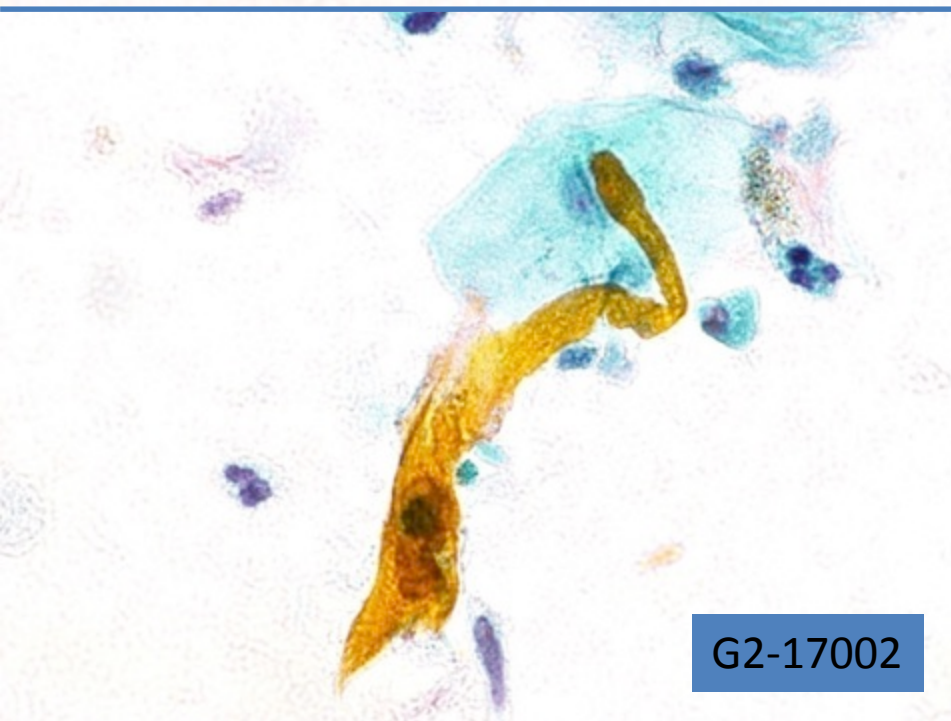
- ・ 変性あるが奇妙な形でN/C比大の細胞
- ・ 癌の可能性を強く疑う所見



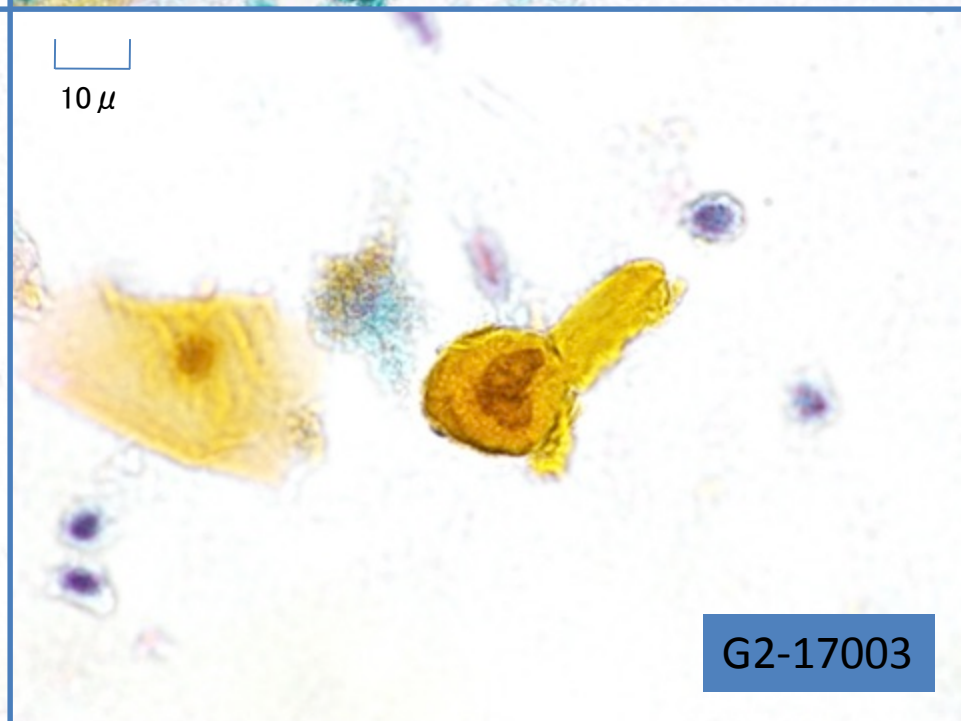
G2-17000



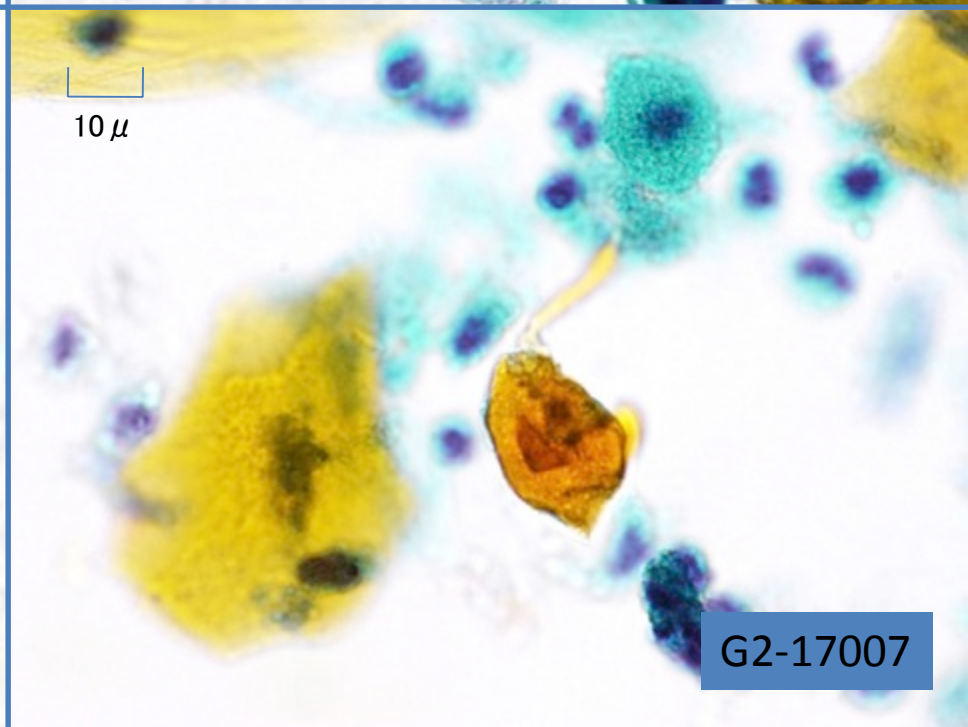
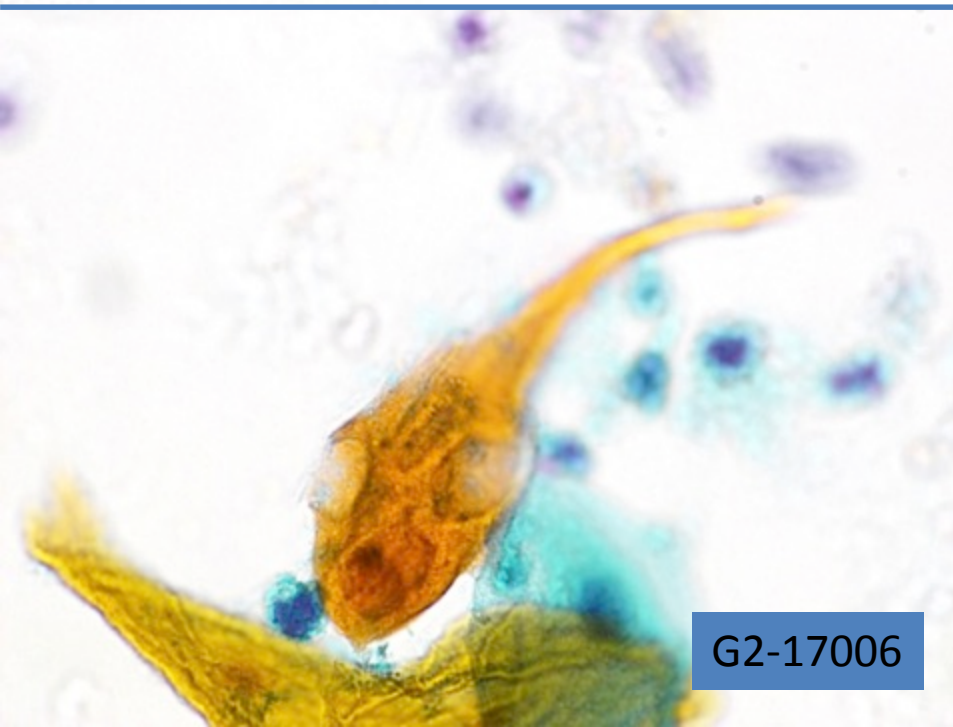
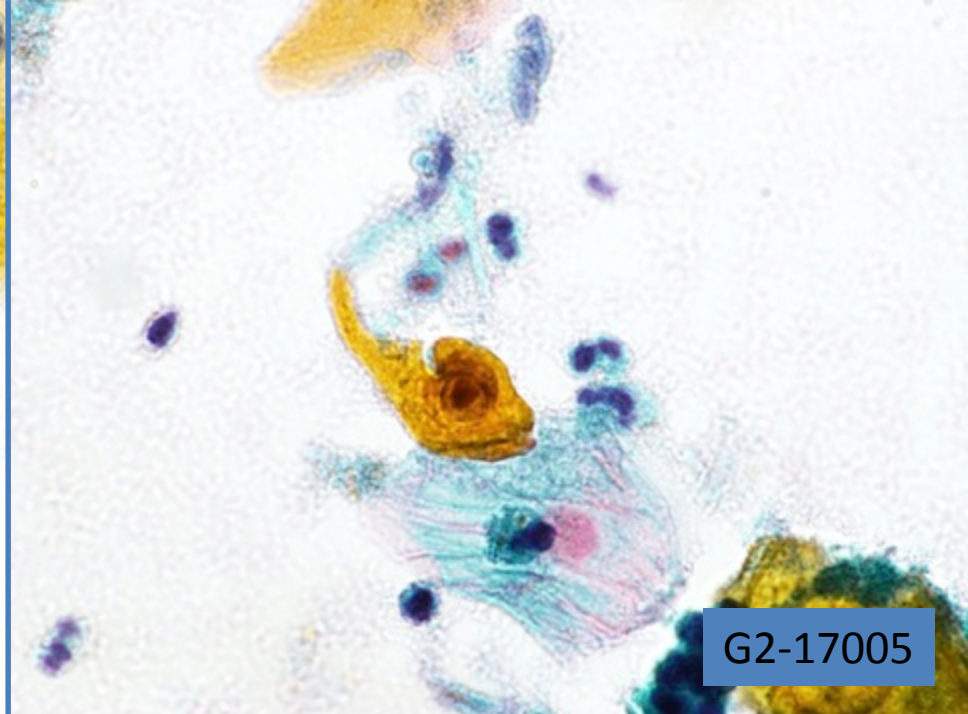
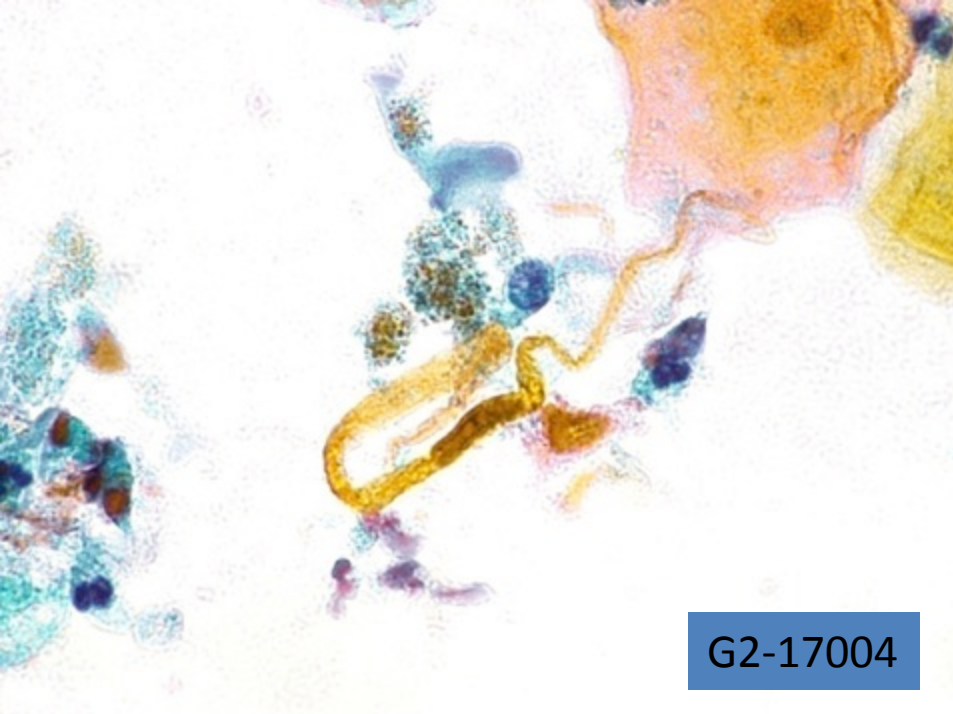
G2-17001

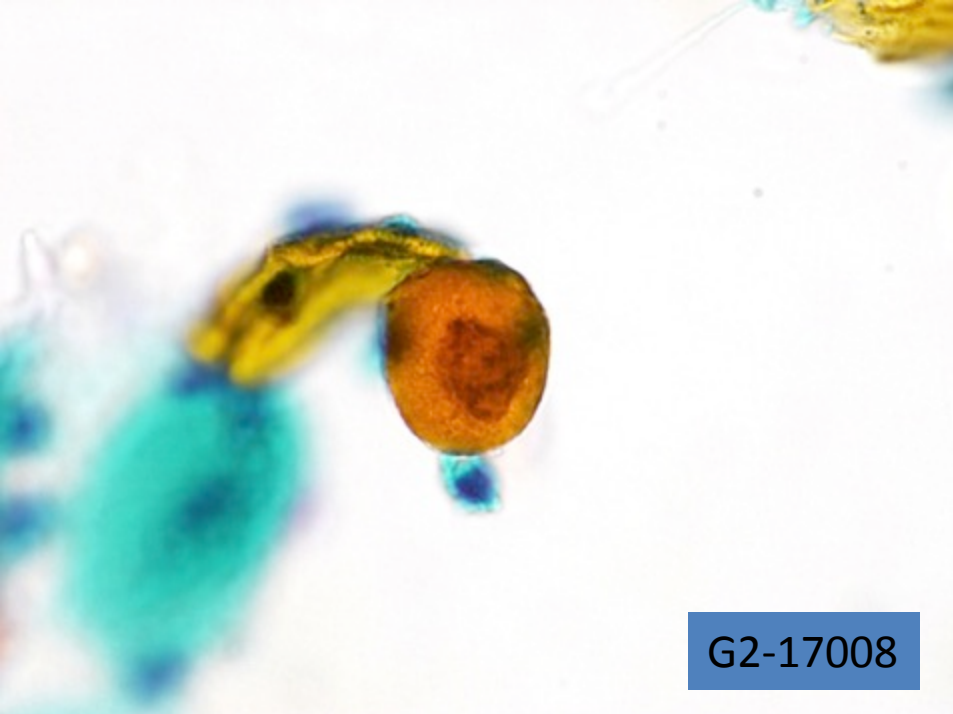


G2-17002

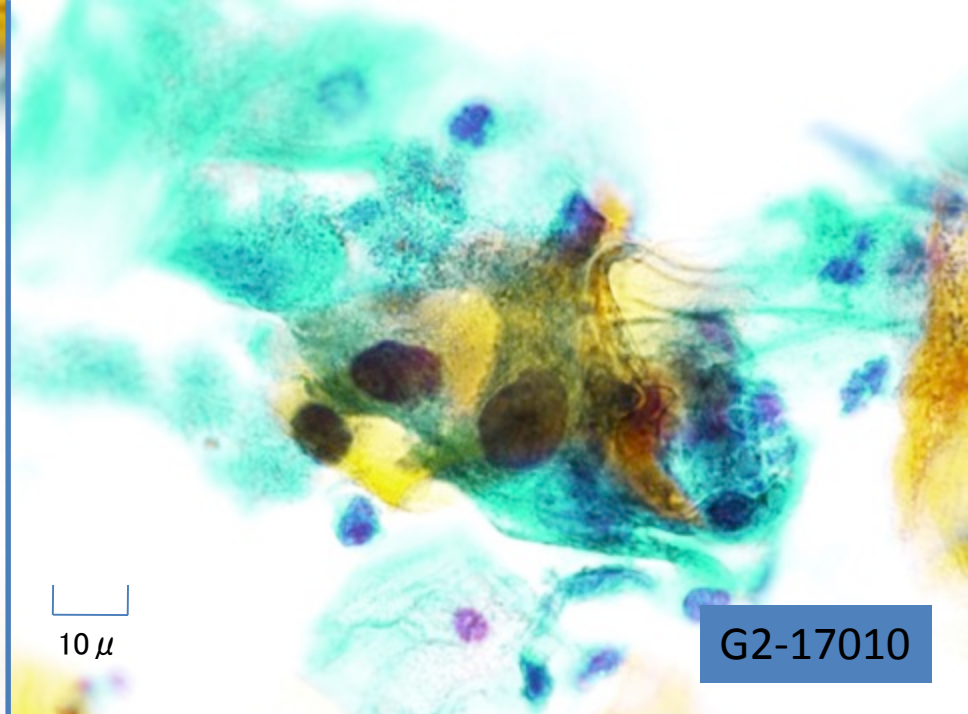


G2-17003

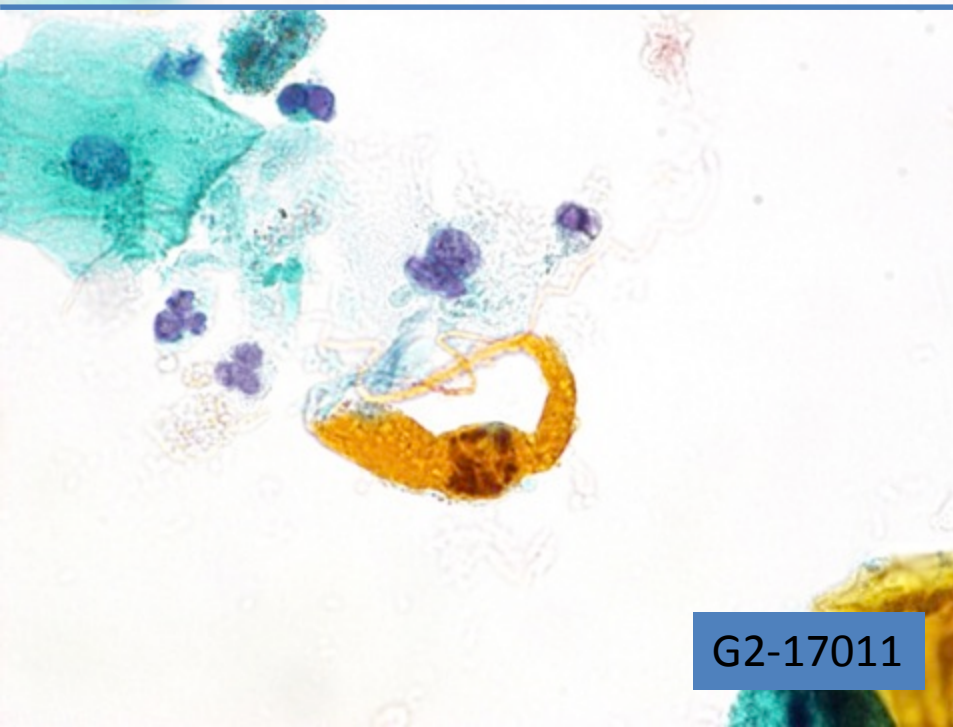




G2-17008



G2-17010



G2-17011

症例 D6

D判定

6施設再判定:D 5、E 1

類円形の小型細胞が主体で、多核細胞も認める。N/C比大で、クロマチンやや不均等分布で、中等度増量を呈する。

C判定としない理由

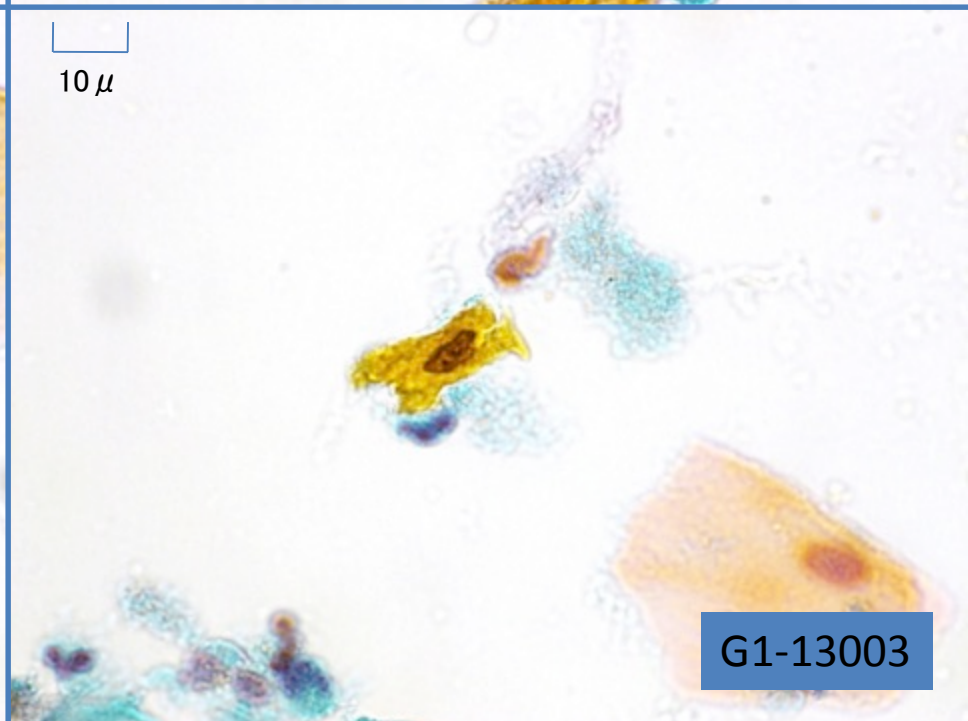
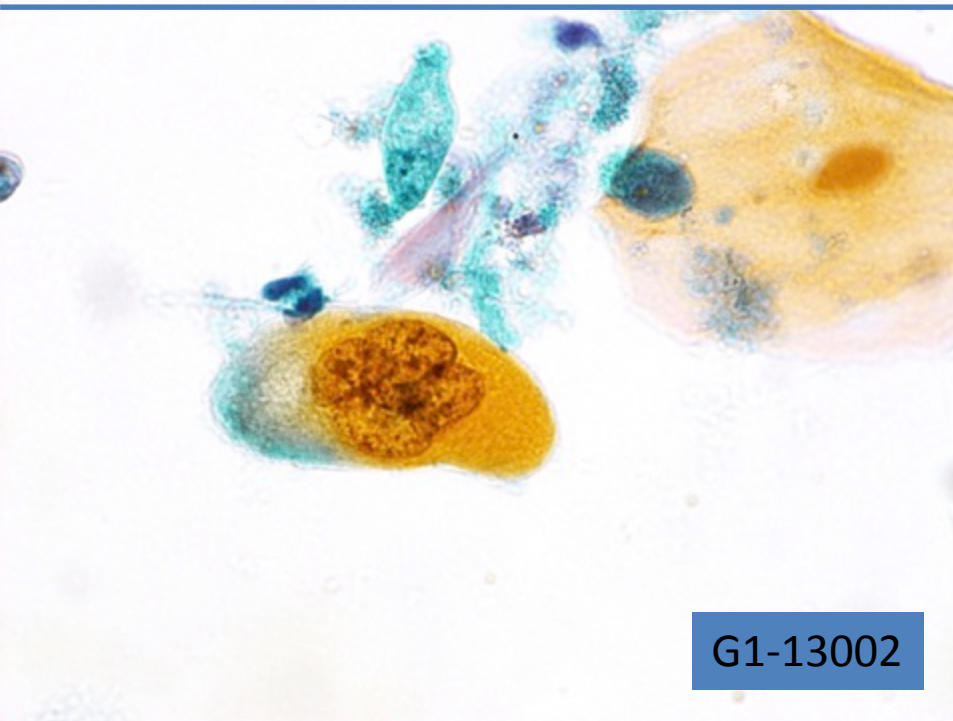
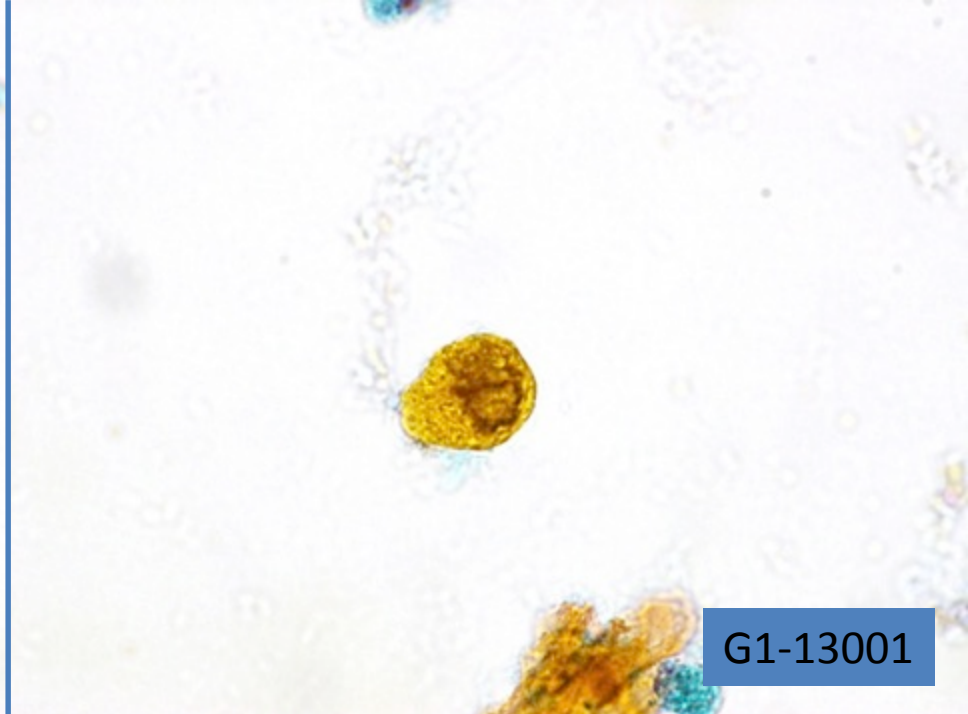
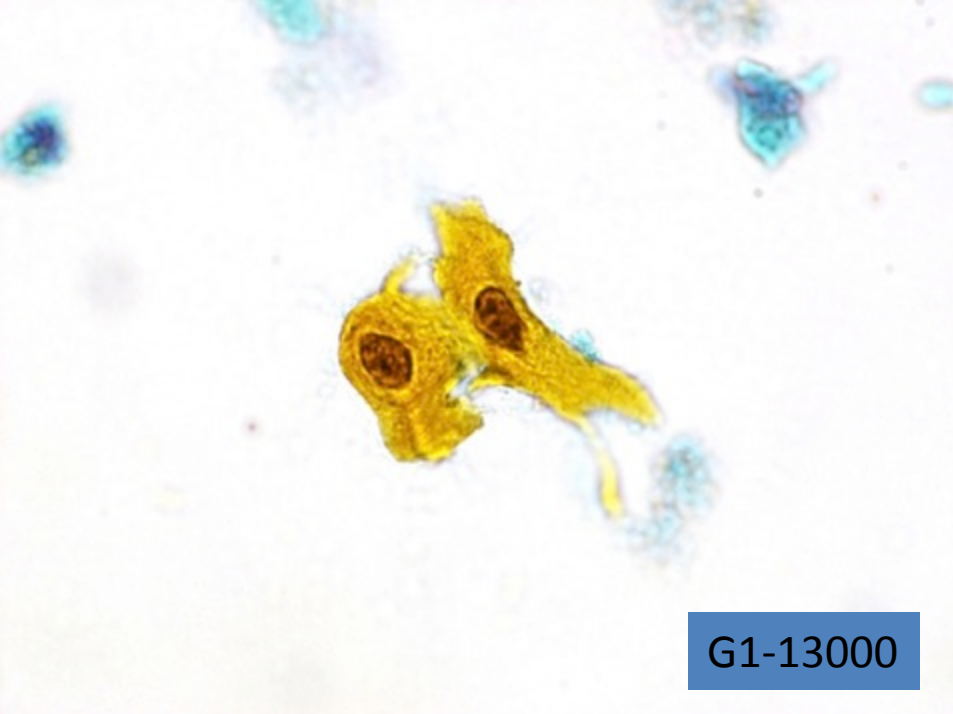
- ・ N/C比大で、大型細胞も出現

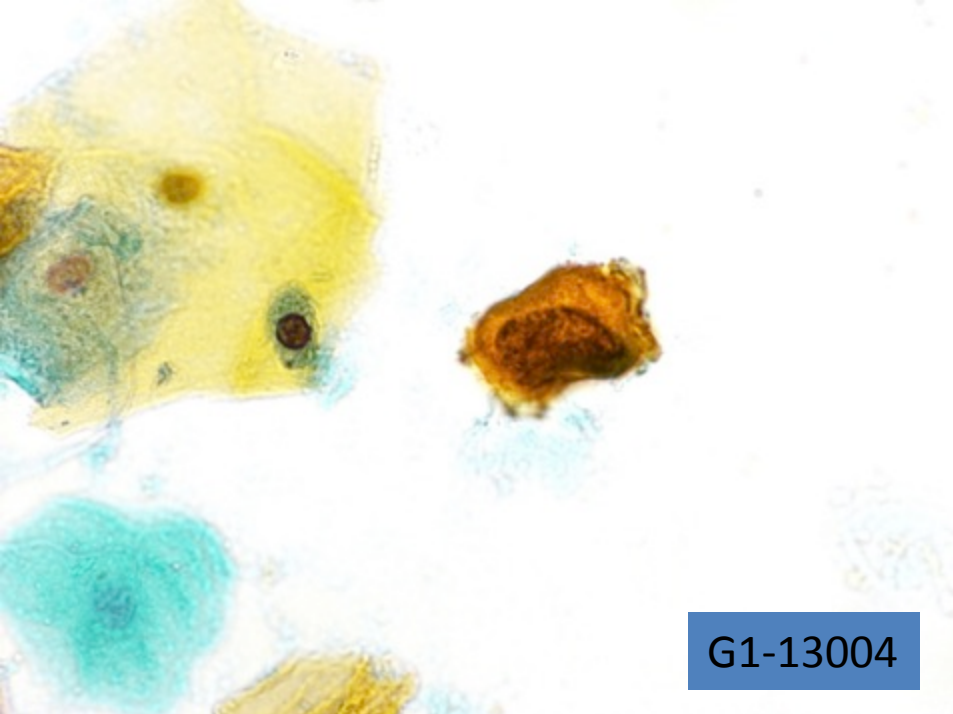
E判定としない理由

- ・ 類円形細胞主体
- ・ 細胞質の厚みに乏しい
- ・ クロマチンの増量が足りない

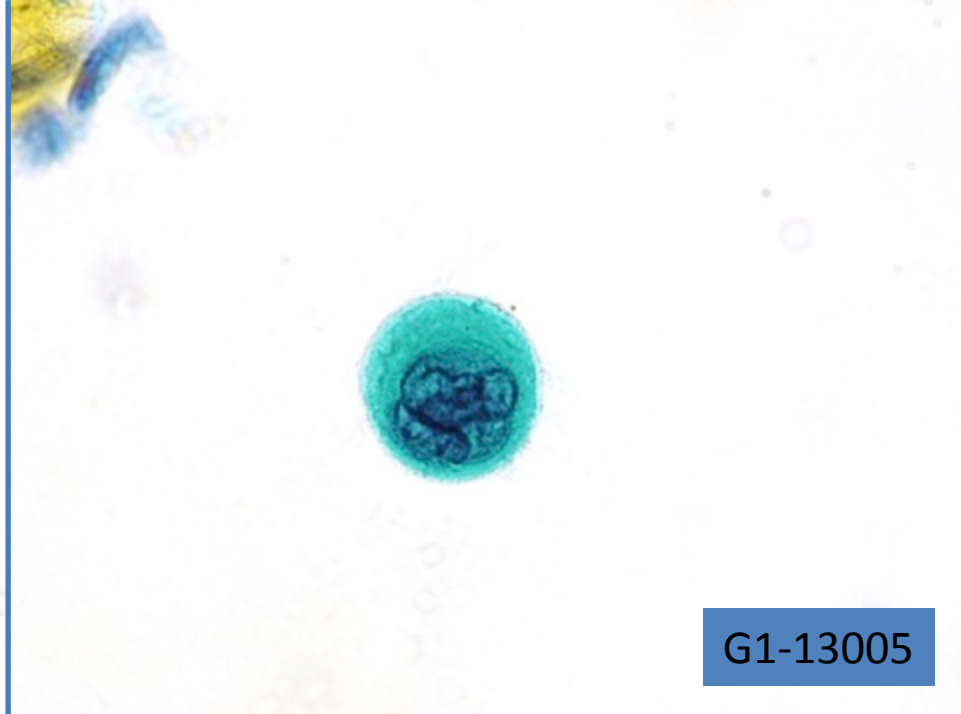
その他

- ・ 通常は認めない多染性多核の大型細胞(G1-13002)
- ・ 変性あるが異形成以上を考える(G1-13001, 13004)

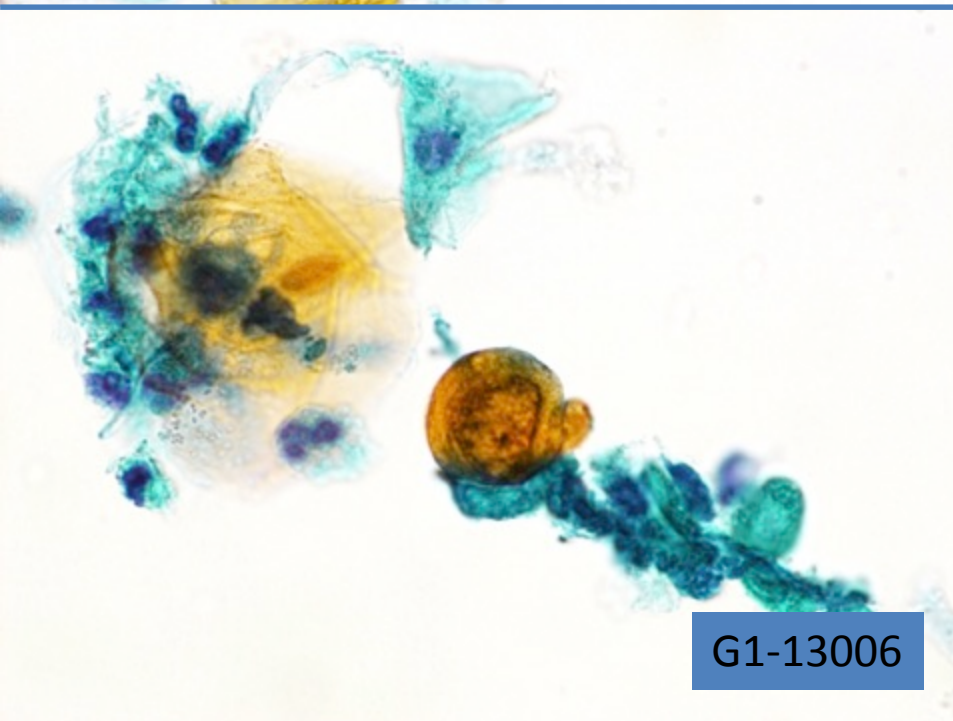




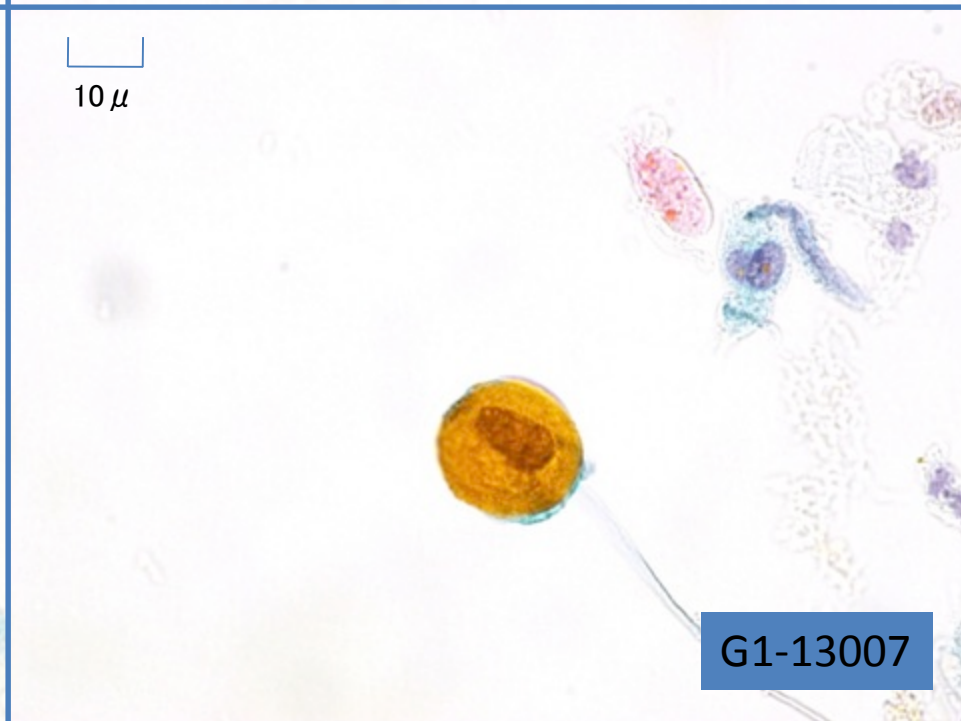
G1-13004



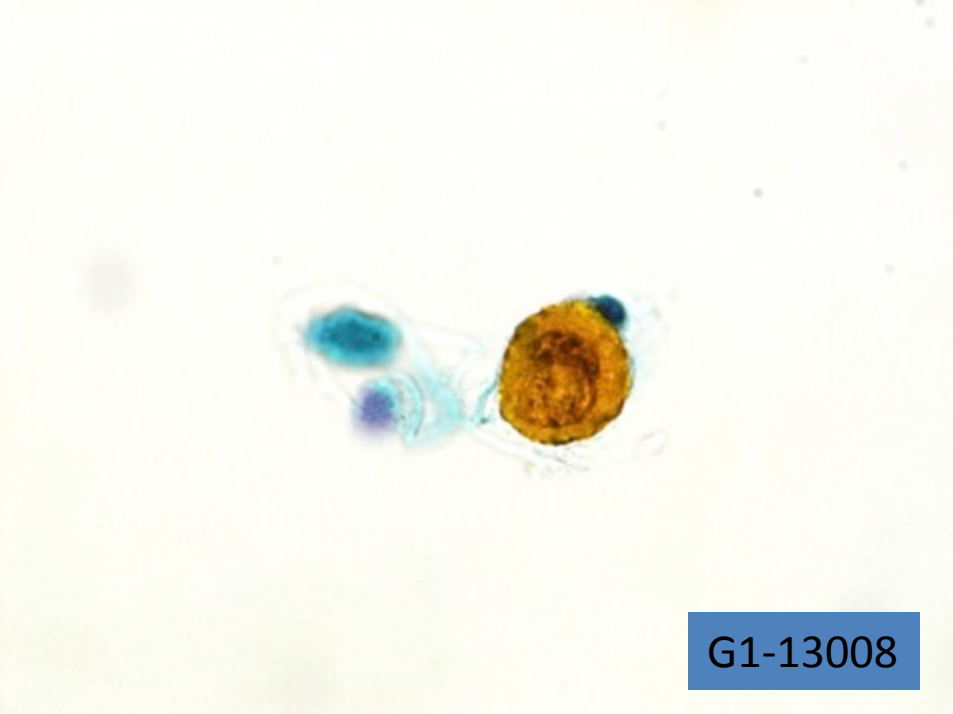
G1-13005



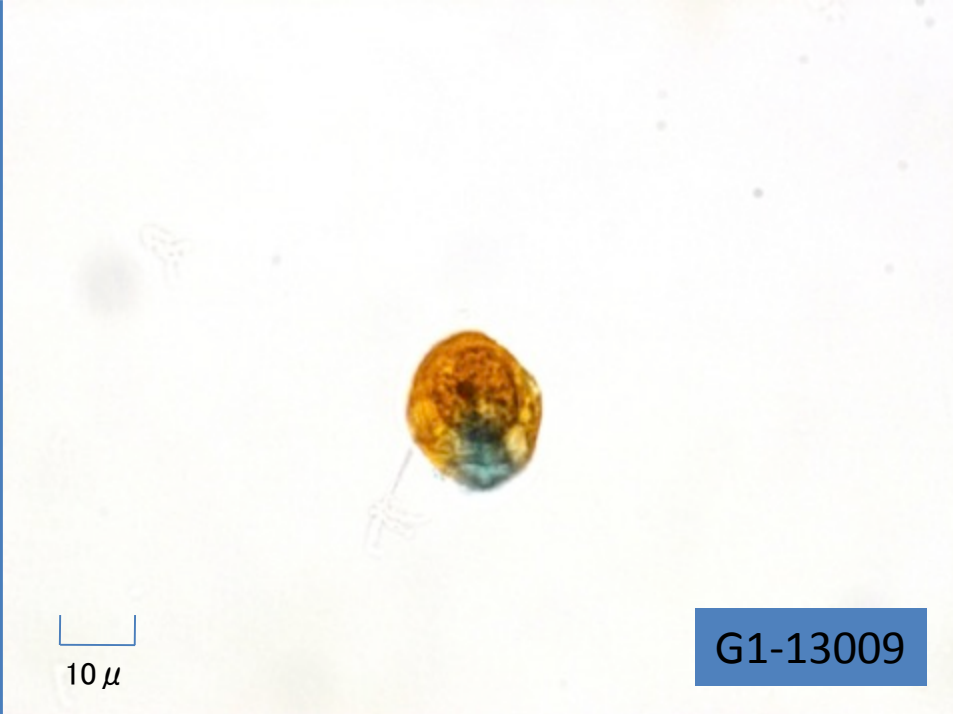
G1-13006



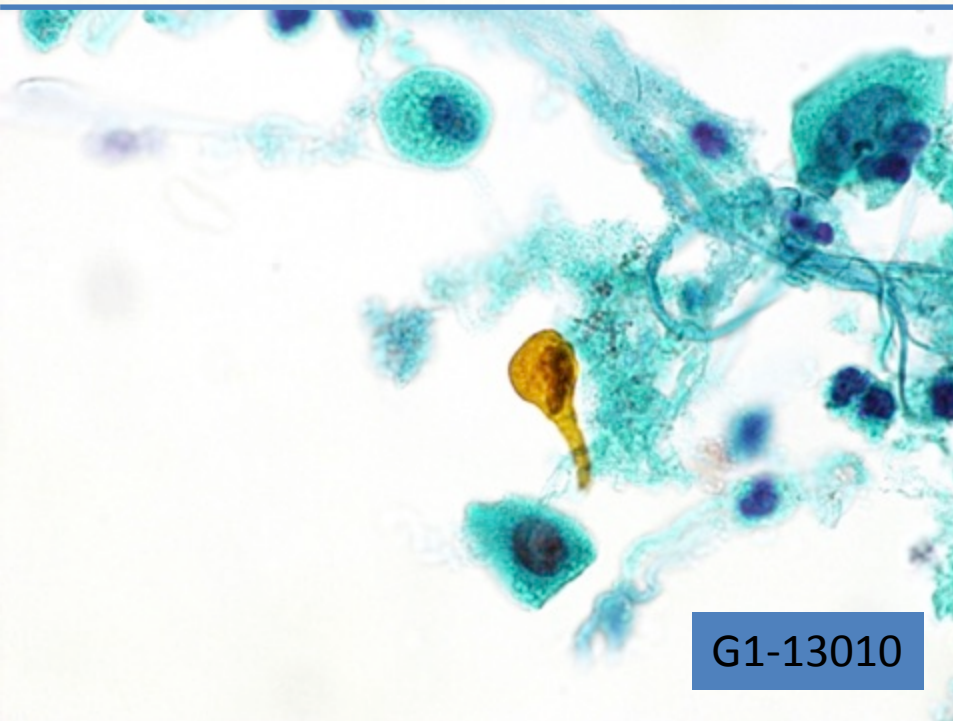
G1-13007



G1-13008



G1-13009



G1-13010

症例 D7

D判定

6施設再判定:D 5、E 1

OG好性やLG好性の小型～中型細胞で、多核細胞や相互封入像を認める。
クロマチンは不均等分布し、中等度増量。

C判定としない理由

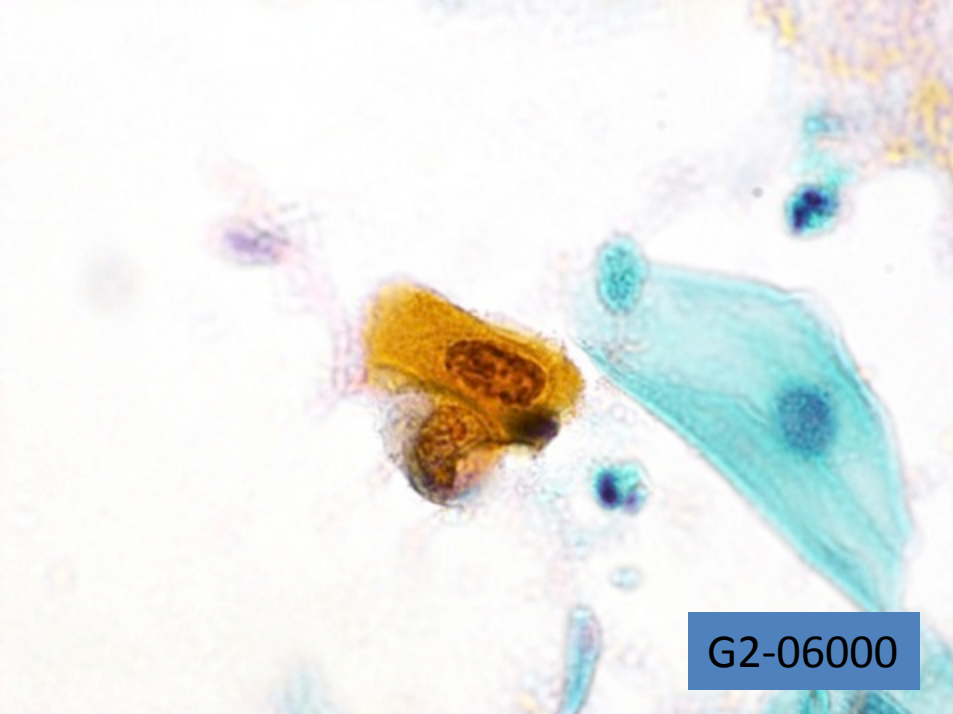
- ・ 相互封入像
- ・ LG好性の細胞質の厚みを有する大型細胞

E判定としない理由

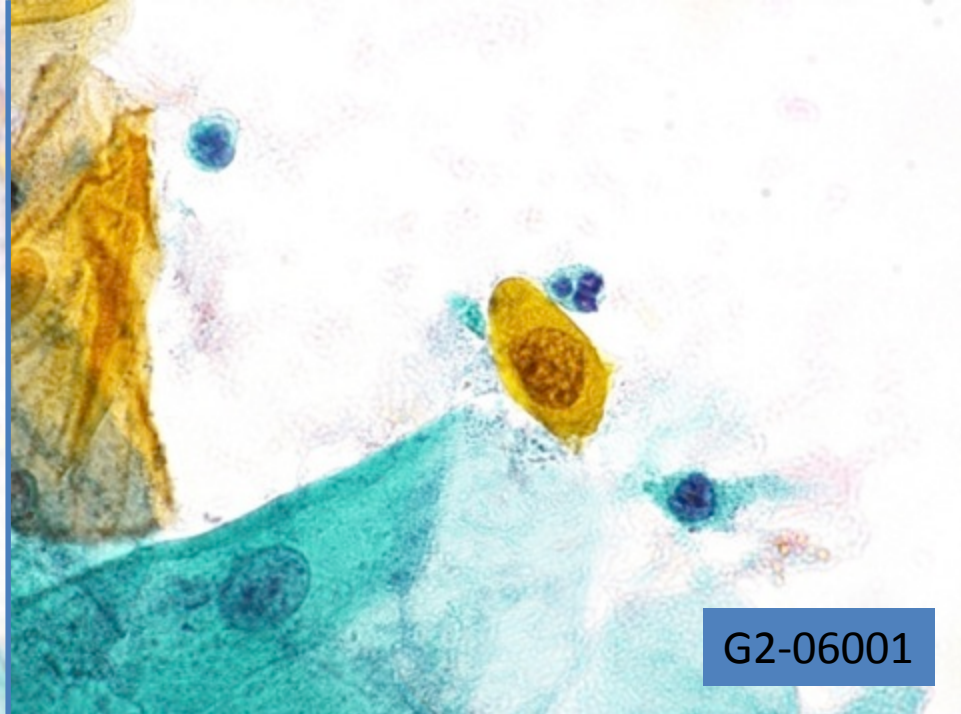
- ・ クロマチン中等度増量までで、変性あり

その他

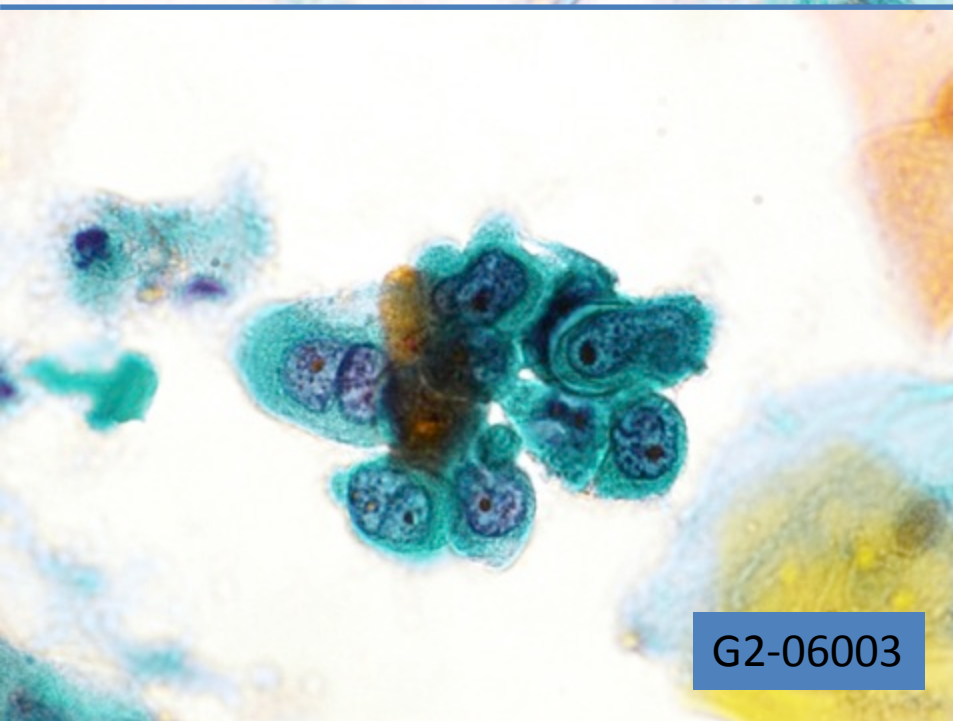
- ・ 細胞質の厚みを有し、クロマチン増量を認める相互封入像(G2-06006, 06007, 06008, 06009)
- ・ 癌を強く疑う所見



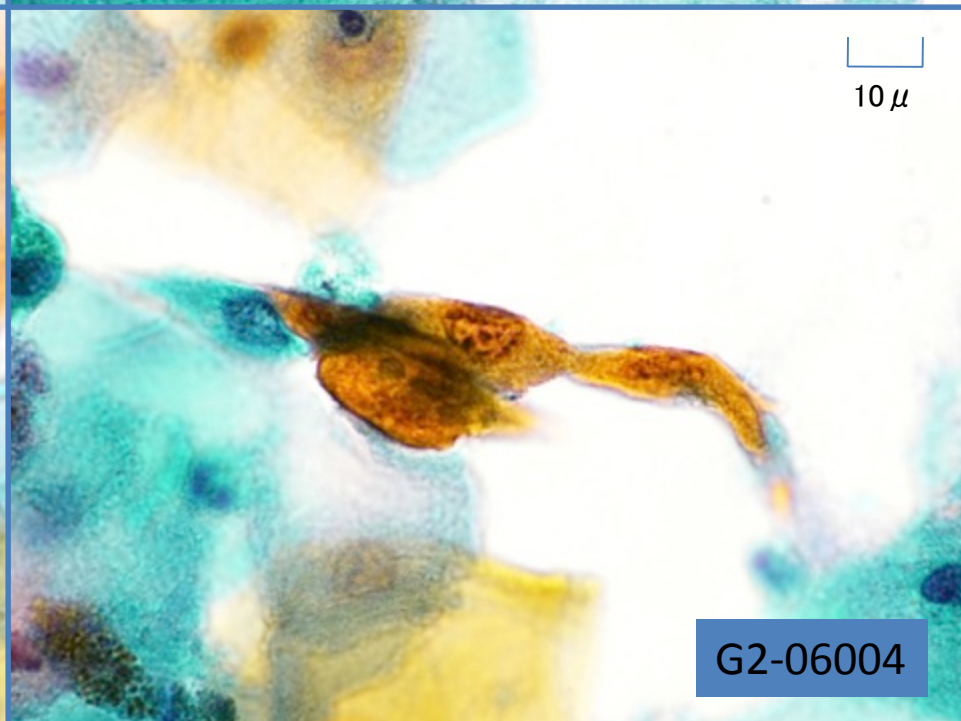
G2-06000



G2-06001

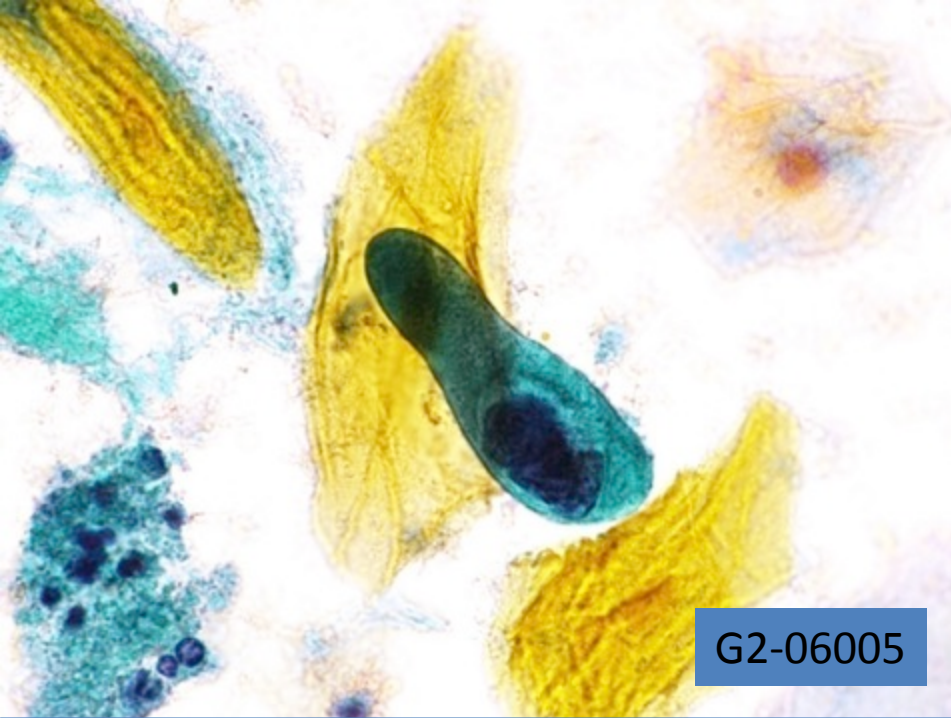


G2-06003

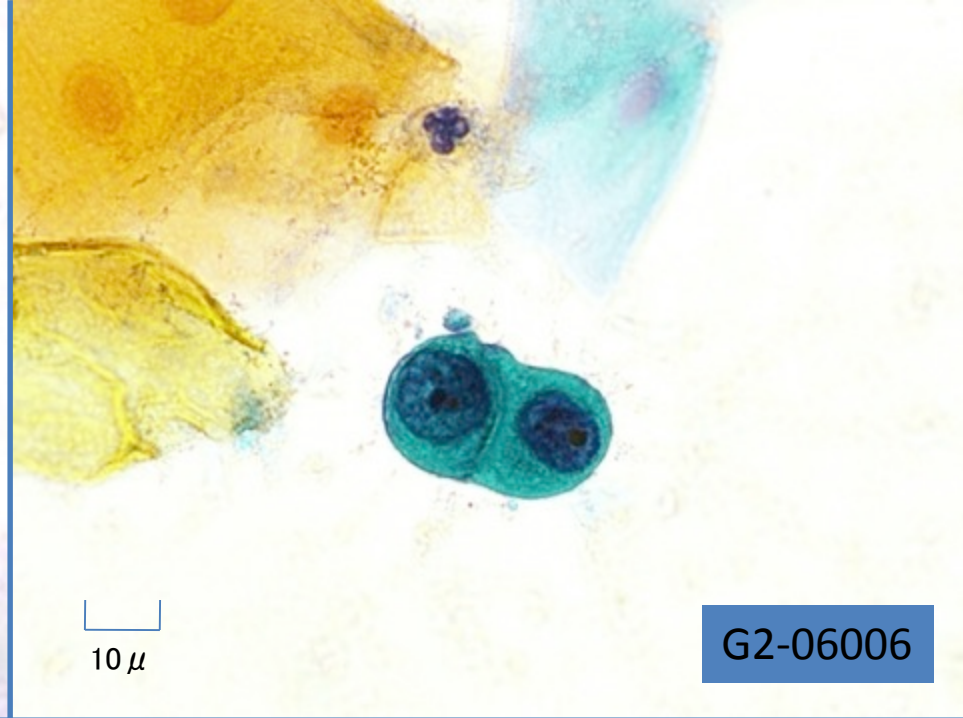


G2-06004

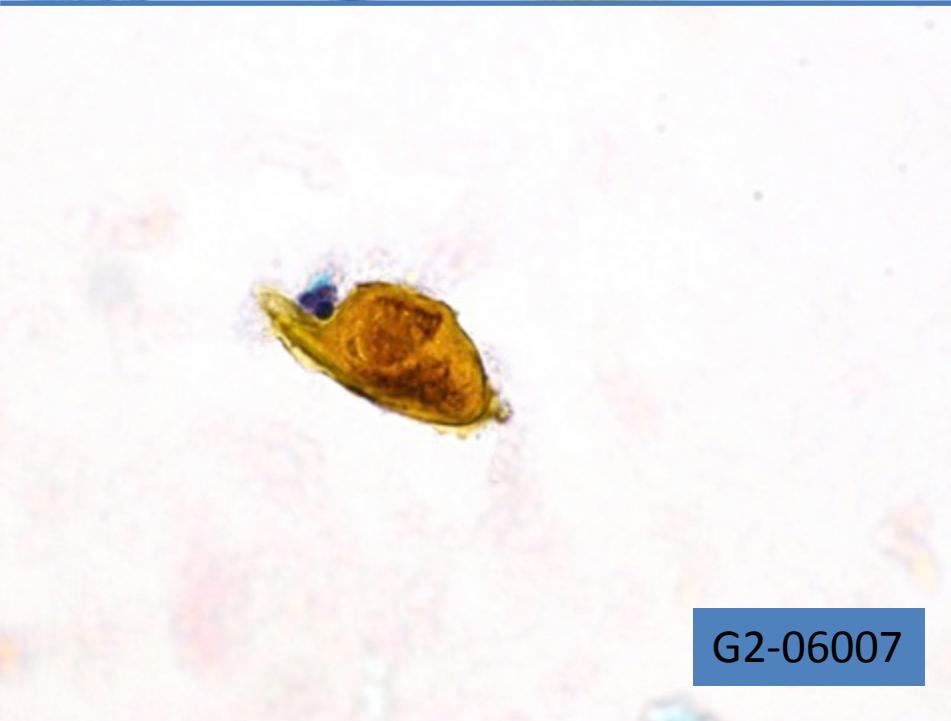
10 μ



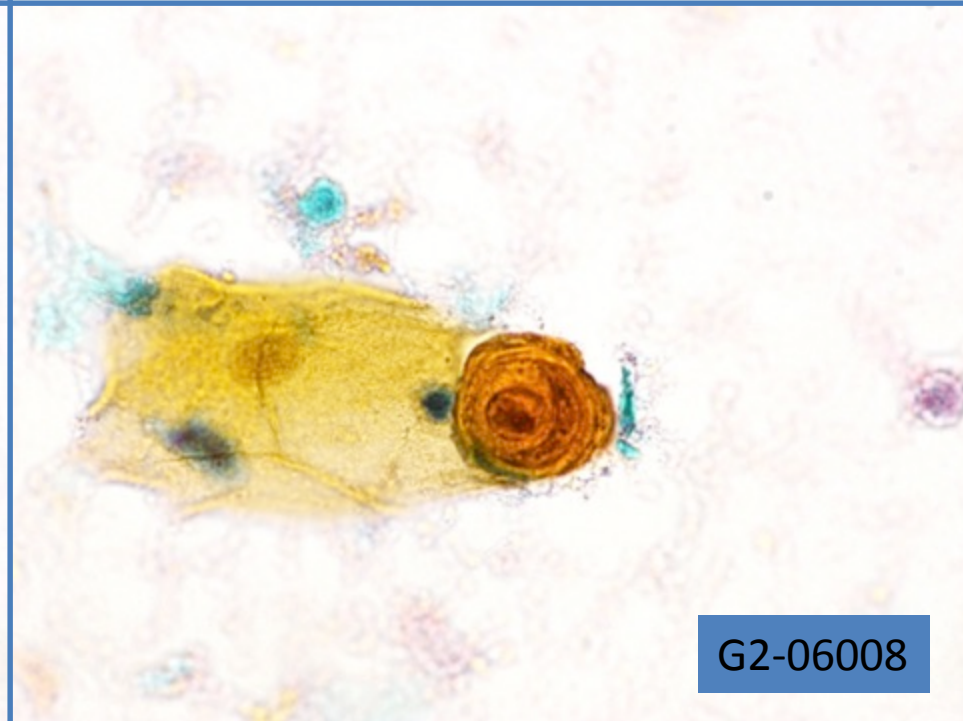
G2-06005



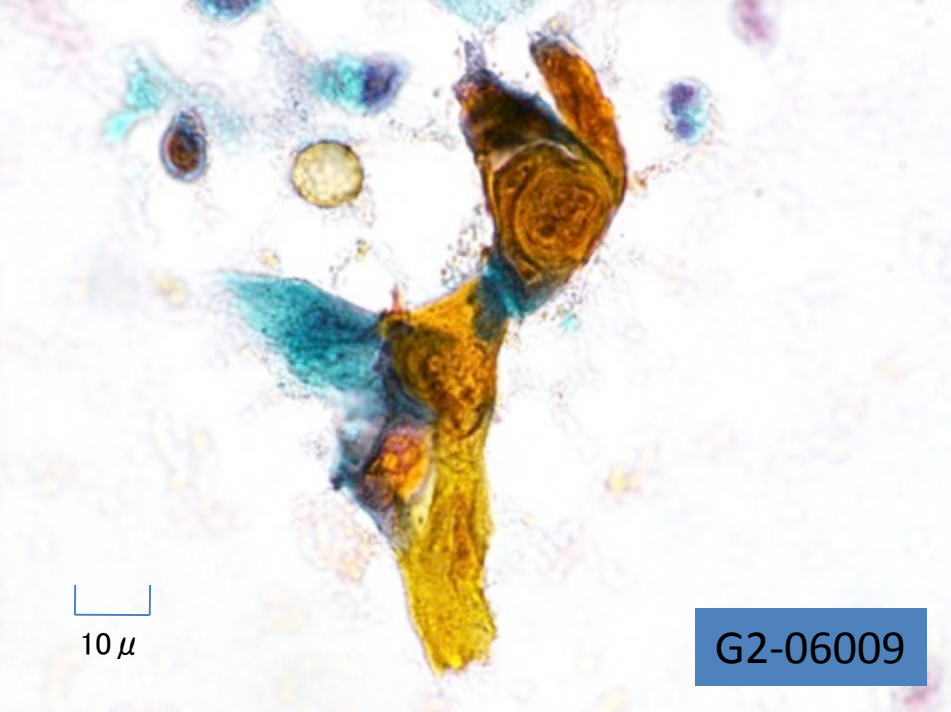
G2-06006



G2-06007



G2-06008



10 μ

G2-06009

症例 D8

D判定

6施設再判定:D 5、E 1

類円形～多辺形の小型～中型細胞が主体で、OG濃染し、核形不整、クロマチン軽度～中等度増量を認める。

C判定としない理由

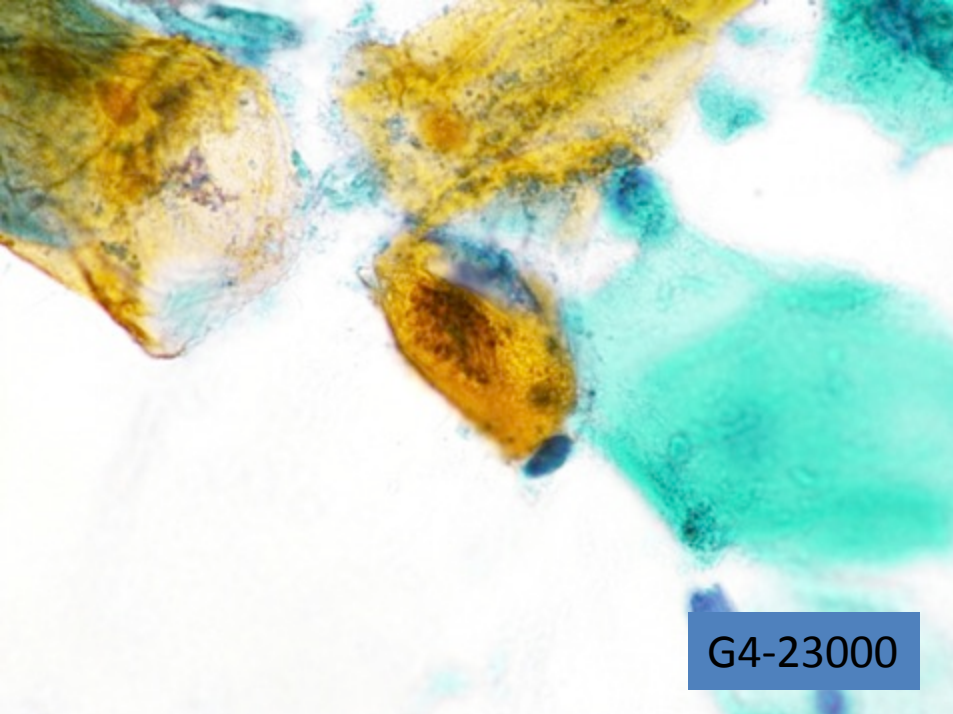
- ・ 核形不整
- ・ 大型細胞も認める

E判定としない理由

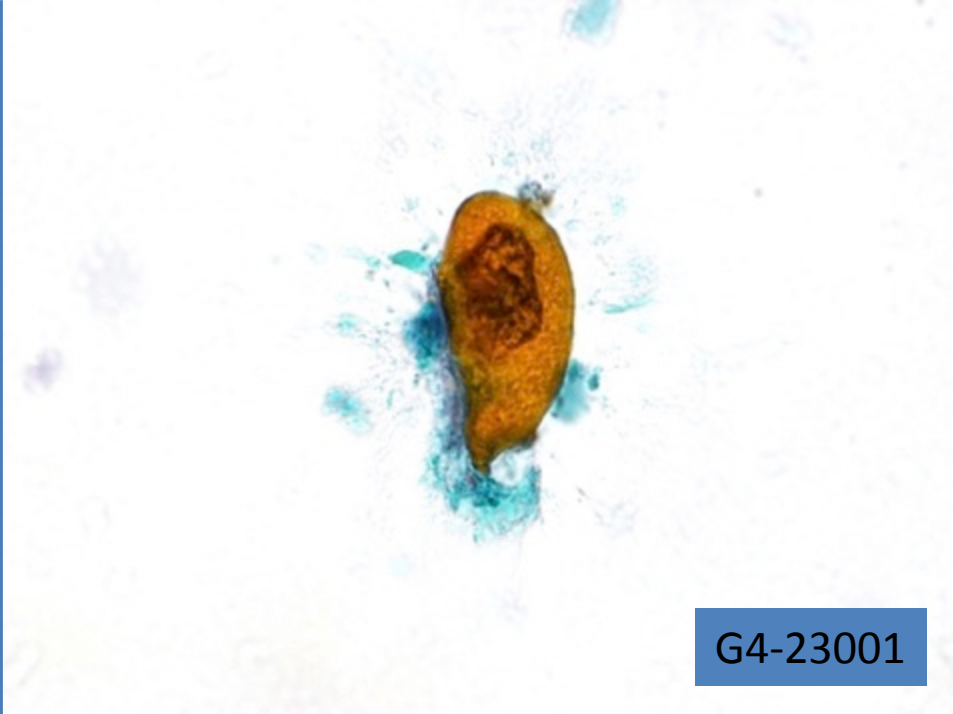
- ・ クロマチン軽度～中等度増量までの類円形細胞主体

その他

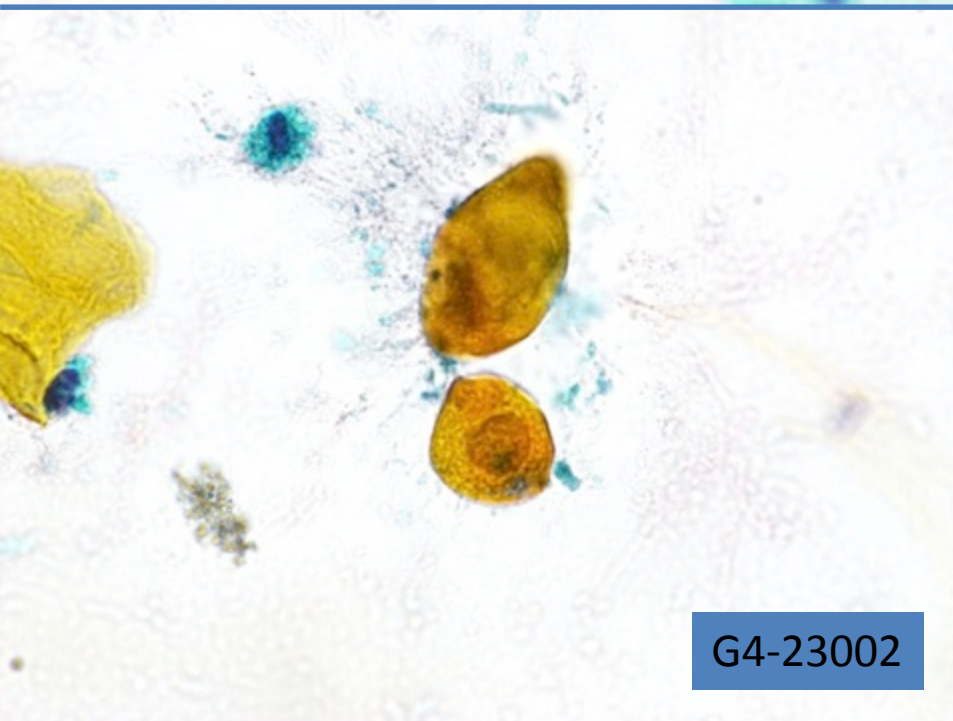
- ・ 細胞質の厚みを有し、核形不整とクロマチン増量を認める光輝性橙黄色の細胞(G4-23001,23003)
- ・ 癌を強く疑う所見



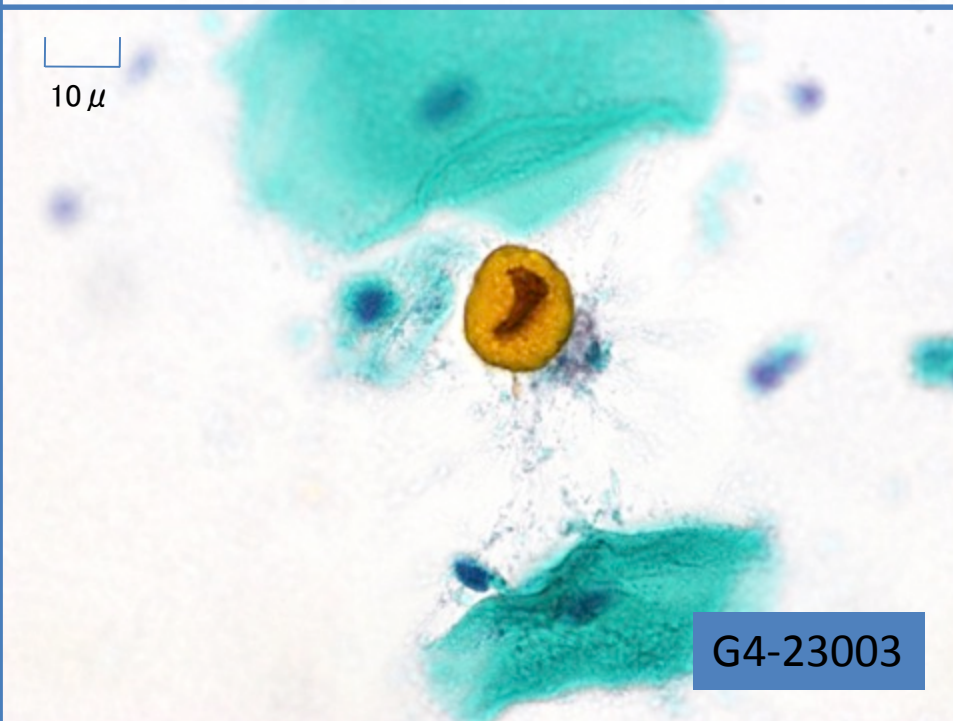
G4-23000



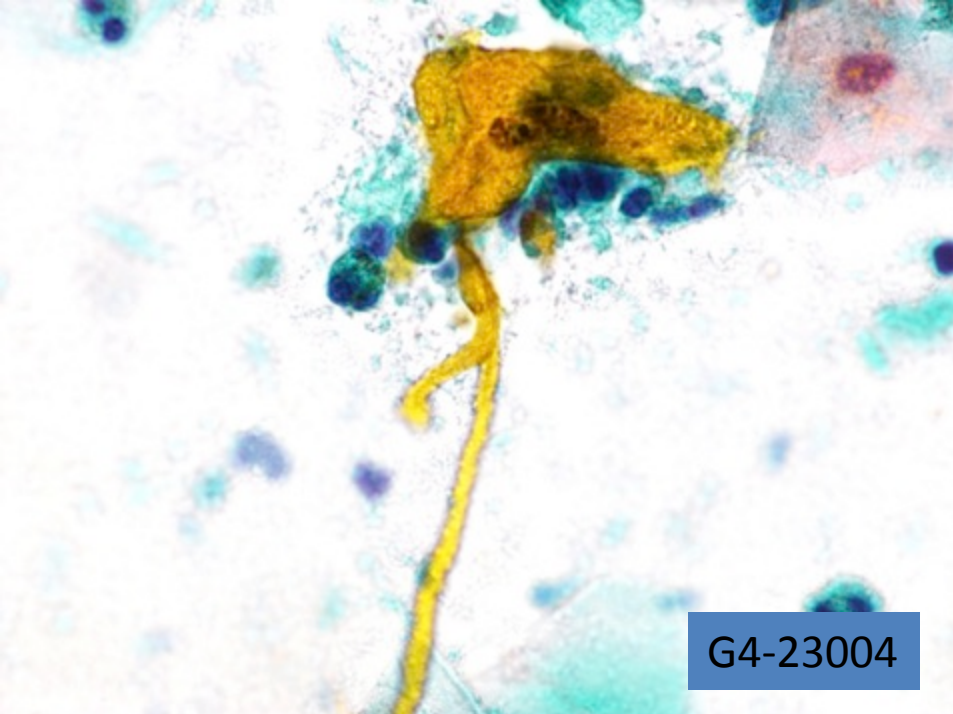
G4-23001



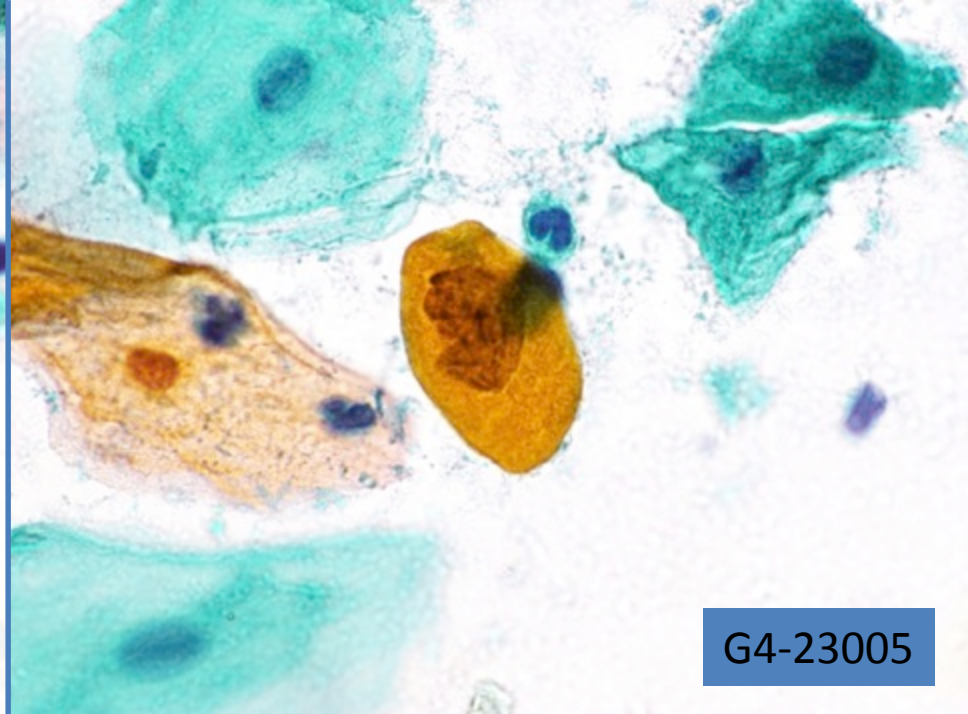
G4-23002



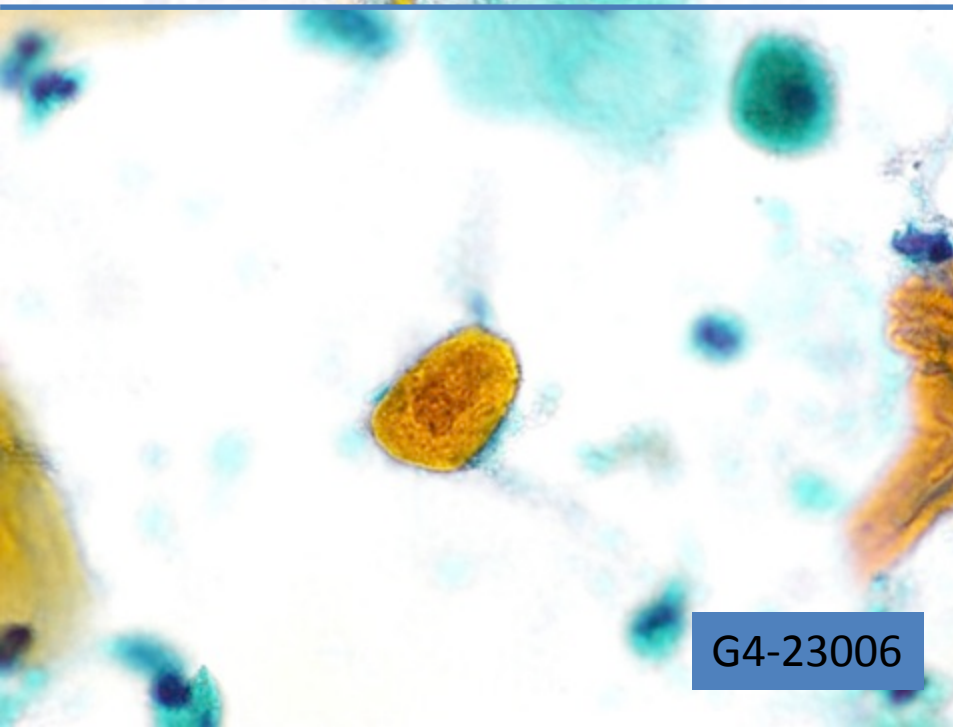
G4-23003



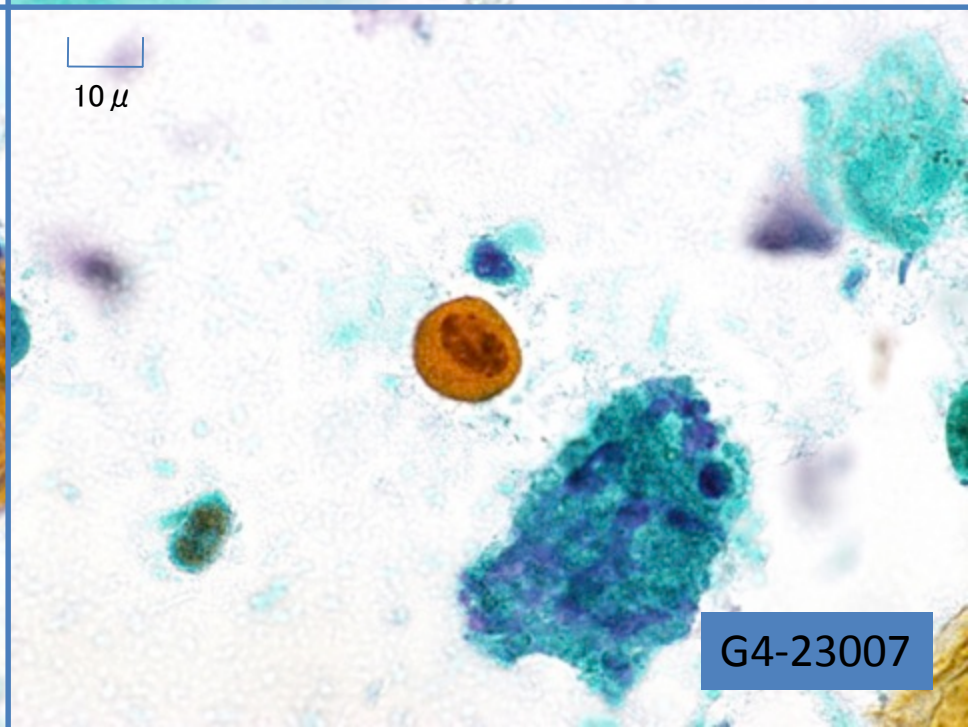
G4-23004



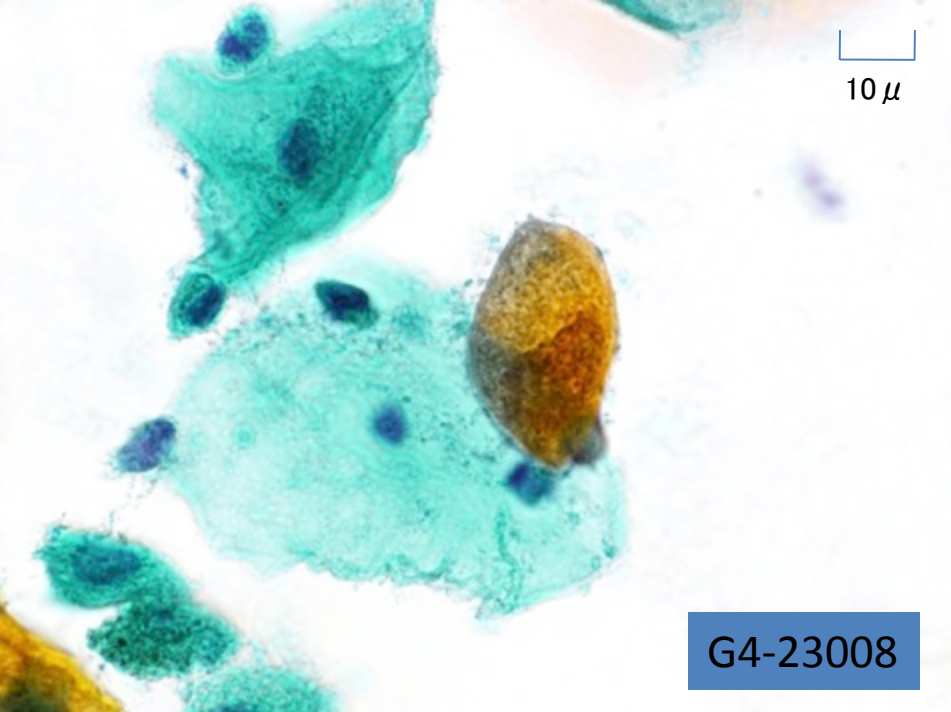
G4-23005



G4-23006



G4-23007



G4-23008

症例 D9

D判定

6施設再判定:D 5、E 1

小型～中型の類円形細胞が主体で、LG好性やOG好性細胞を認める。クロマチン軽度～中等度増量を認める。細胞質の厚みを有し、粗顆粒状にクロマチン増量した大型OG好性細胞や、相互封入像も認める。

C判定としない理由

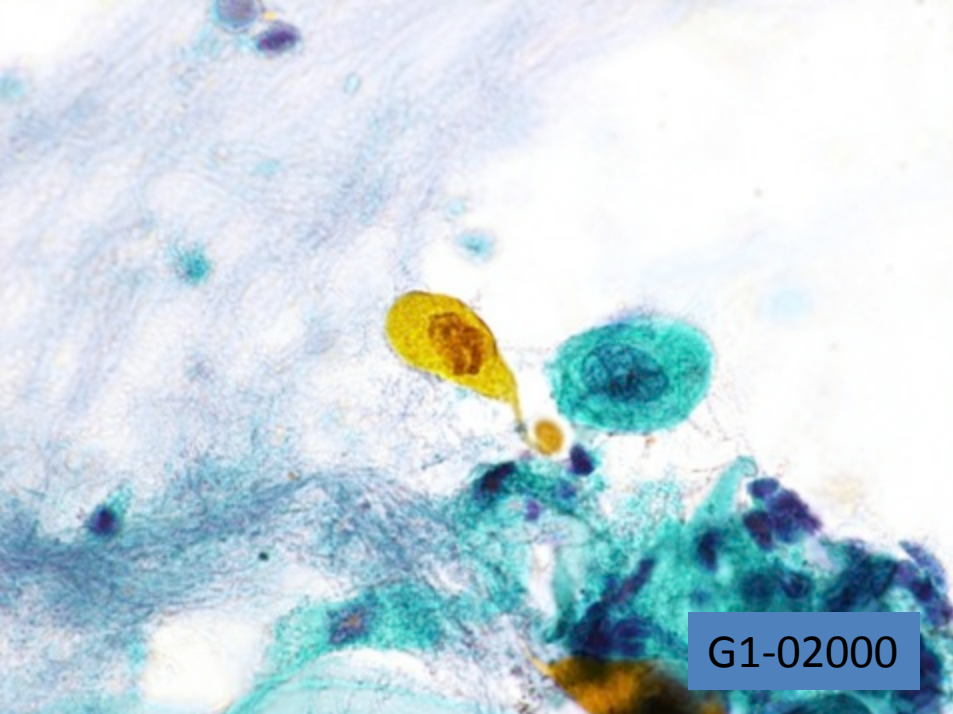
- ・ 細胞質が厚い
- ・ 核形不整

E判定としない理由

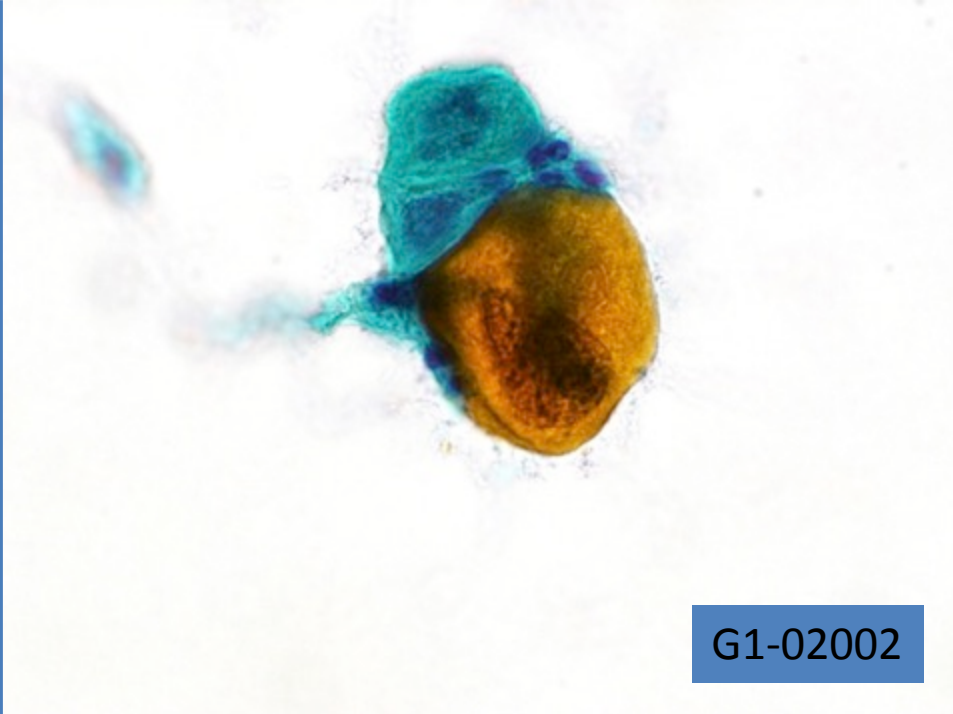
- ・ 変性所見強い
- ・ クロマチン増量が中等度程度まで

その他

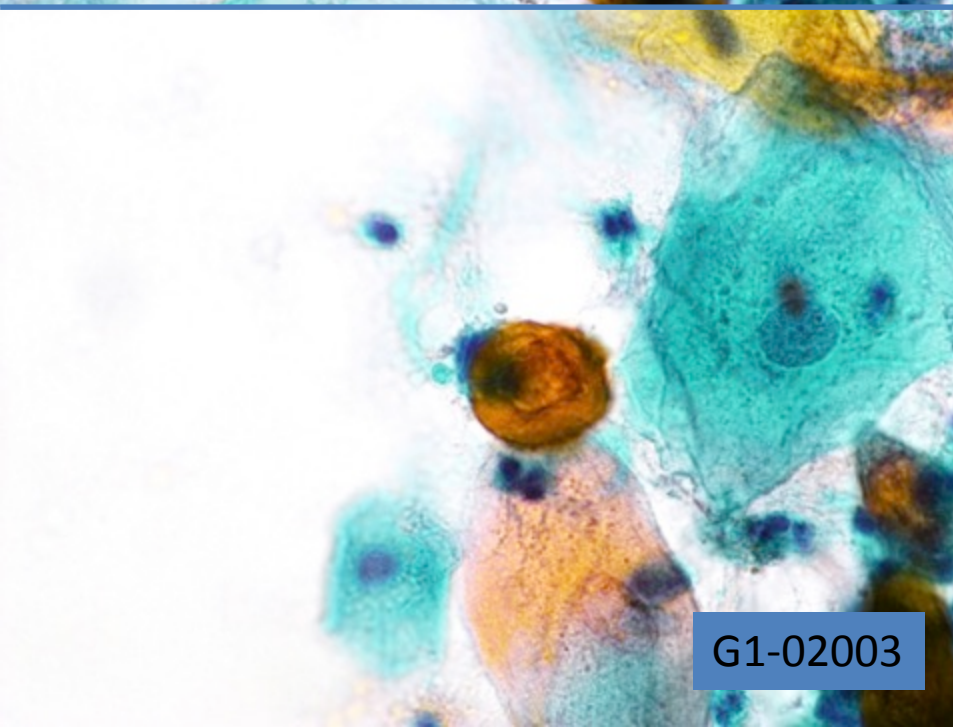
- ・ 大型細胞(G1-02002)や、壊死性背景にN/C比大の細胞(G1-02009)の出現を認める
- ・ 癌を強く疑う所見



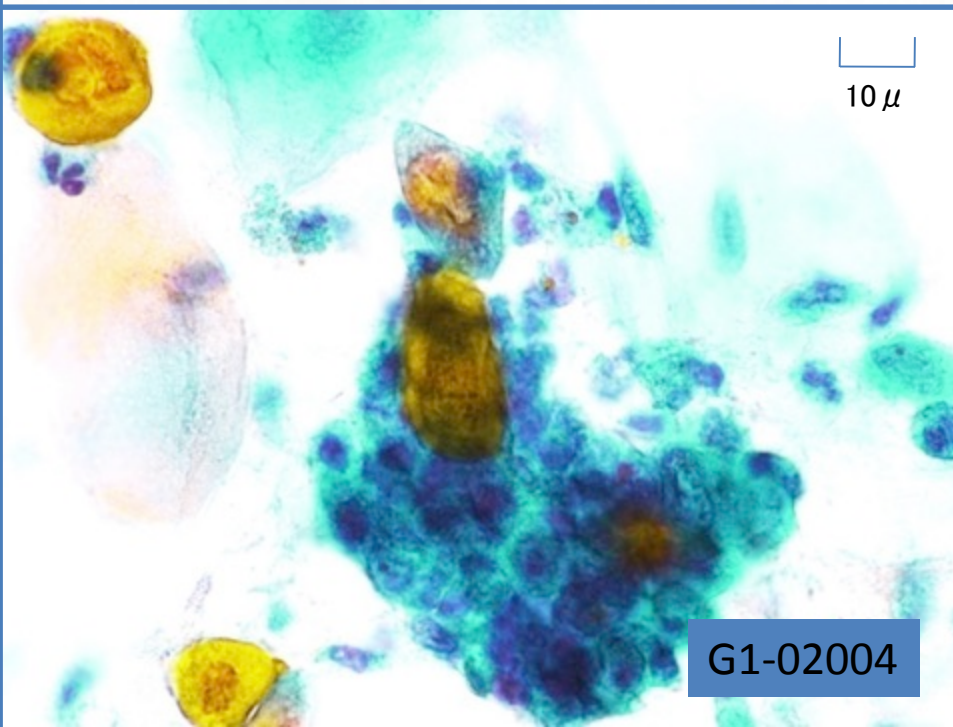
G1-02000



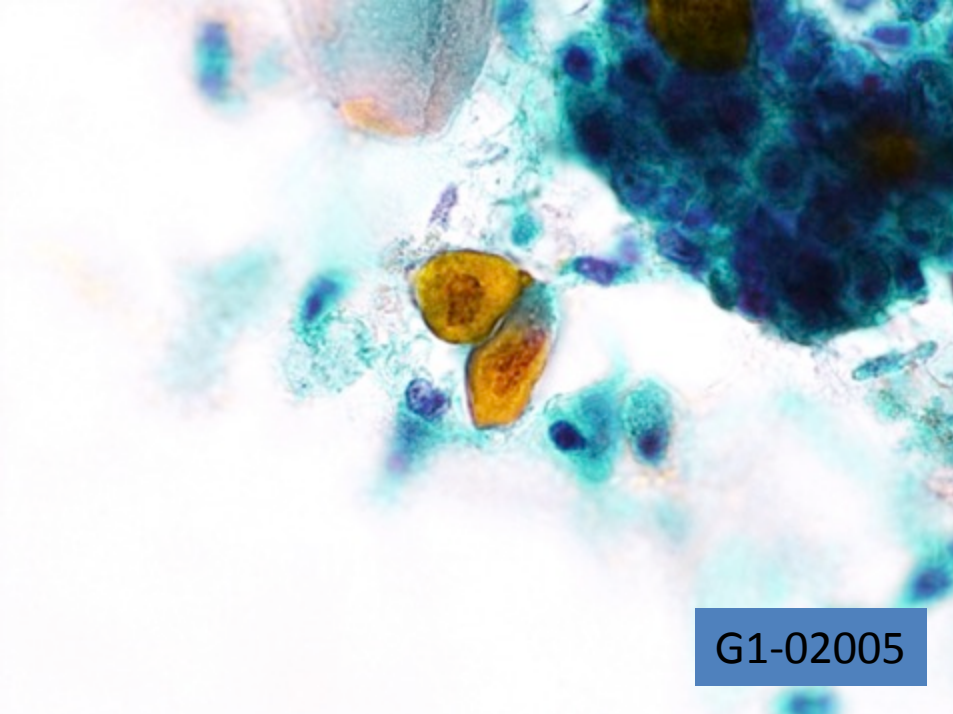
G1-02002



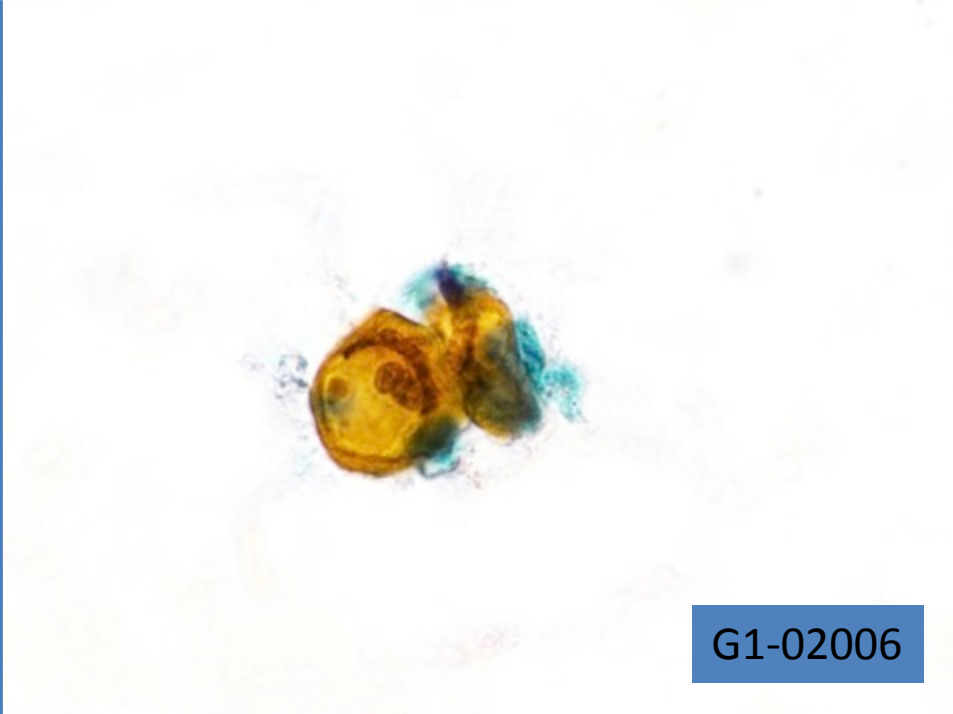
G1-02003



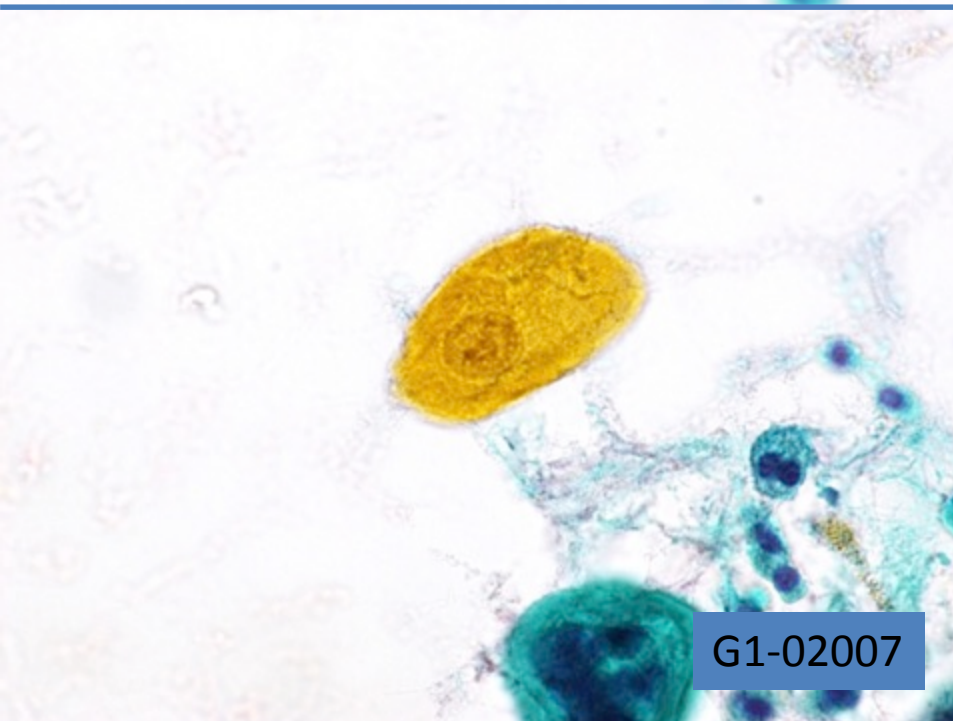
G1-02004



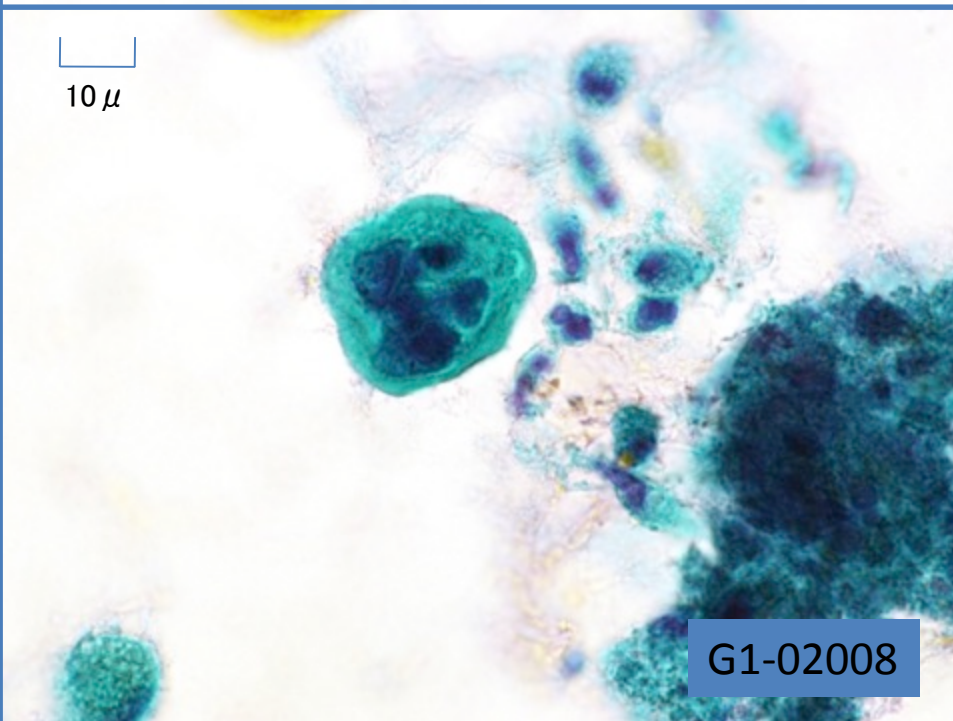
G1-02005



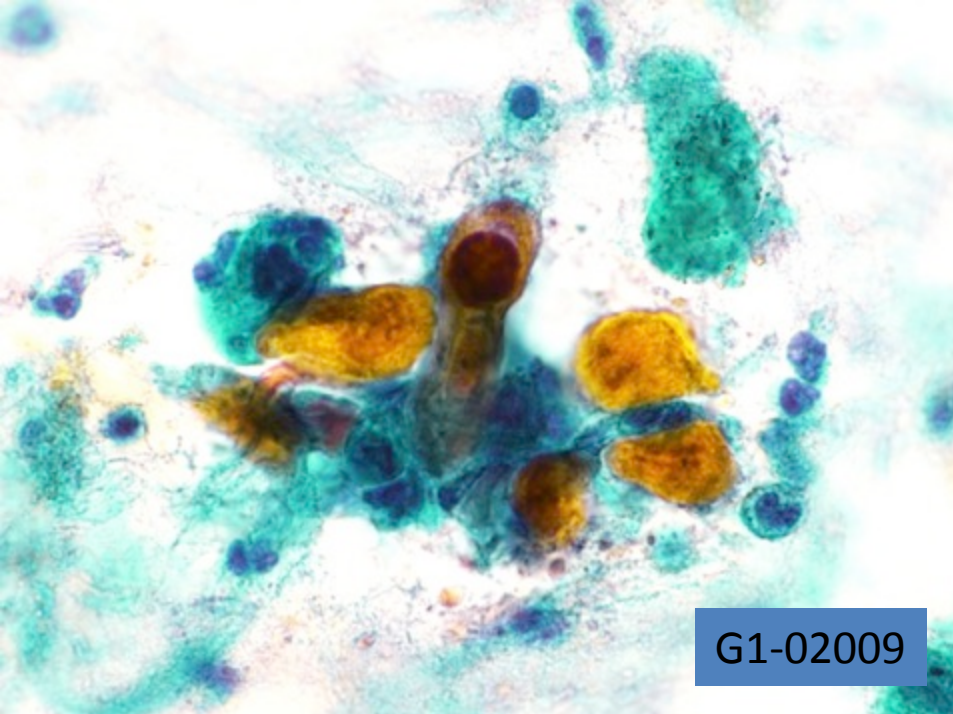
G1-02006



G1-02007



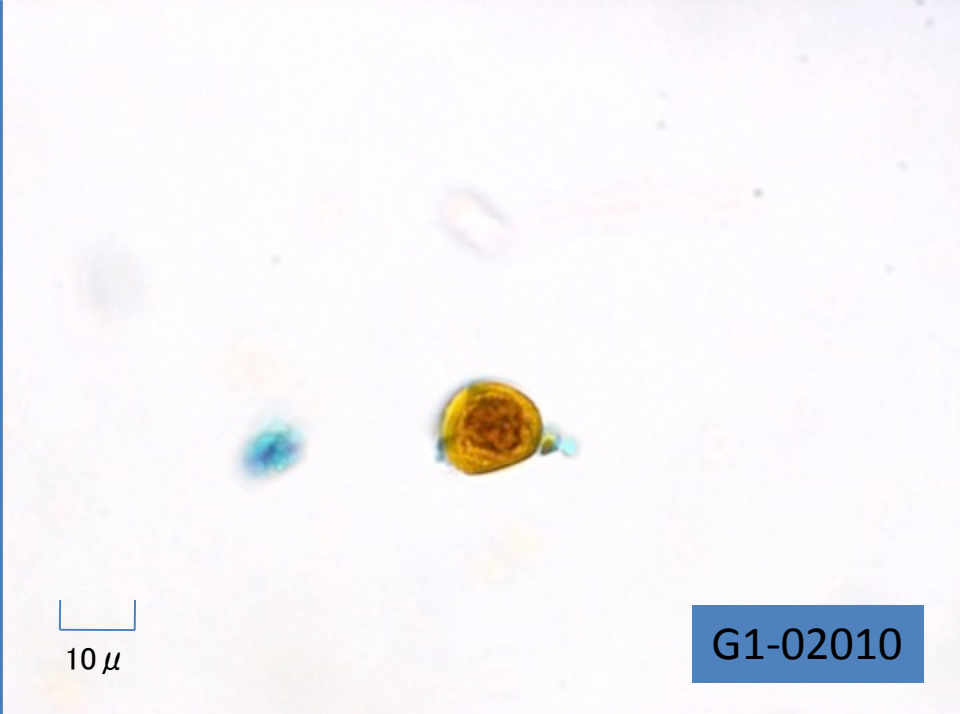
G1-02008



G1-02009



10 μ



G1-02010

症例 D10

D判定

6施設再判定:C 1、D 5

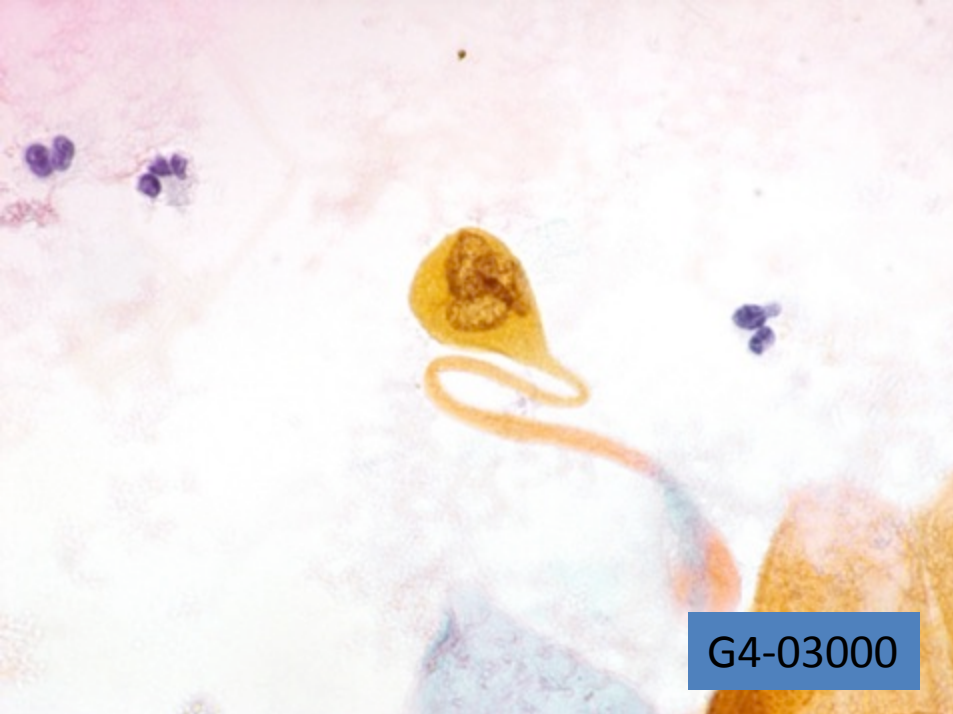
類円形～多辺形細胞主体で、光輝性橙黄色の小型細胞(G4-03002, 03003)や多核細胞も認める。クロマチンはやや不均等分布するが、中等度増量まで。

C判定としない理由

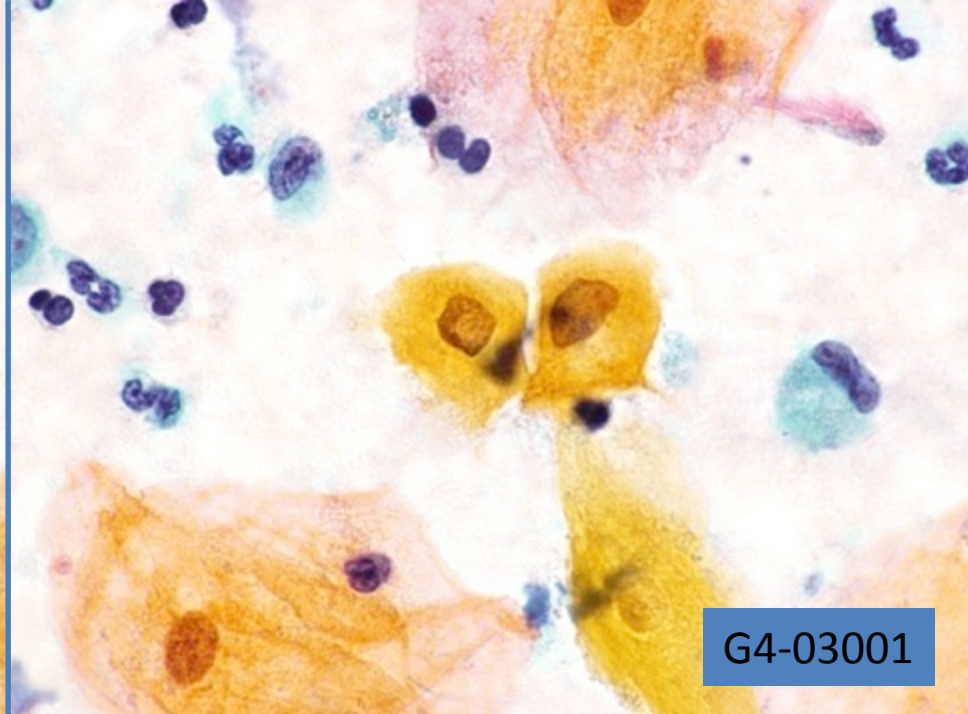
- ・ 奇妙な形の細胞や核の不規則配列を呈する細胞集塊
- ・ クロマチン中等度増量

E判定としない理由

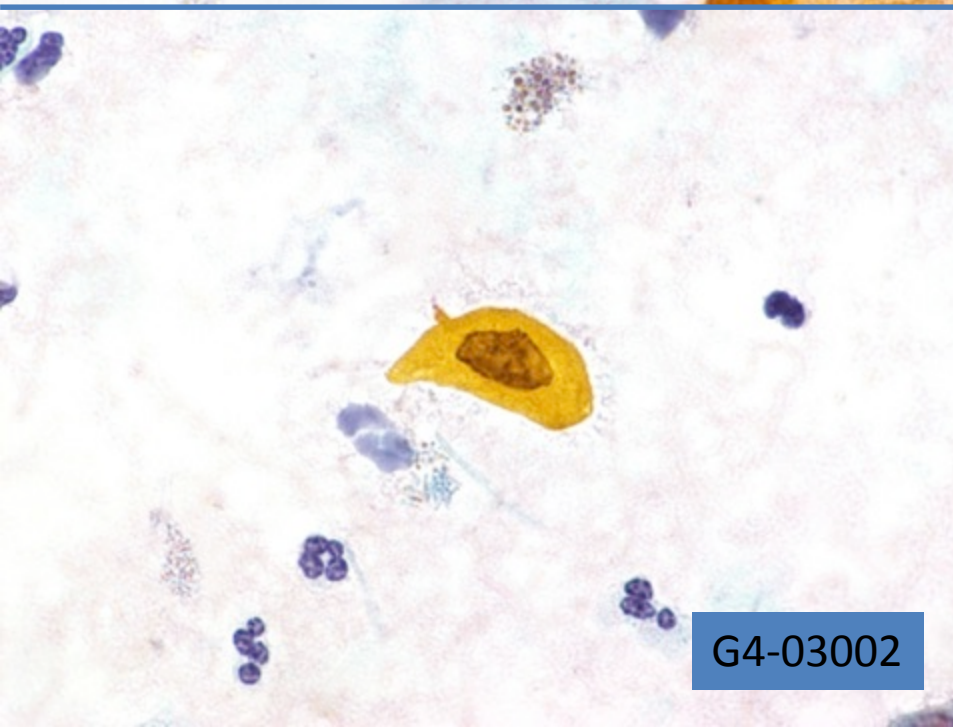
- ・ 細胞質の厚みが足りない
- ・ クロマチン粗剛さが足りない



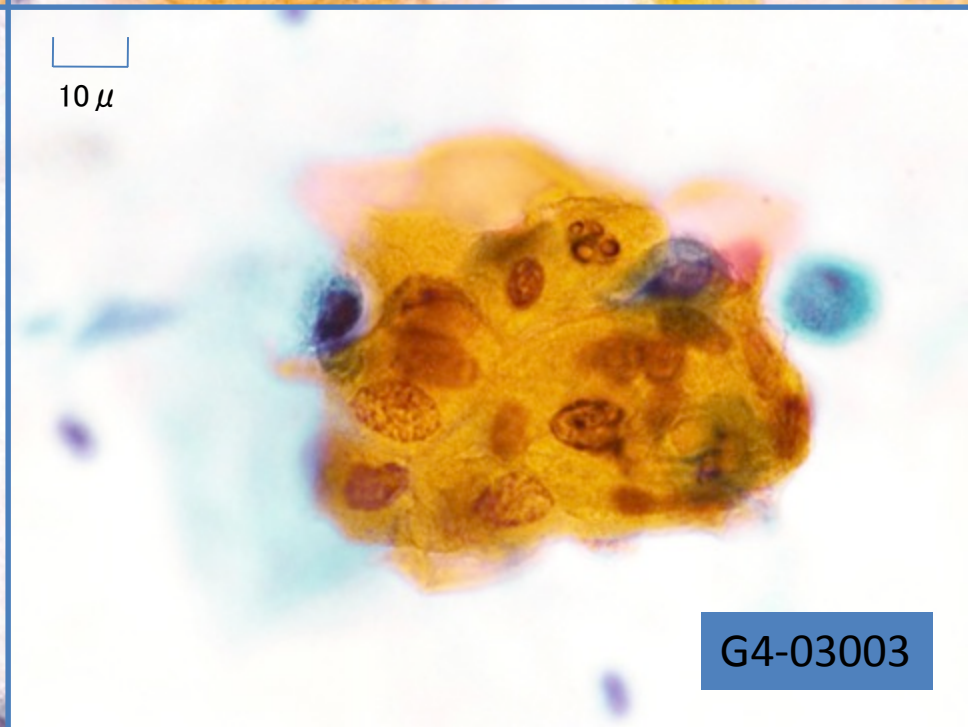
G4-03000



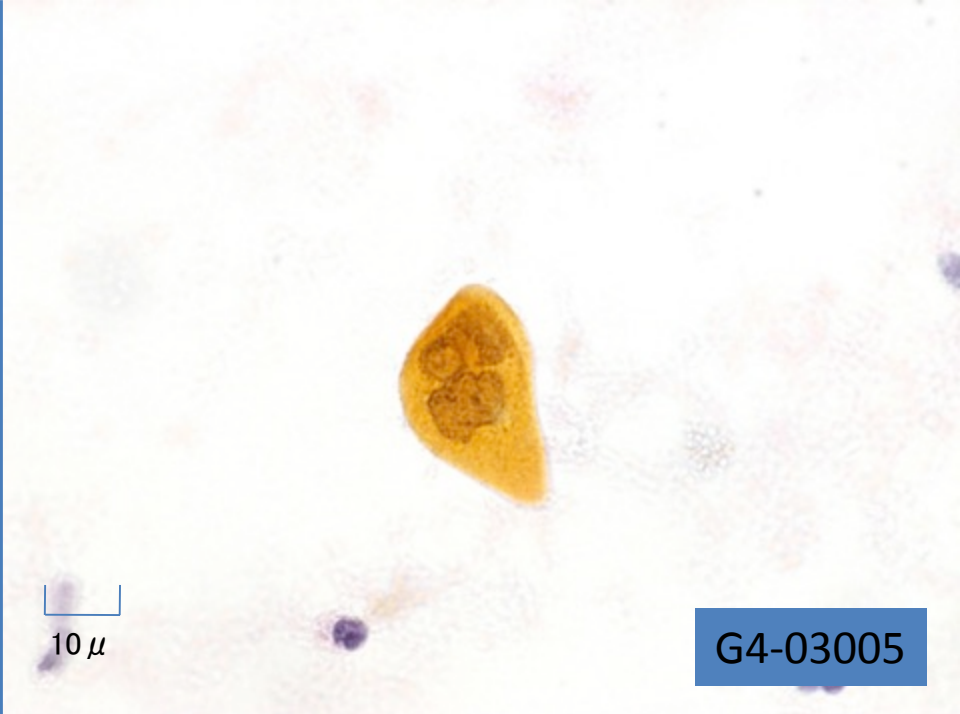
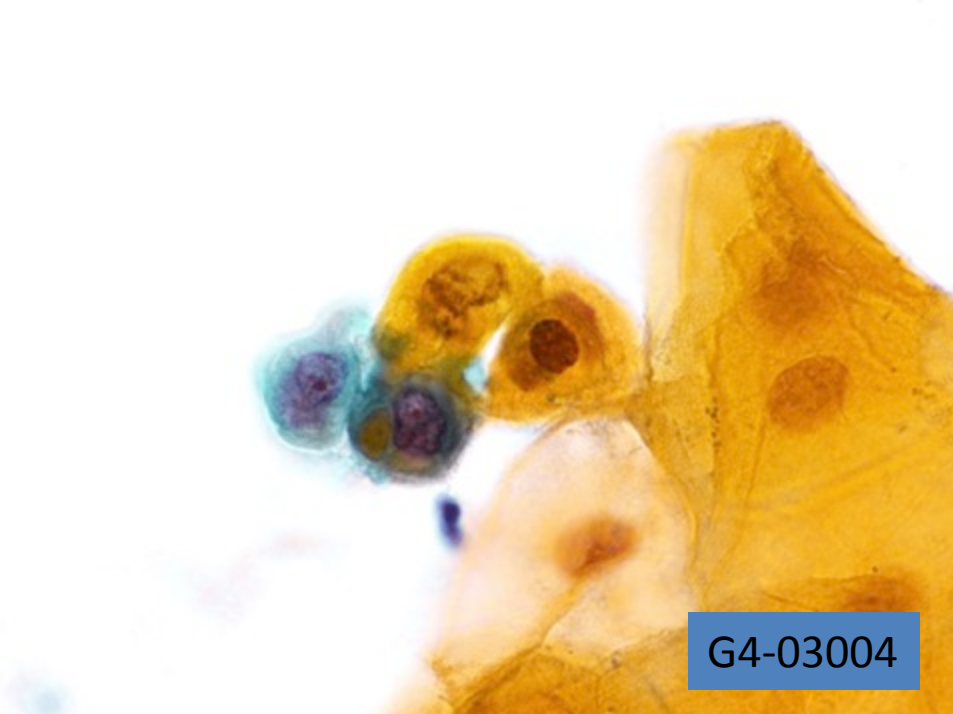
G4-03001



G4-03002



G4-03003



症例 D11

D判定

6施設再判定:C 1、D 5

小型で、類円形～多辺形細胞が主体。クロマチン軽度～中等度増量を認める。

C判定としない理由

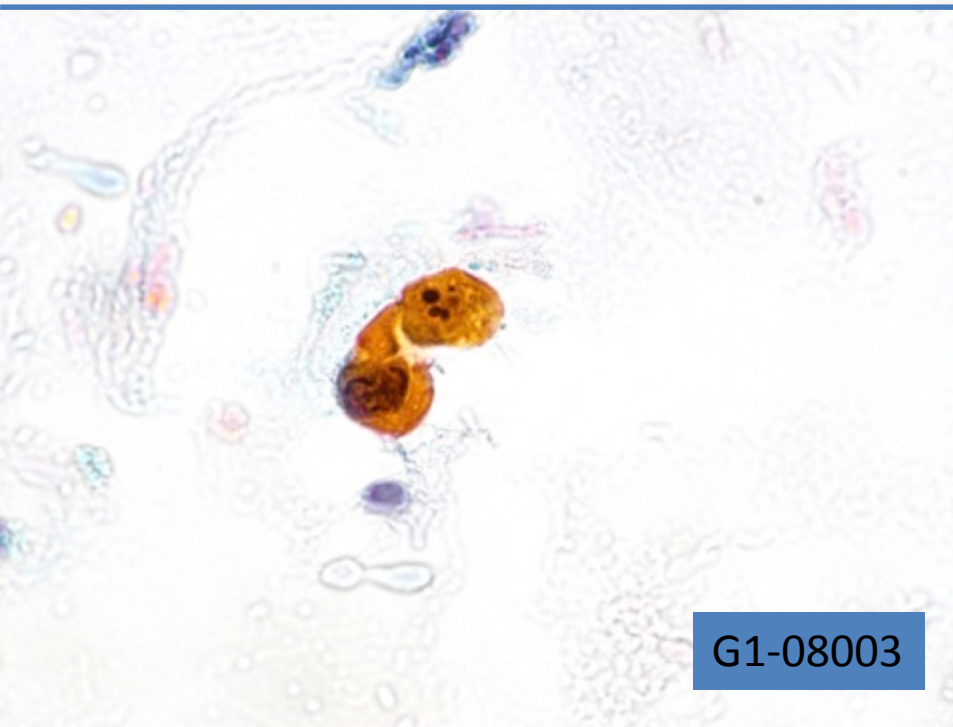
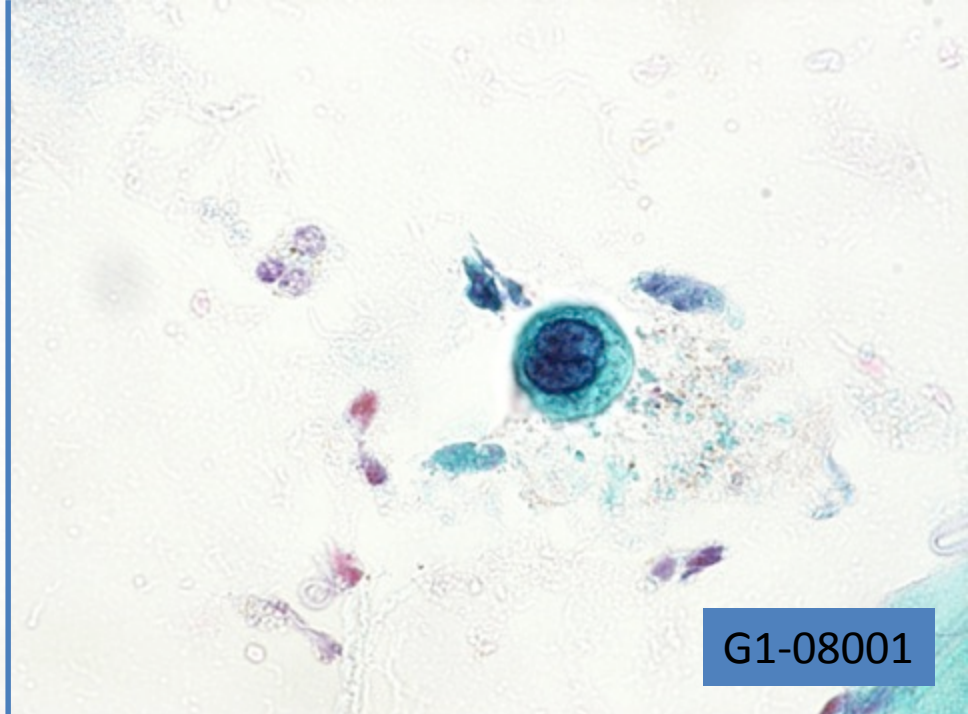
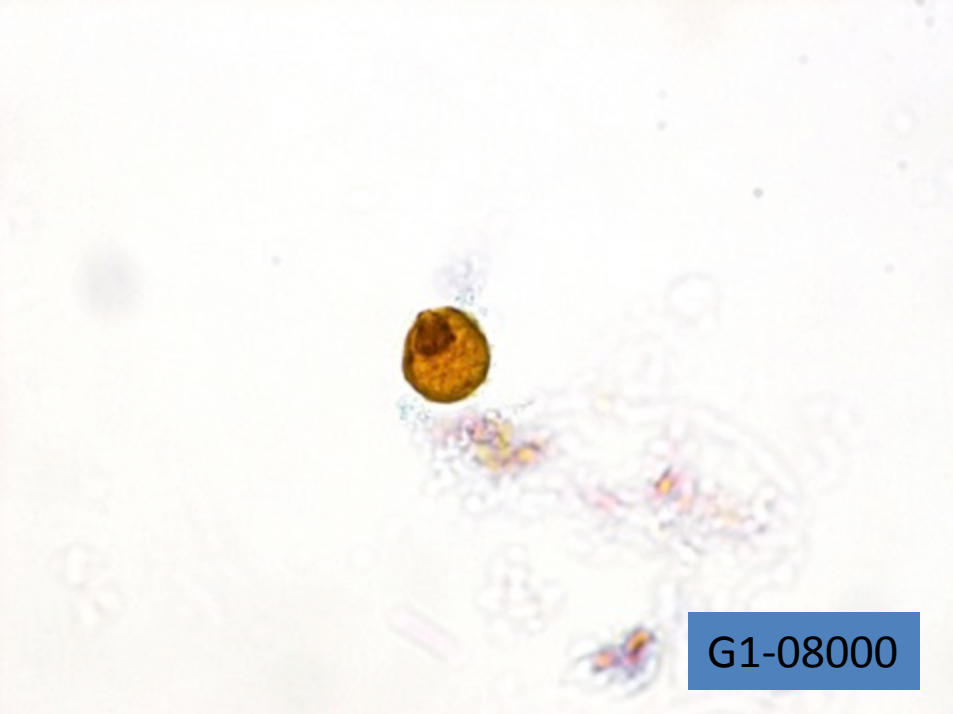
- ・ 細胞質の厚み
- ・ N/C比大、核形不整

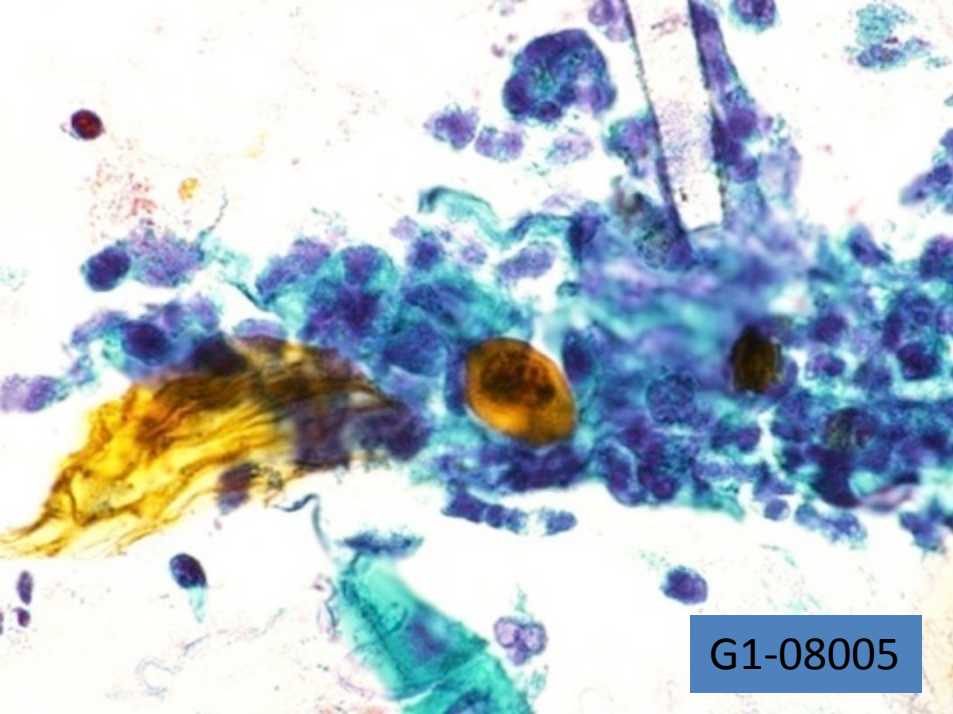
E判定としない理由

- ・ クロマチン増量が足りない

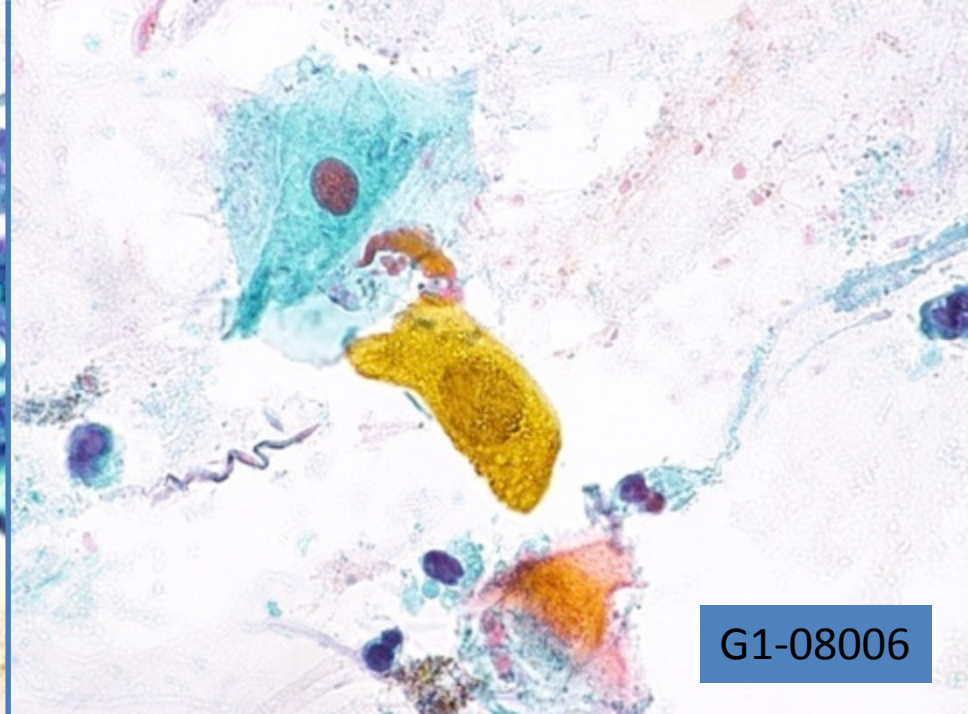
その他

- ・ レモンイエローや多染性の細胞質(G1-08004, 08006)
- ・ 異形成以上を考える所見

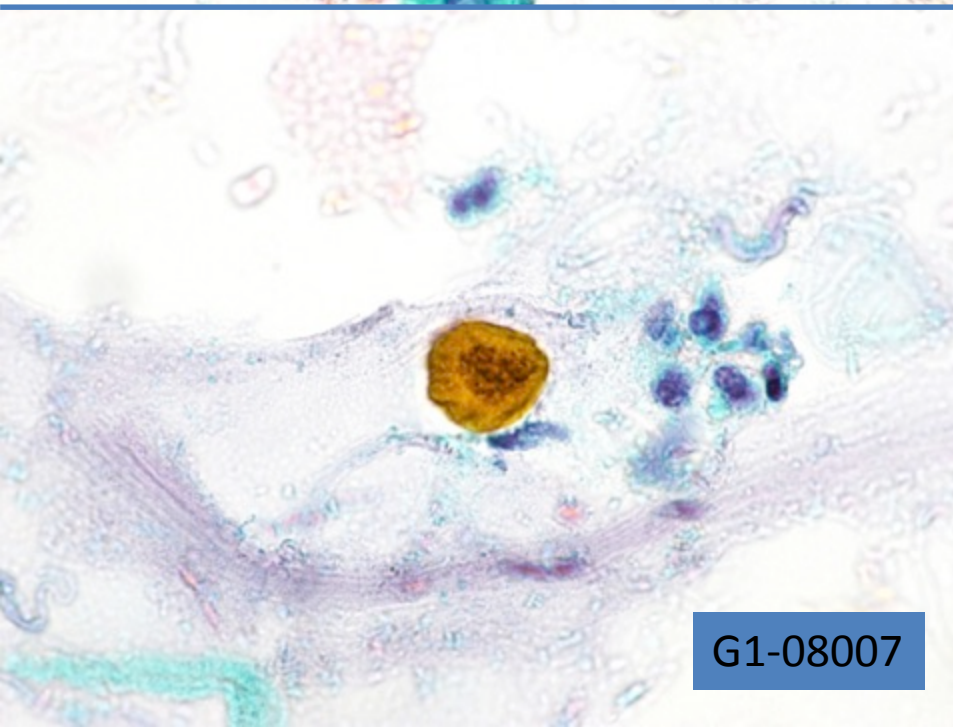




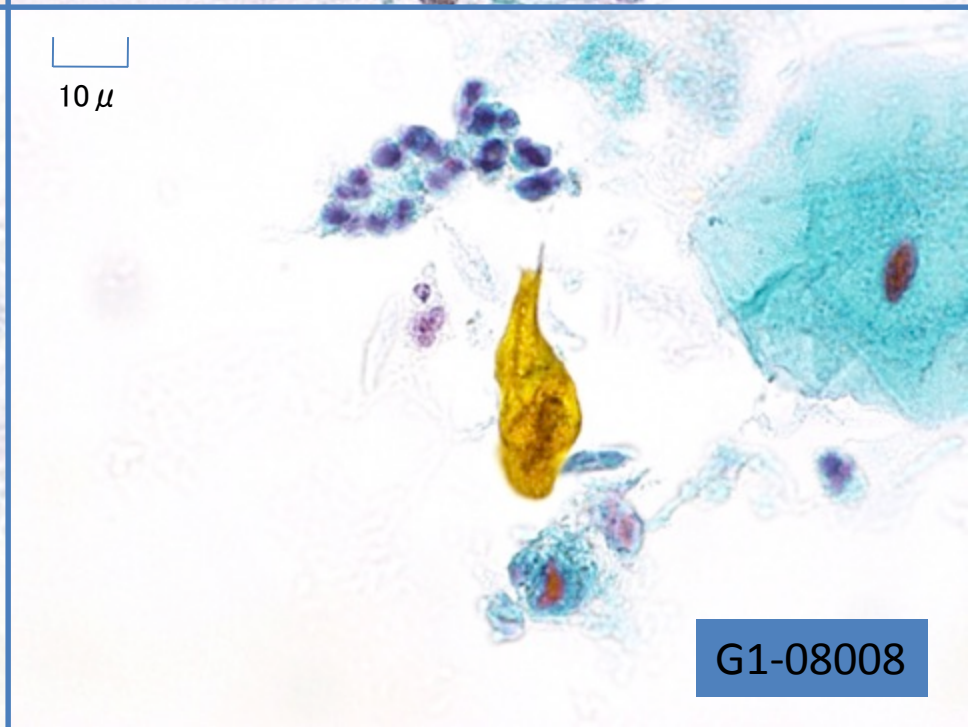
G1-08005



G1-08006

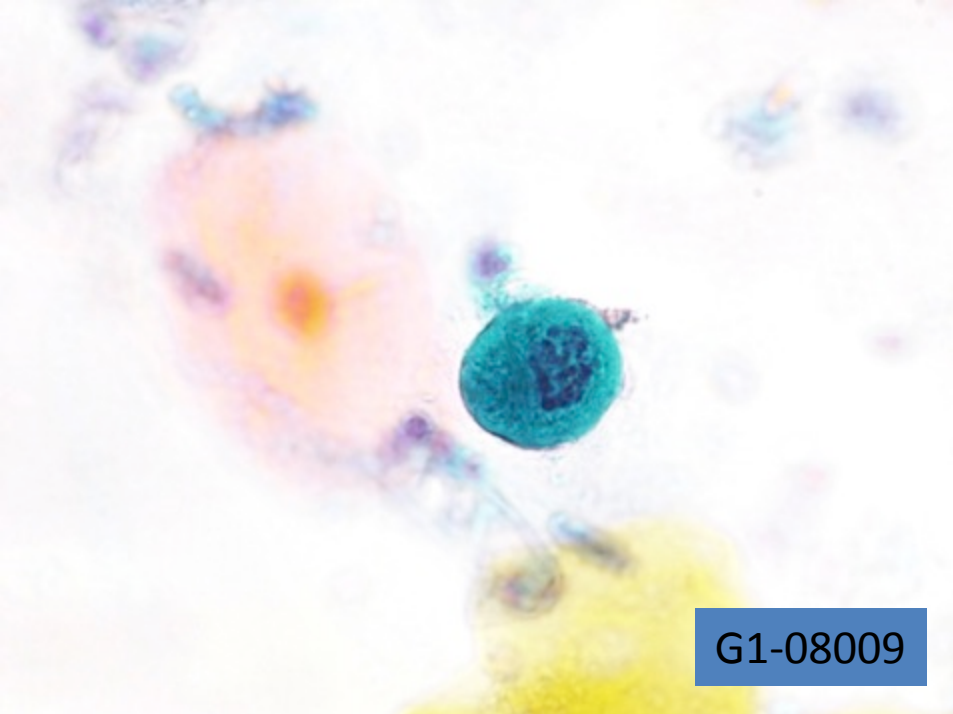


G1-08007

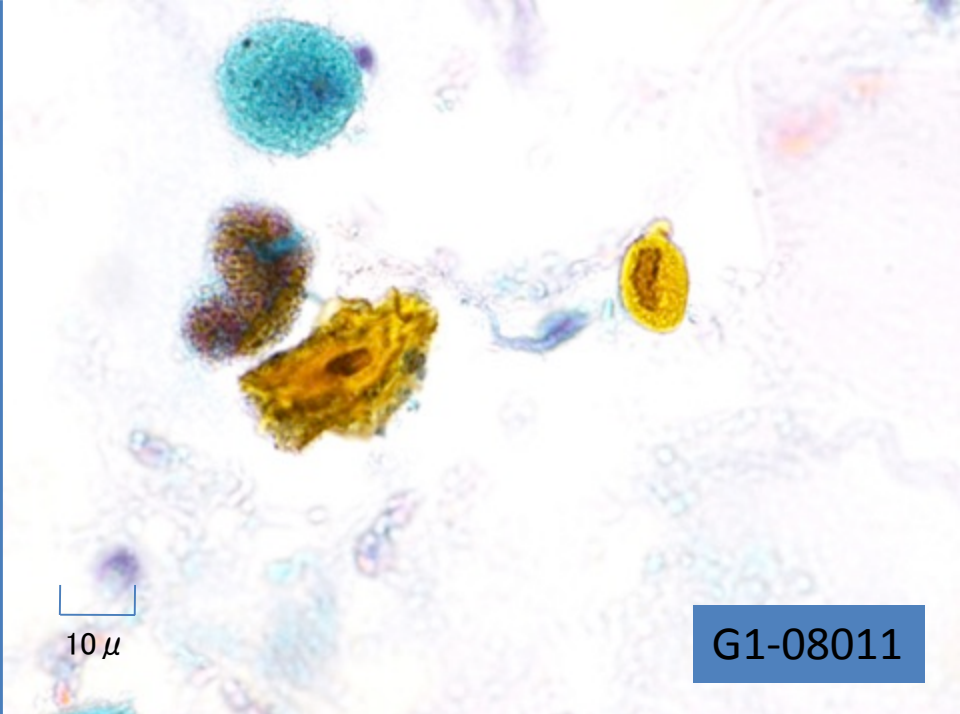


G1-08008

10 μ

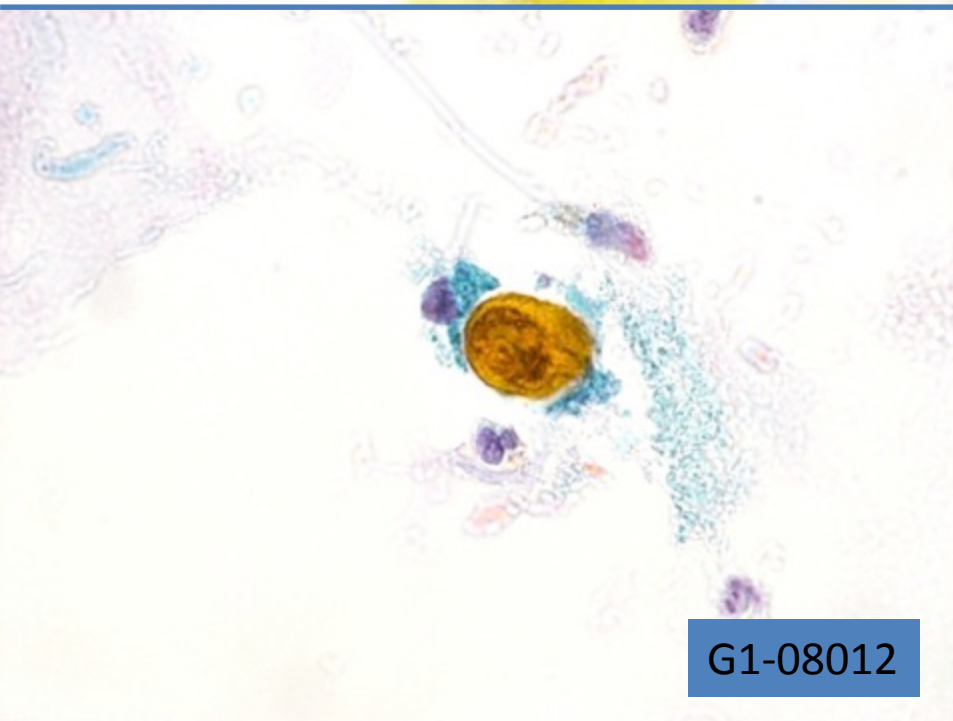


G1-08009



10 μ

G1-08011



G1-08012

症例 D12

D判定

6施設再判定:C 1、D 5

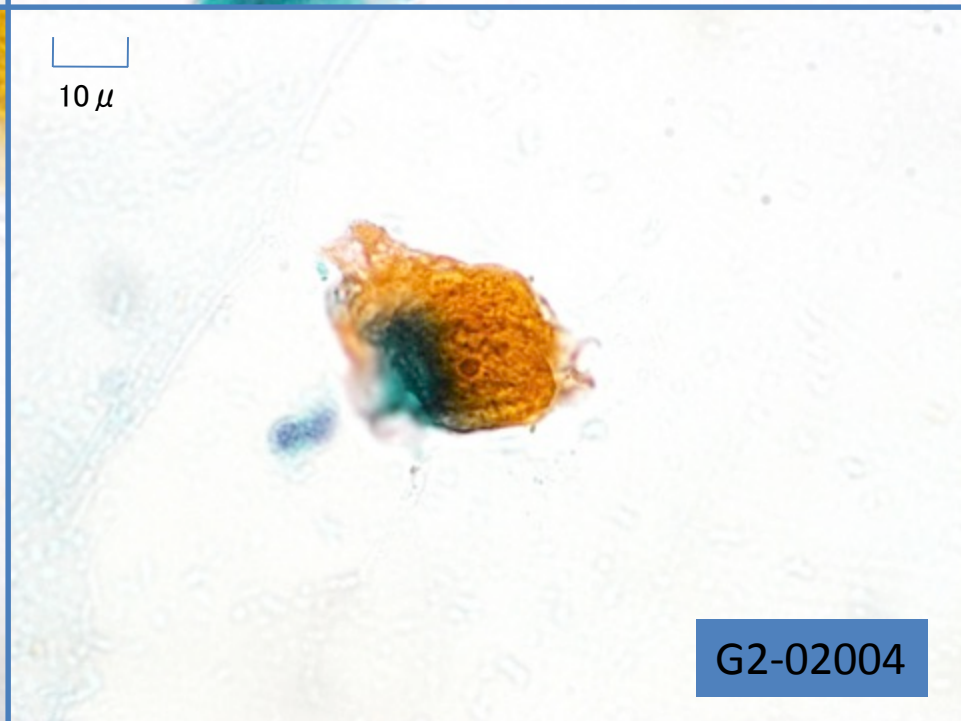
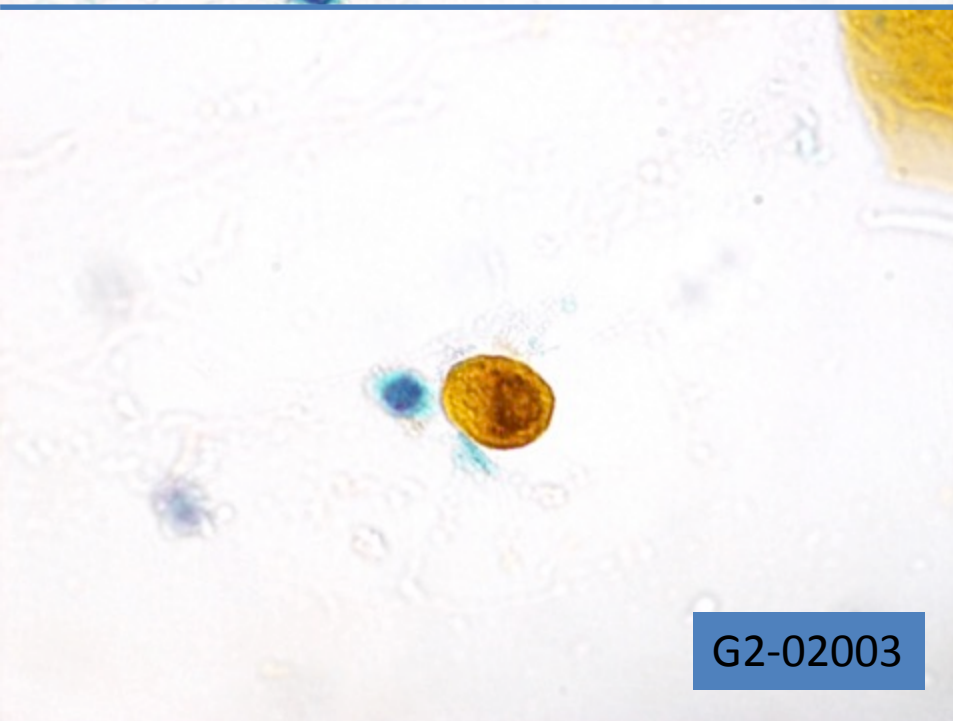
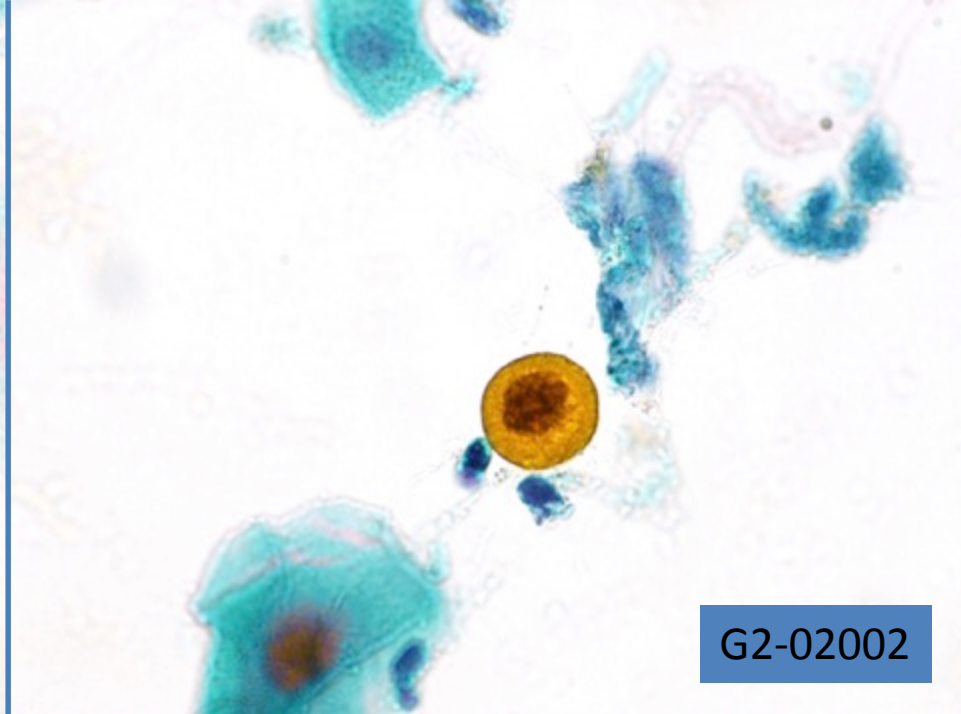
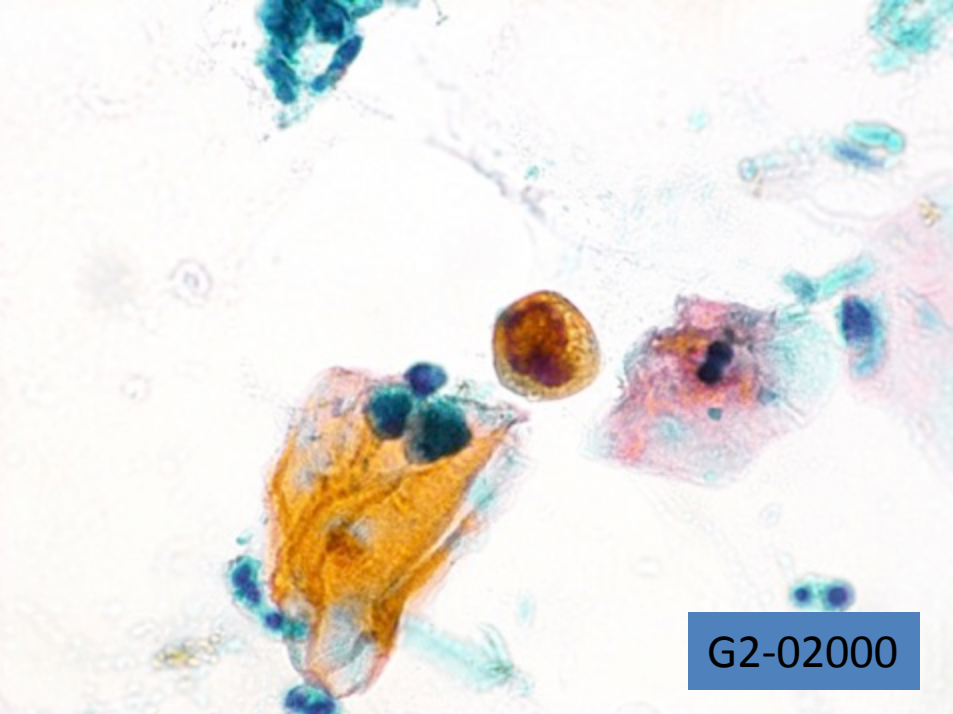
小型類円形細胞主体で、光輝性橙黄色(G2-02005,6)の細胞質の厚みを有する細胞も認める。N/C比大だがクロマチンは中等度増量まで。

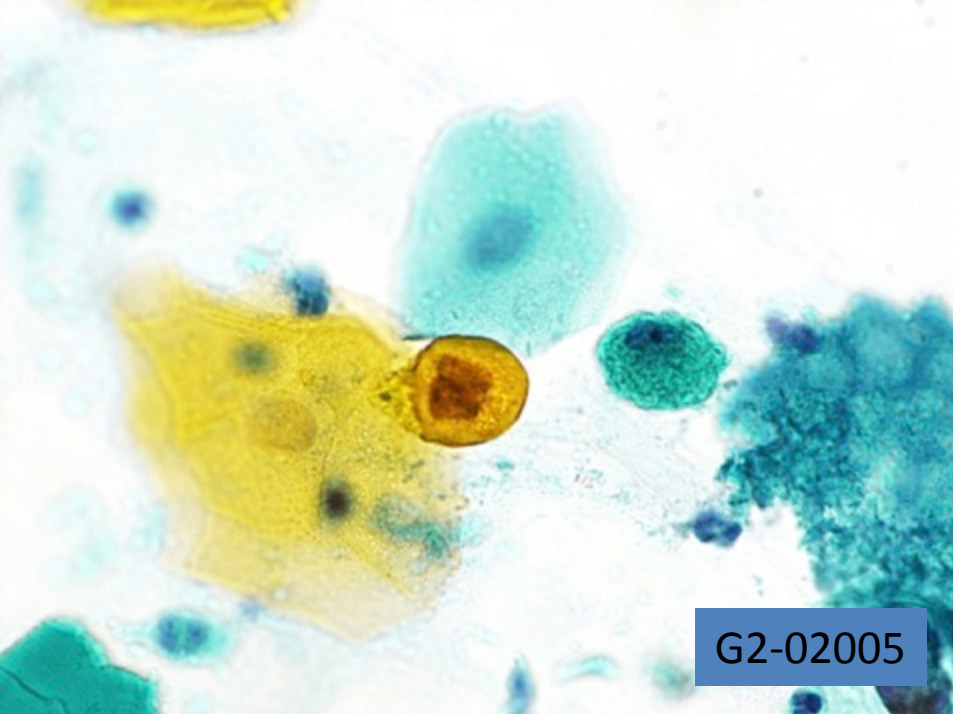
C判定としない理由

- ・ N/C比大
- ・ 細胞質が厚い
- ・ 核形不整

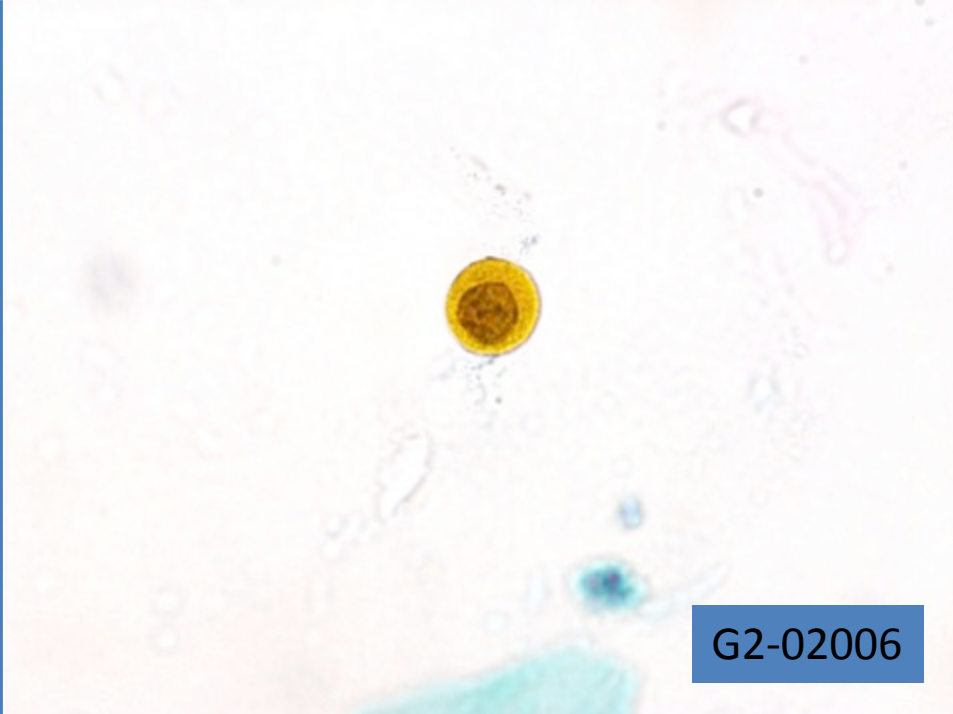
E判定としない理由

- ・ 小型細胞が主体で多彩性に欠ける
- ・ クロマチン中等度増量まで

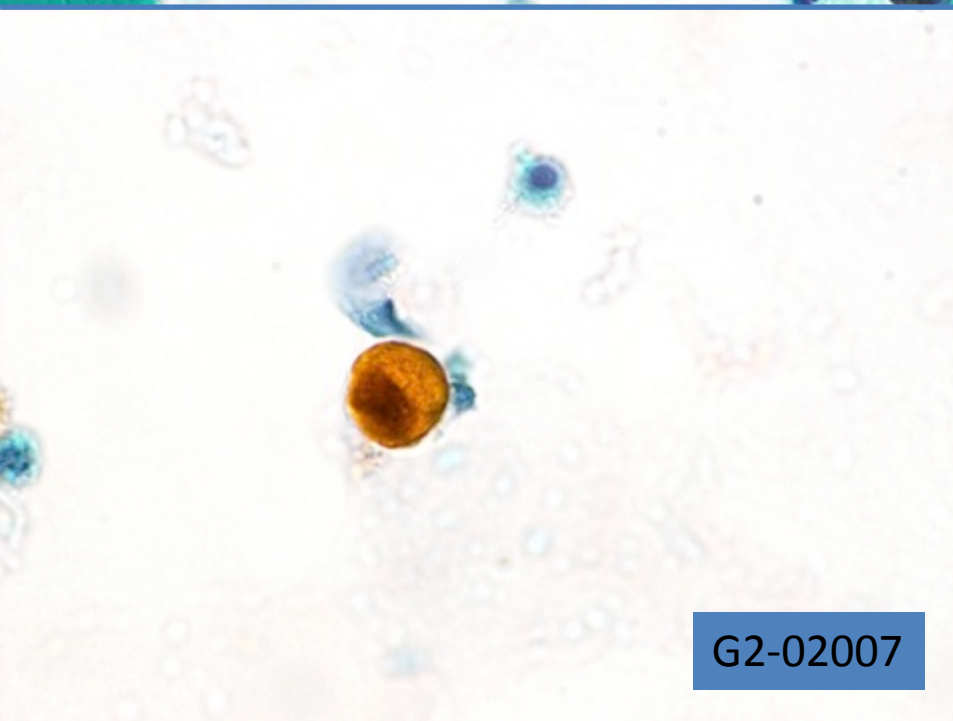




G2-02005



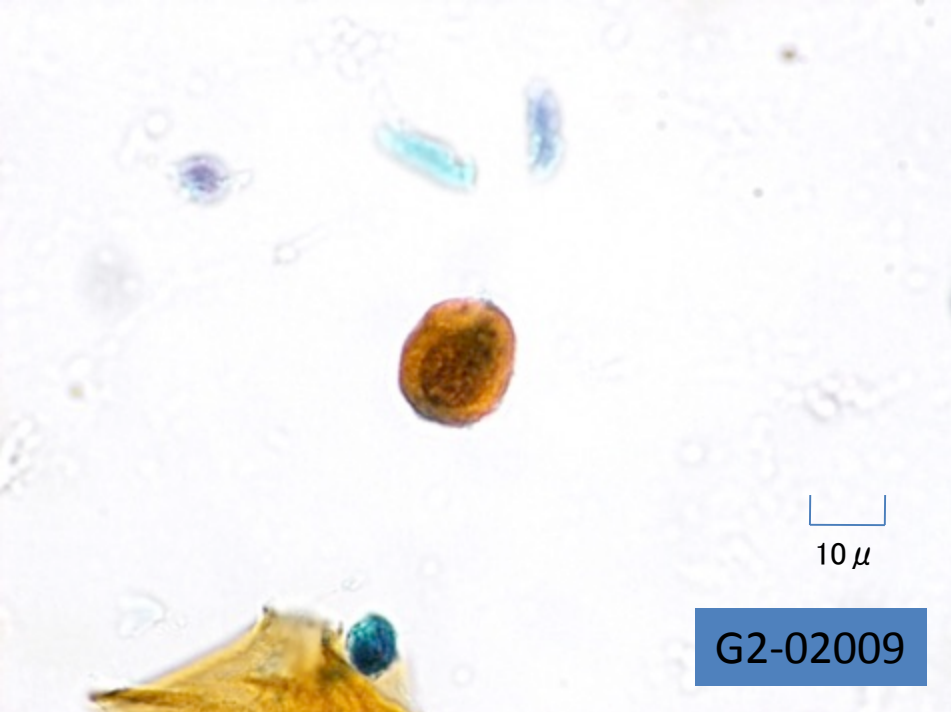
G2-02006



G2-02007



G2-02008



10 μ

G2-02009

症例 D13

D判定

6施設再判定:C 1、D 5

類円形～不整形、小型～中型細胞が主体。N/C比中～大でクロマチン細～粗顆粒状を呈する。

C判定としない理由

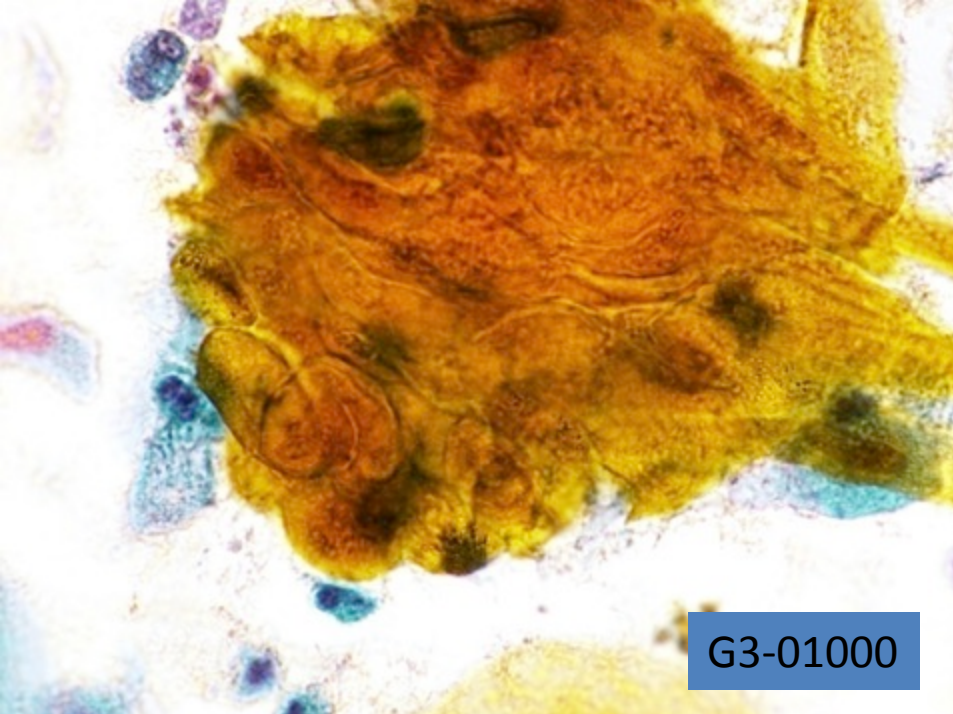
- ・ OG好性細胞集塊の多彩性を有する核(G3-01000)
- ・ N/C比大 核形不整
- ・ クロマチン増量

E判定としない理由

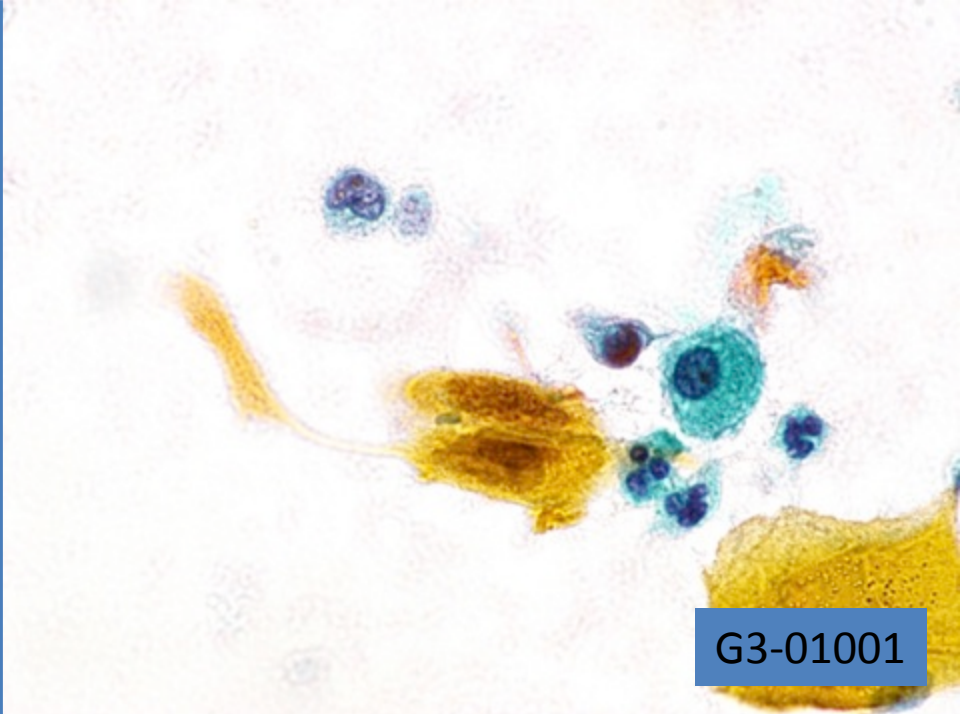
- ・ 細胞質の厚みに乏しい
- ・ 変性所見あり(G3-01004, 01005, 01006)

その他

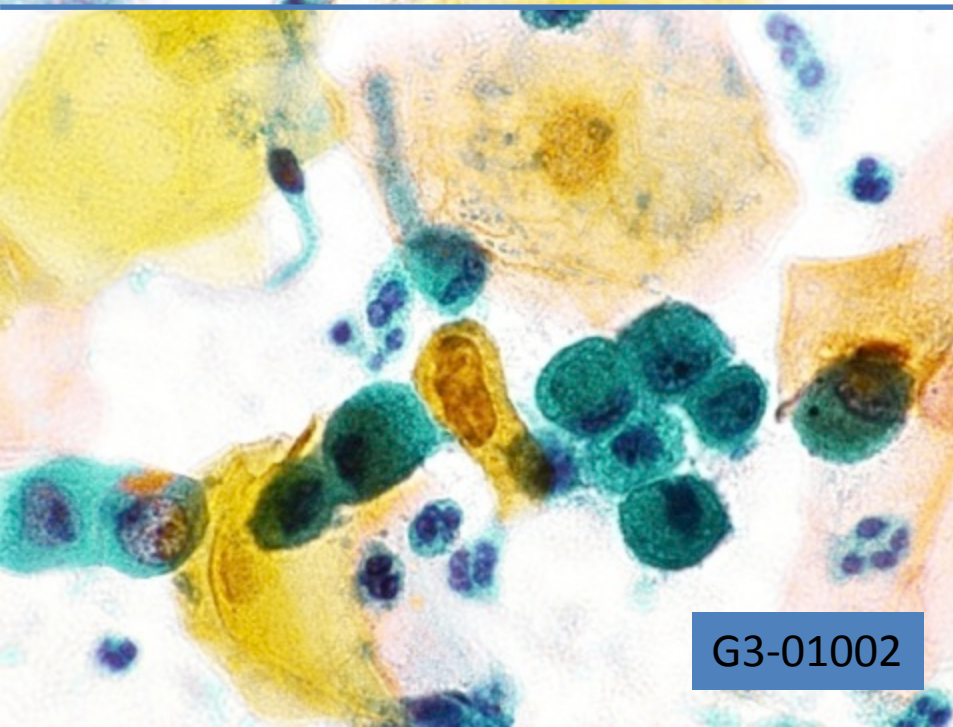
- ・ 奇妙な形の細胞の粗顆粒状クロマチンは中等度以上に増量(G3-01000,01001,01002,01010)
- ・ 癌を強く疑う所見



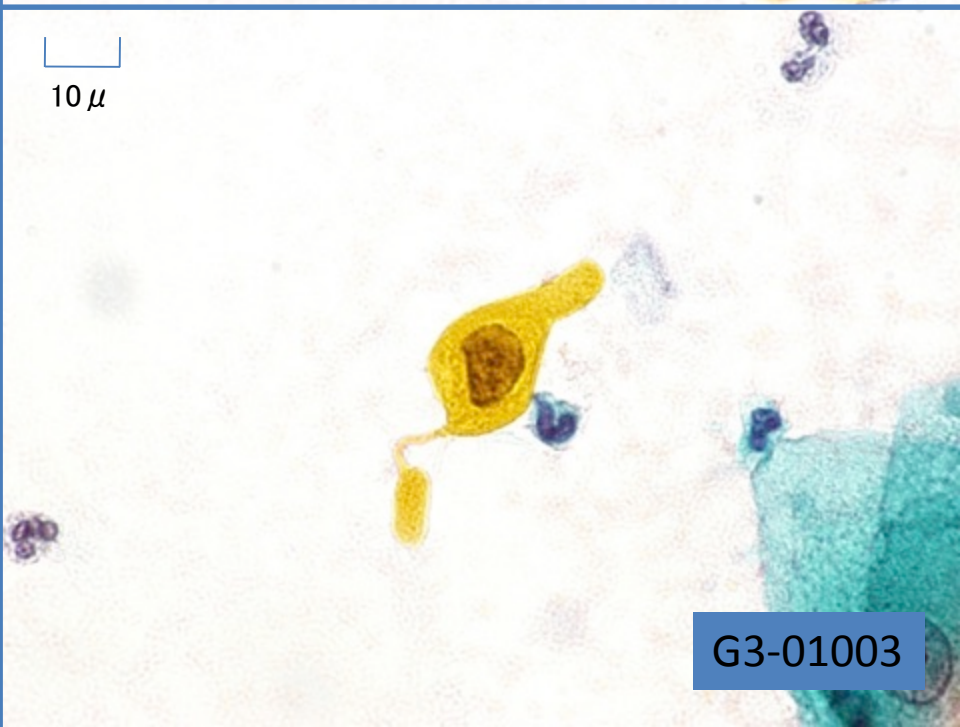
G3-01000



G3-01001

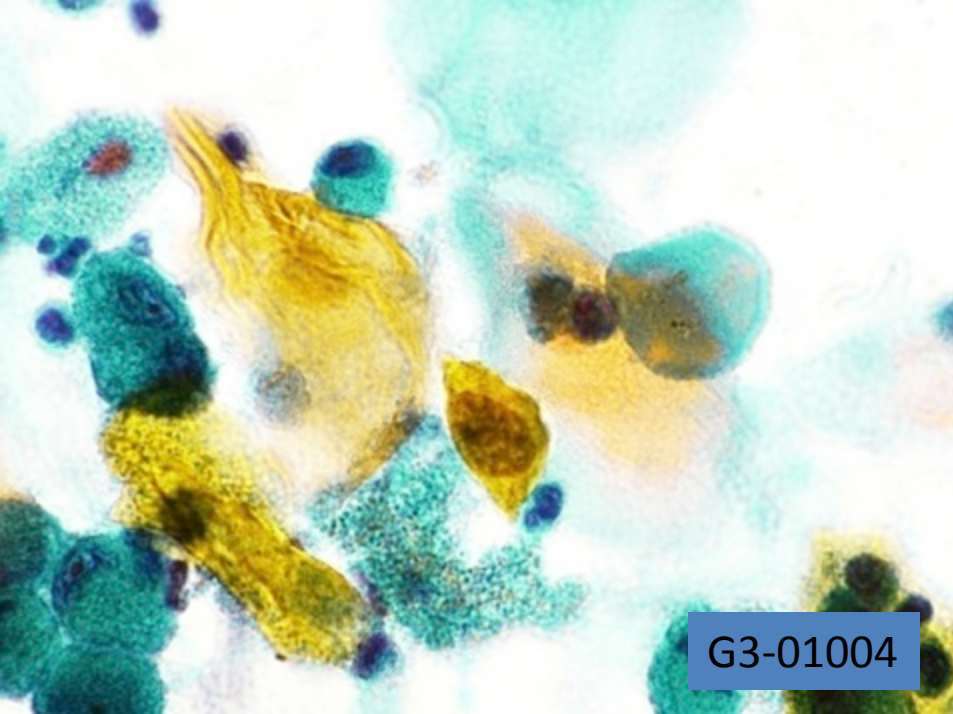


G3-01002

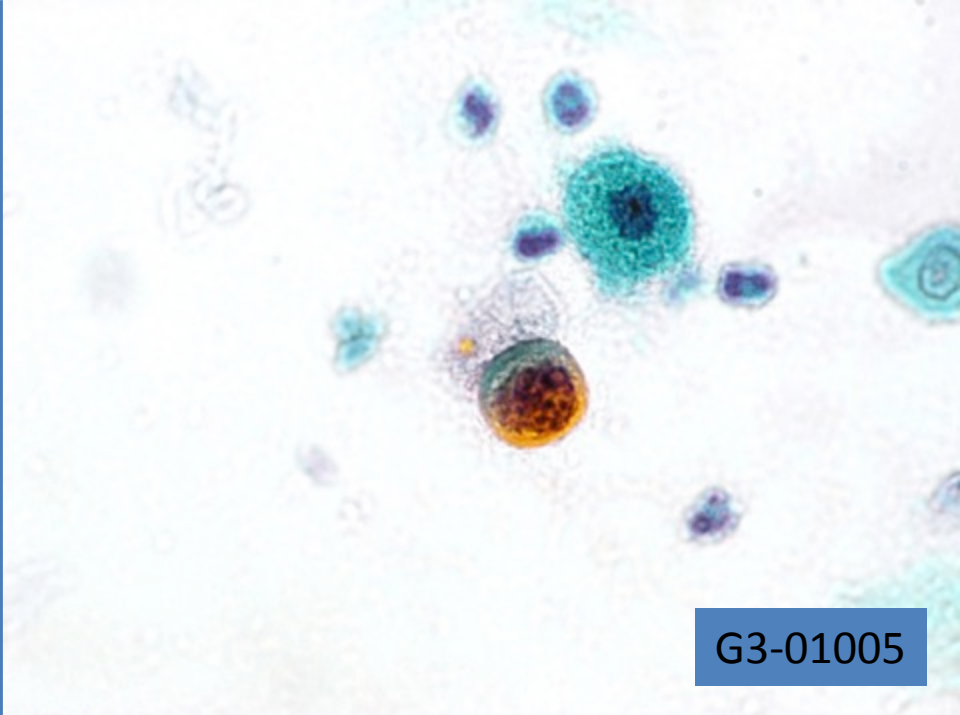


G3-01003

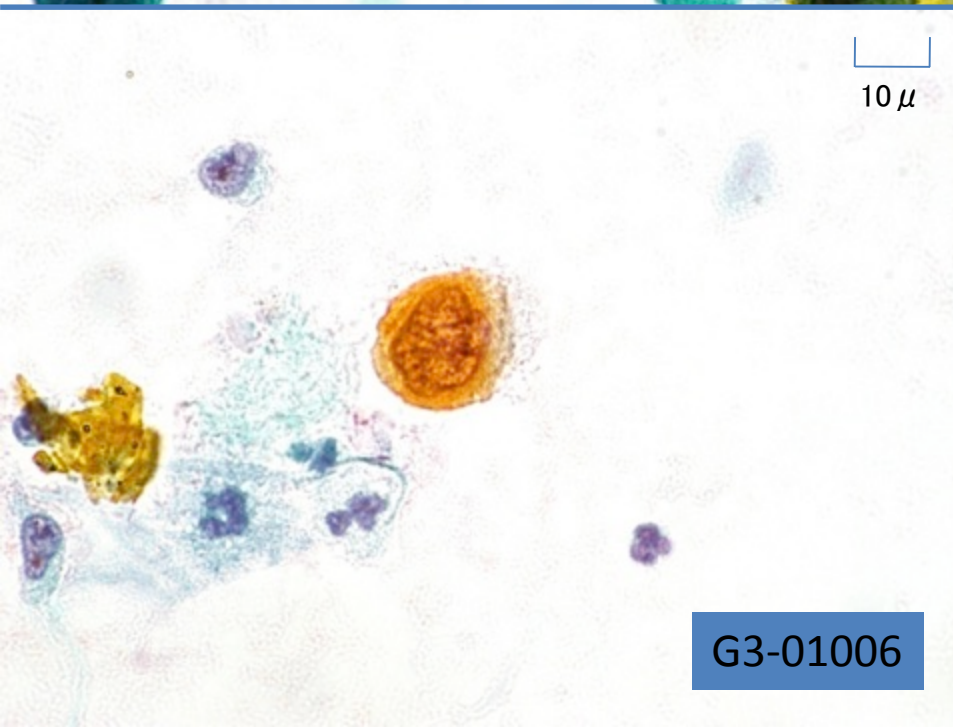
10 μ



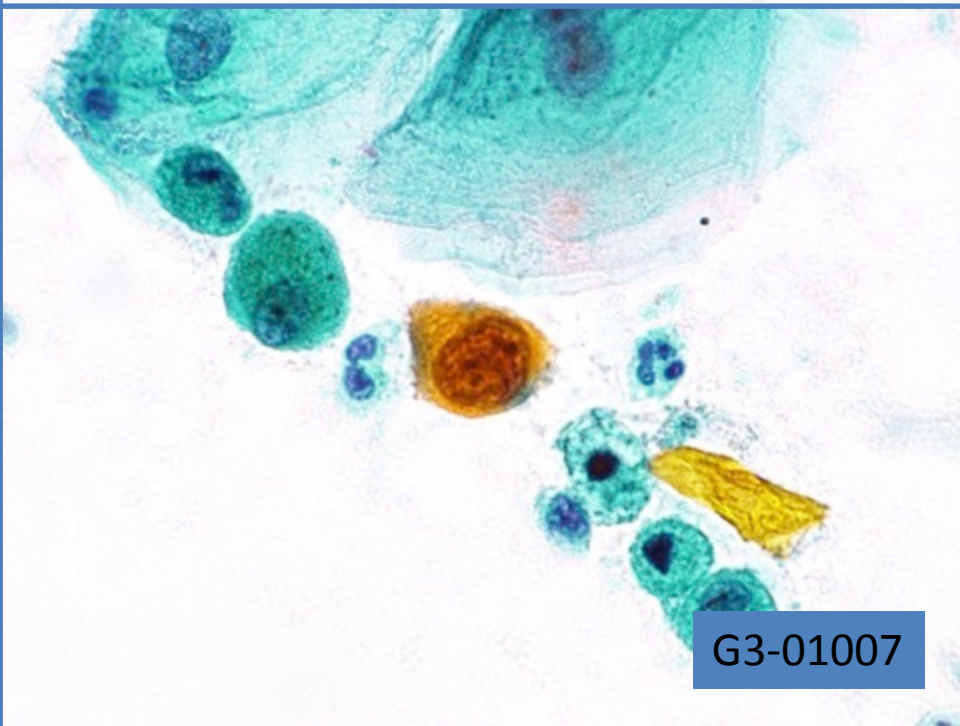
G3-01004



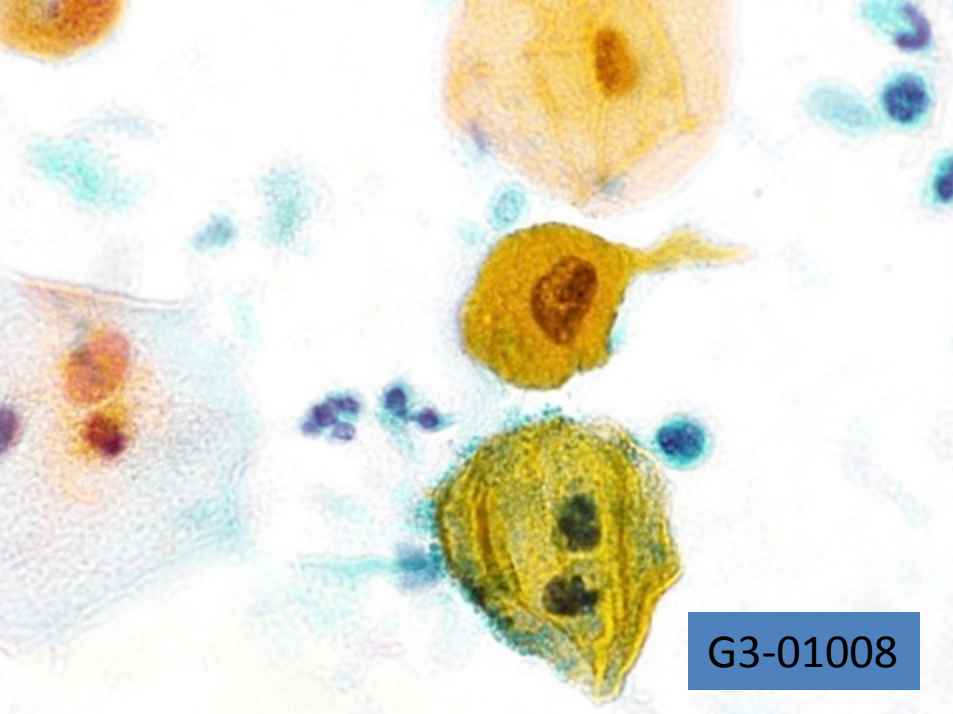
G3-01005



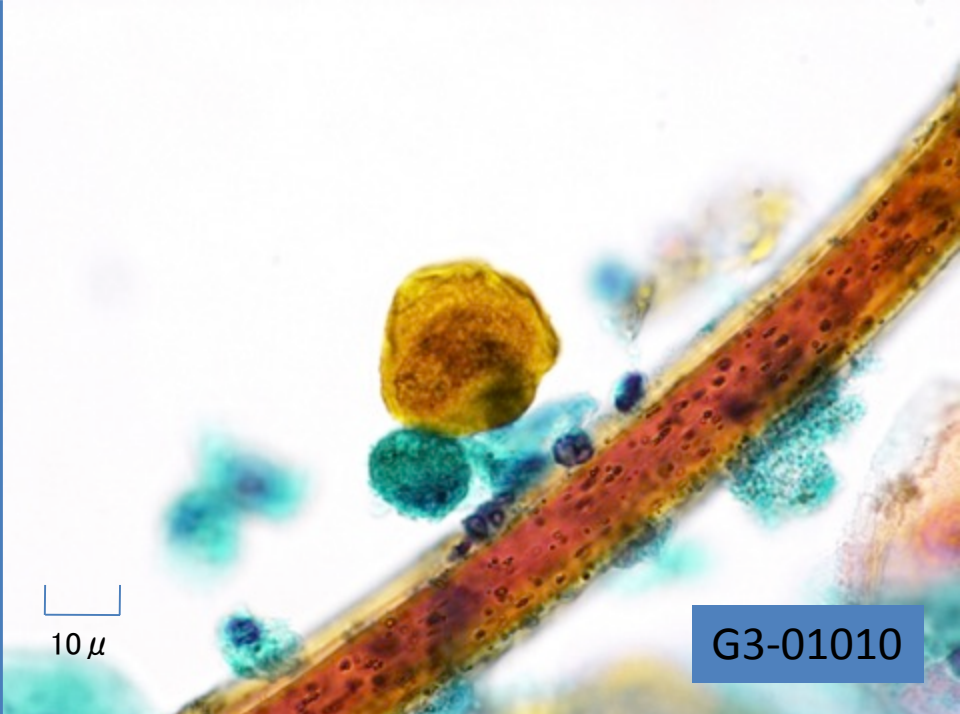
G3-01006



G3-01007



G3-01008



10 μ m

G3-01010

症例 D14

D判定

6施設再判定:C 1、D 5

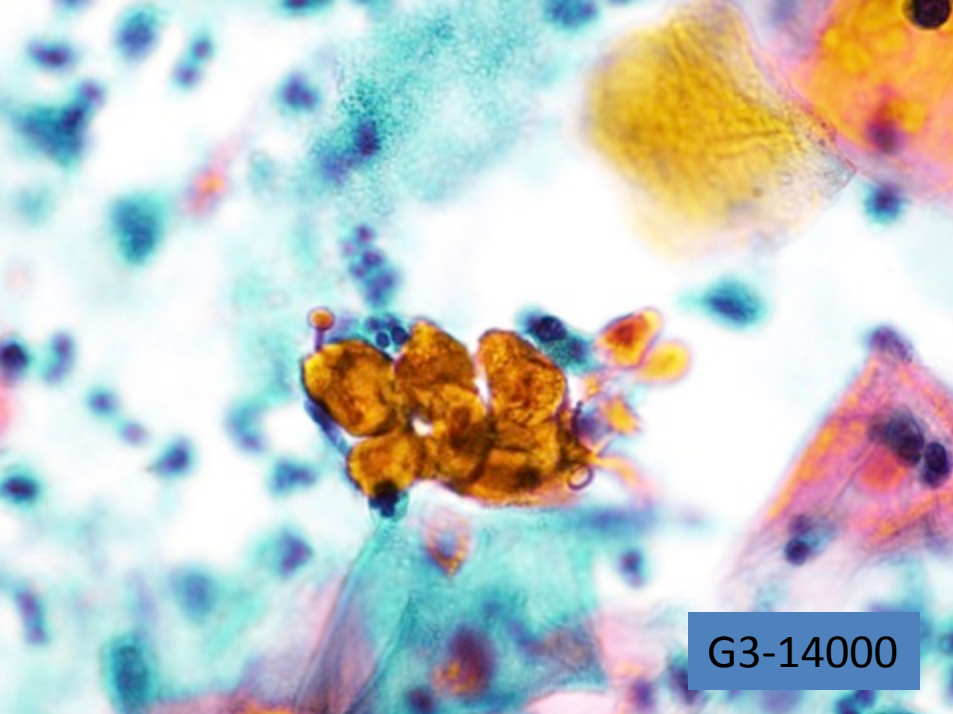
類円形～不整形の小型細胞で、OGに過染し、クロマチンは中等度増量を呈する。

C判定としない理由

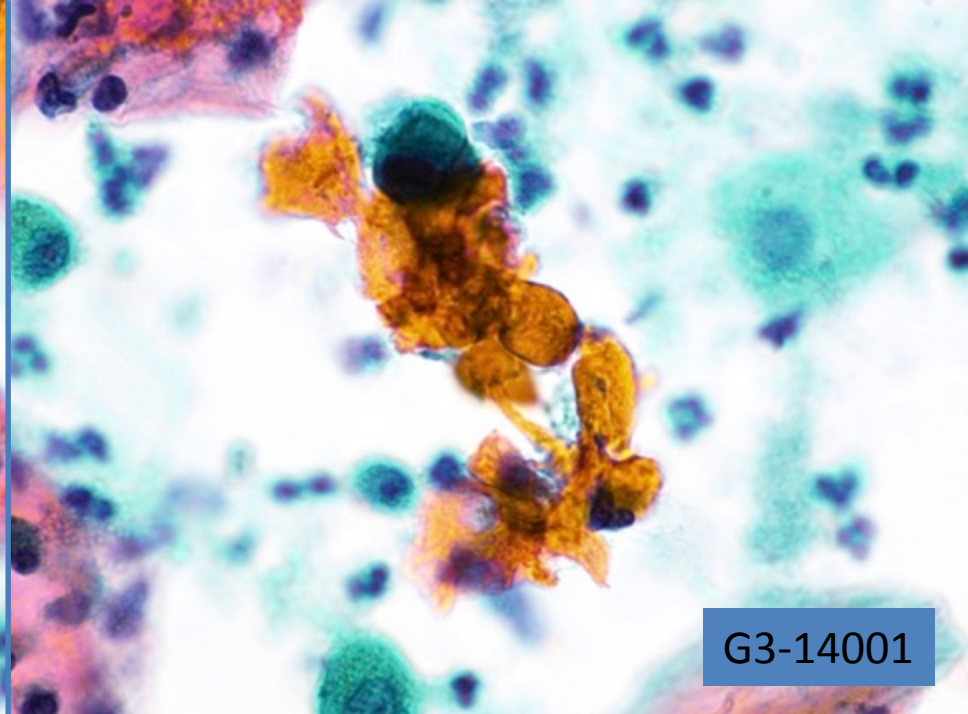
- ・ 細胞質が厚い
- ・ 核濃染
- ・ 奇妙な形の細胞の出現

E判定としない理由

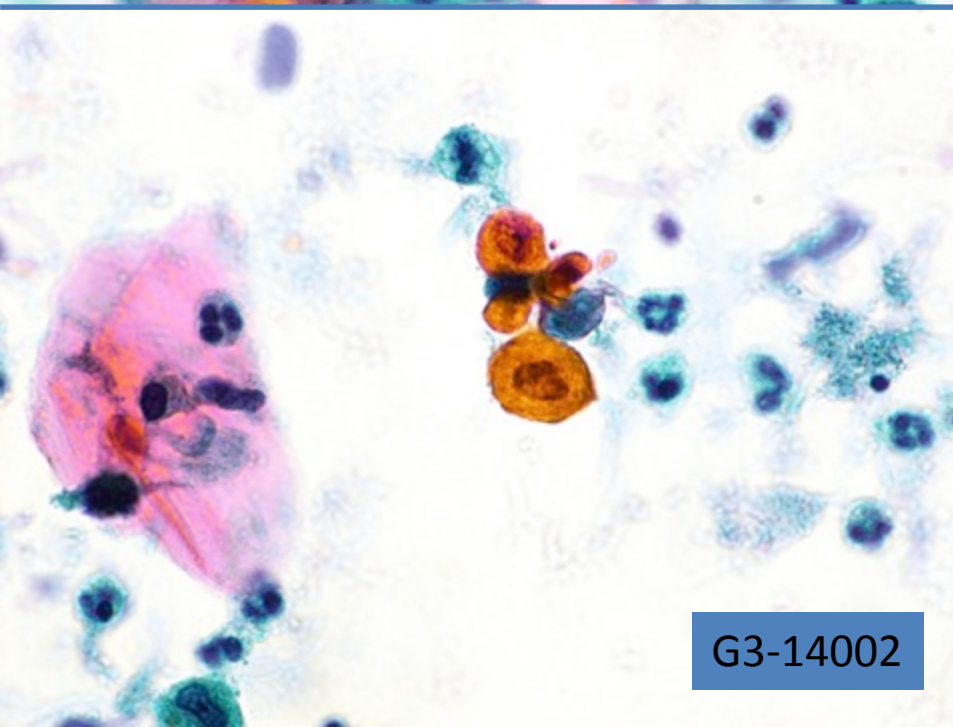
- ・ 小型の細胞が主体
- ・ N/C比が大きい細胞が見られない



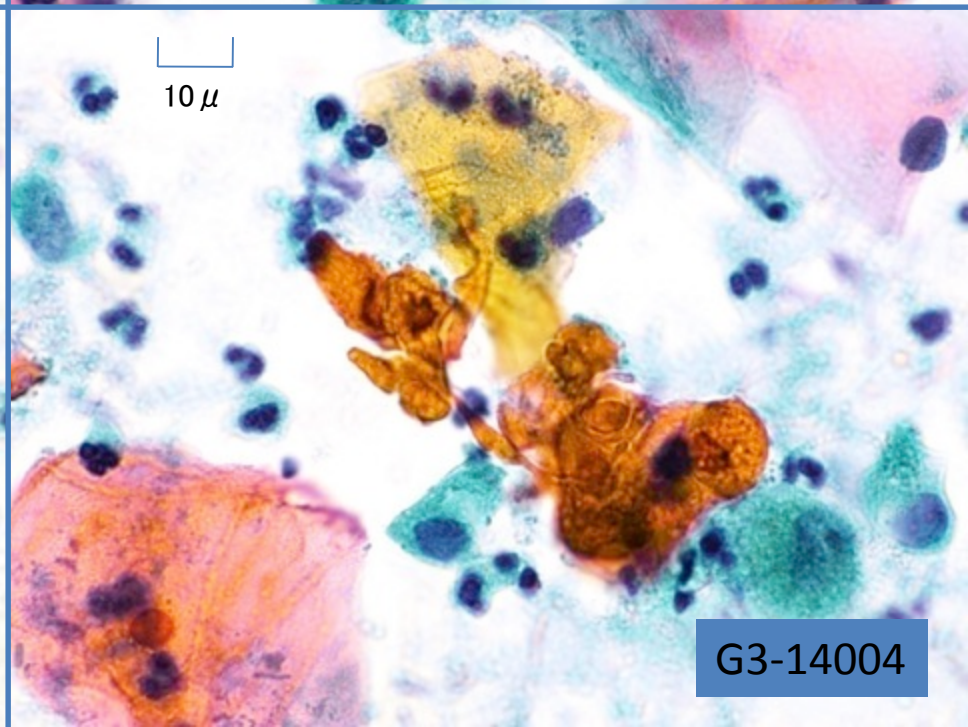
G3-14000



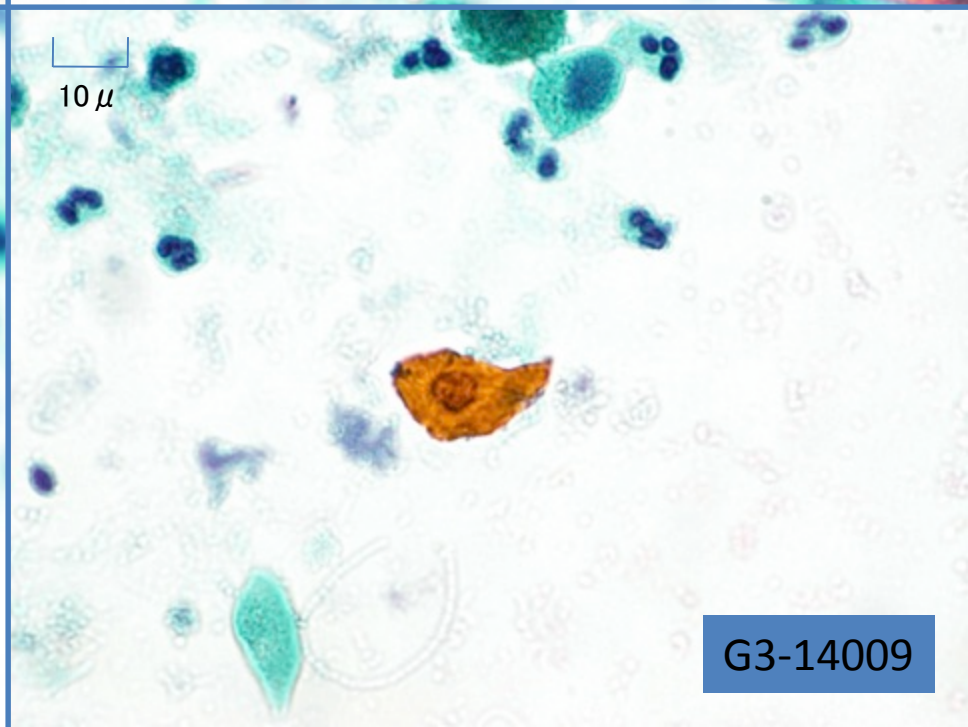
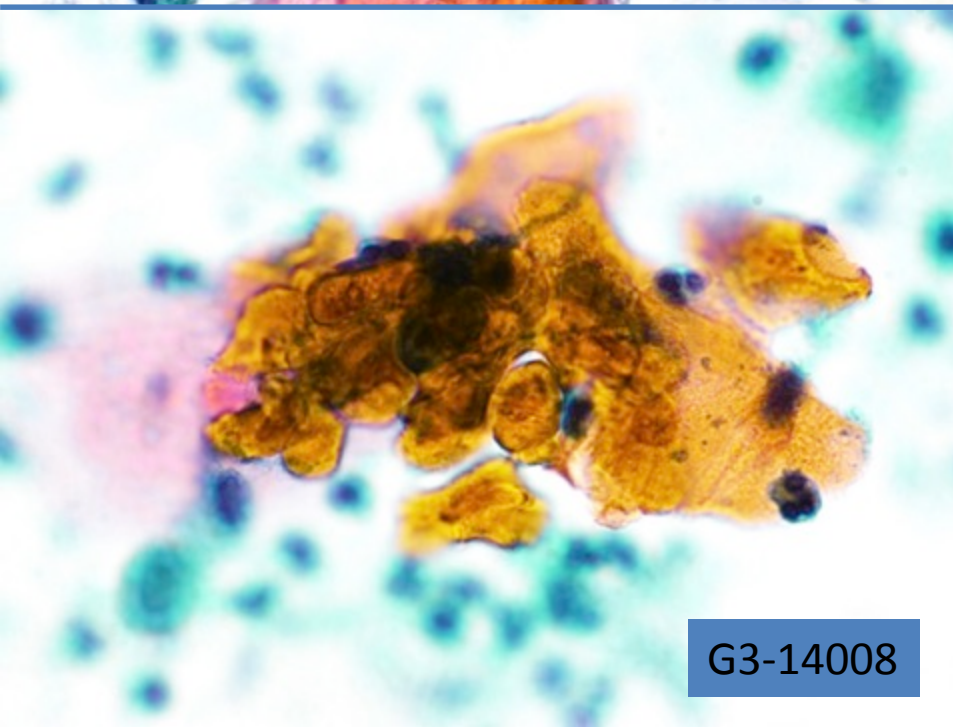
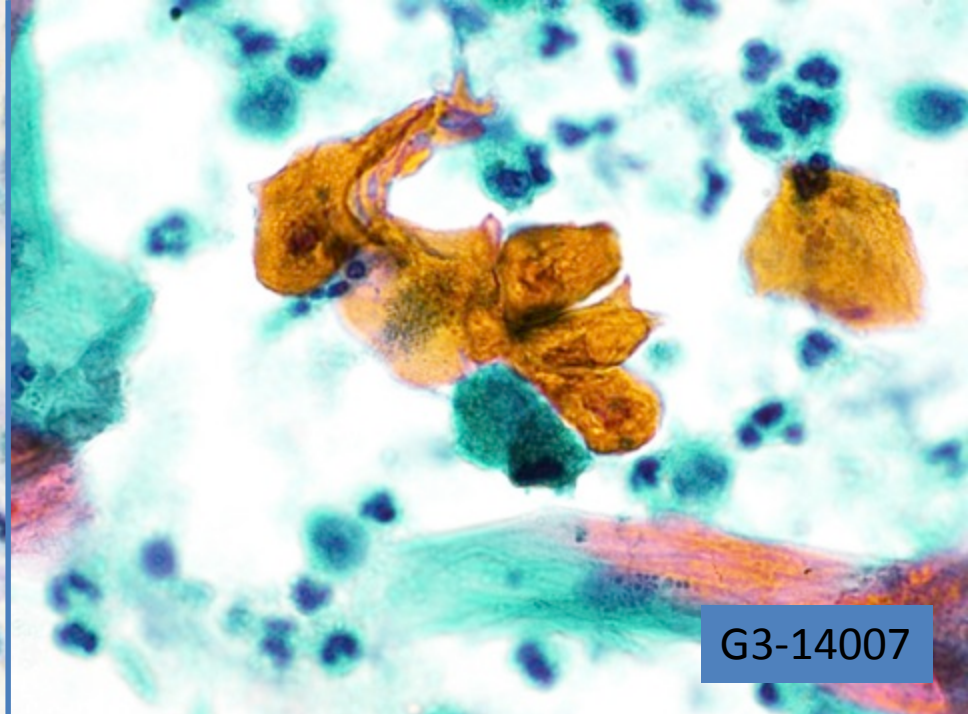
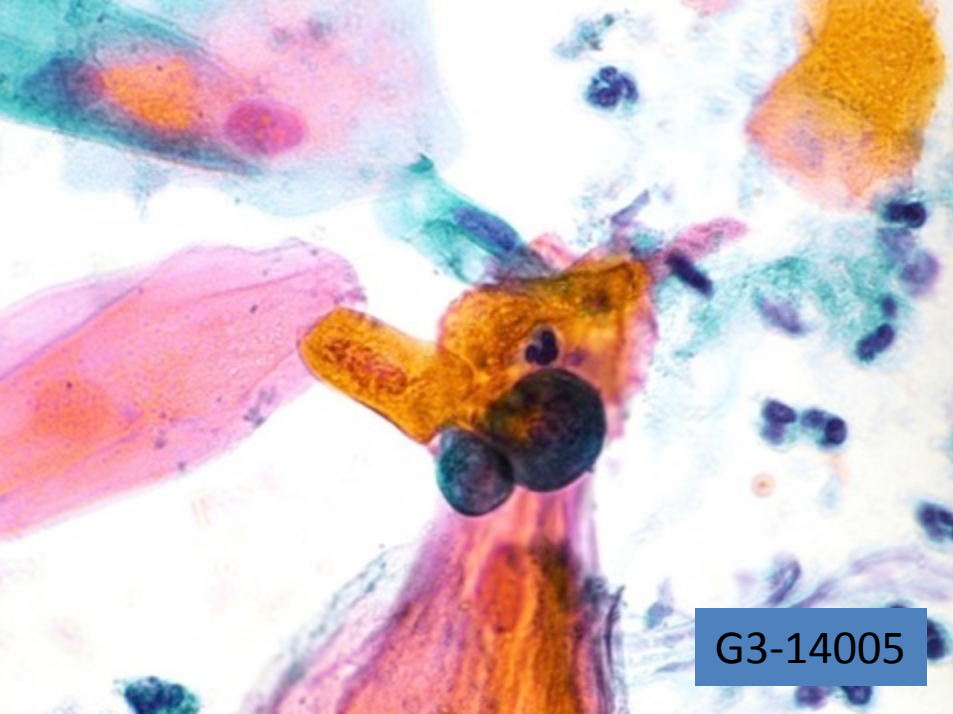
G3-14001

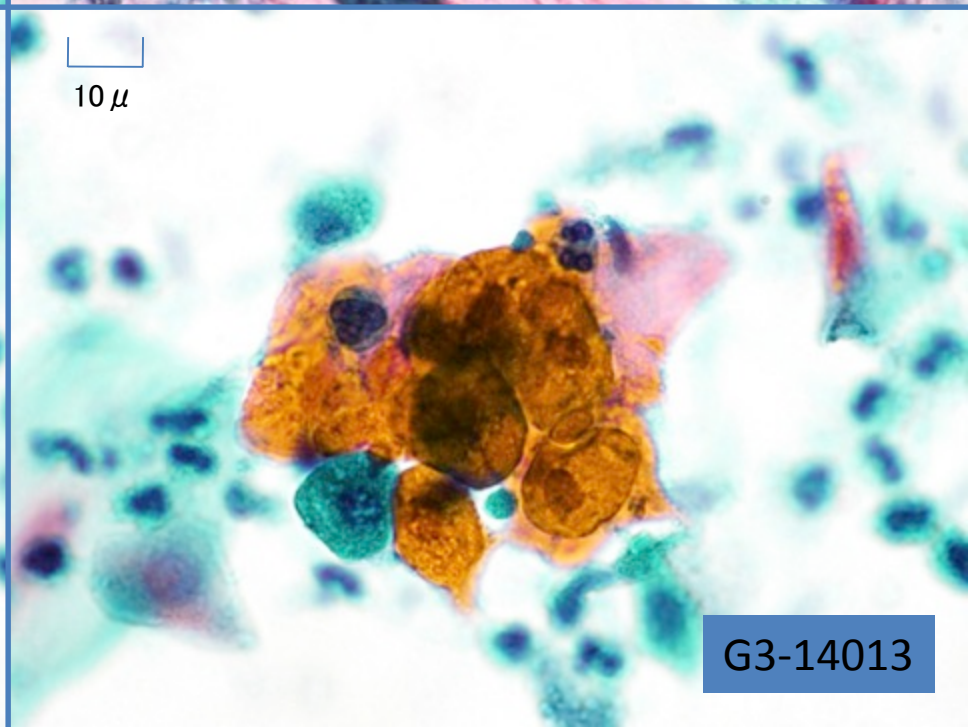
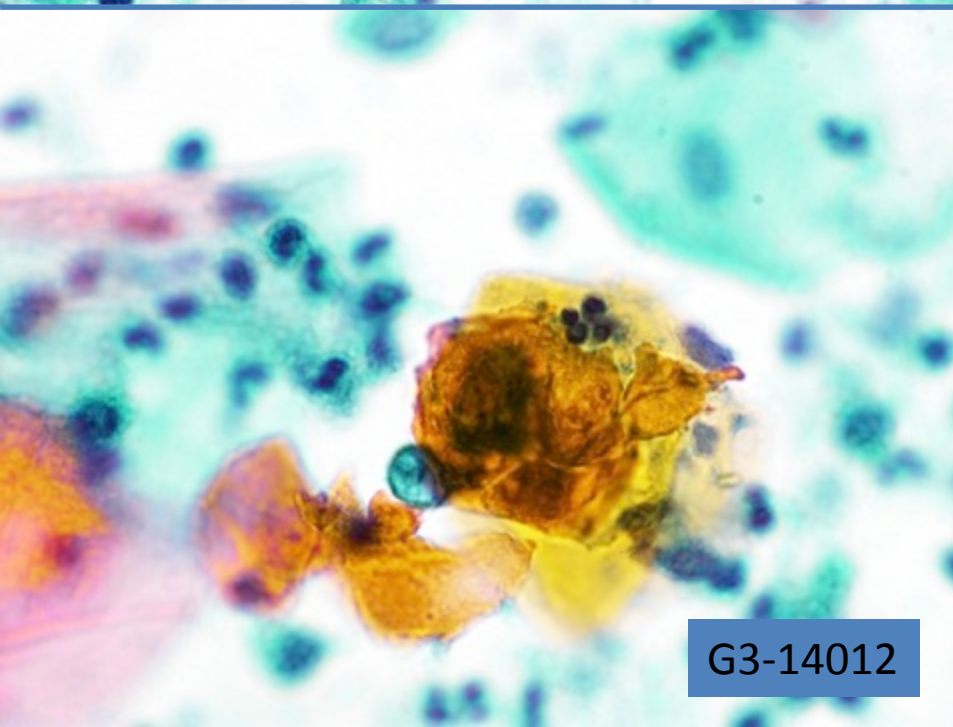
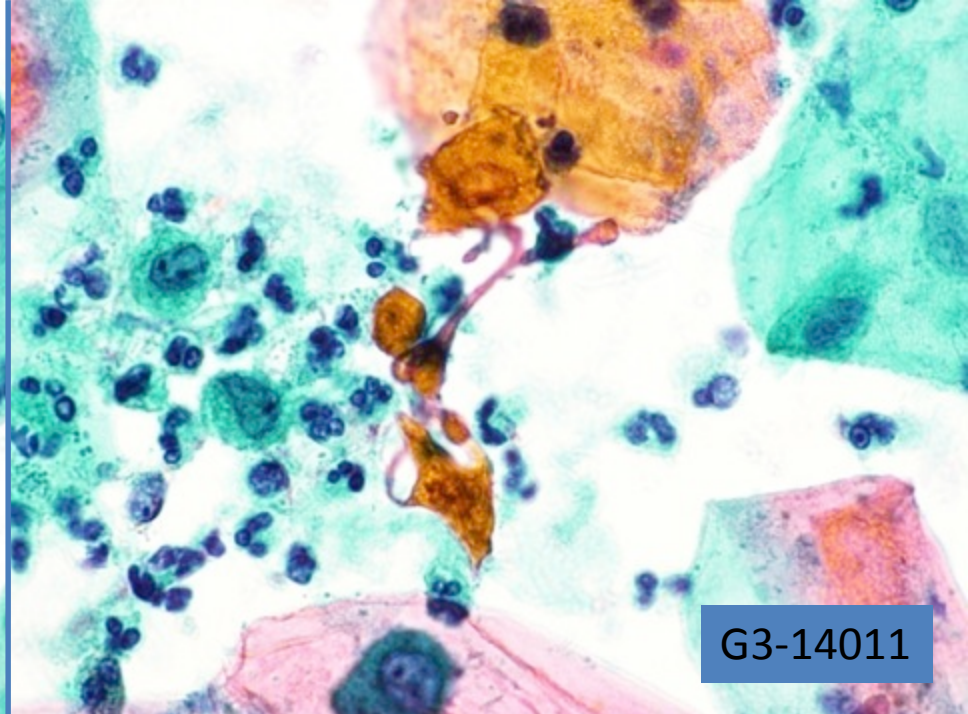
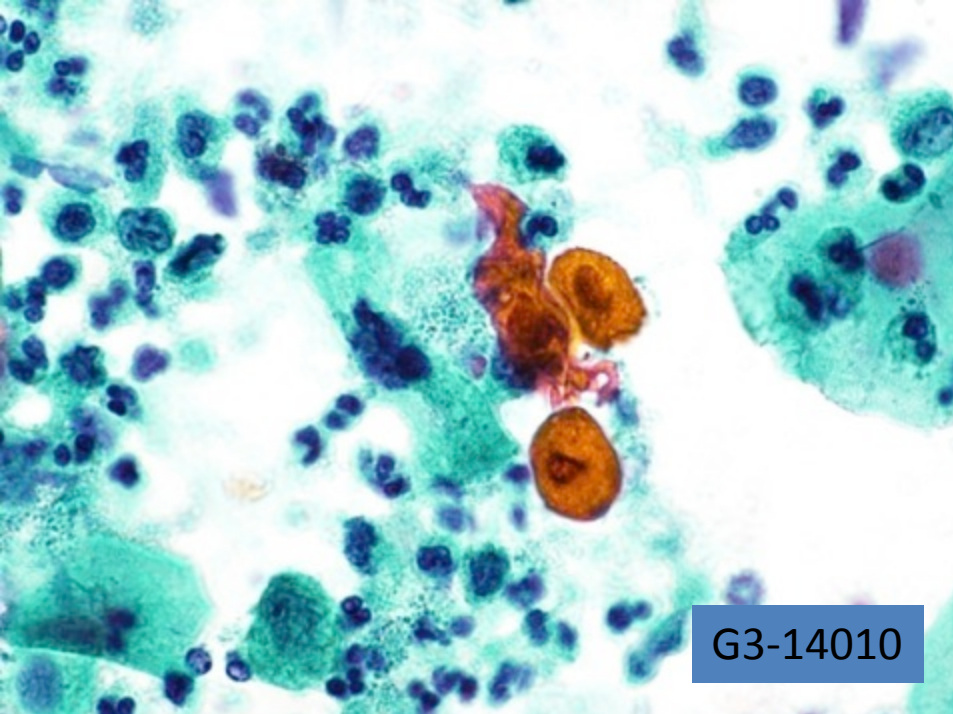


G3-14002

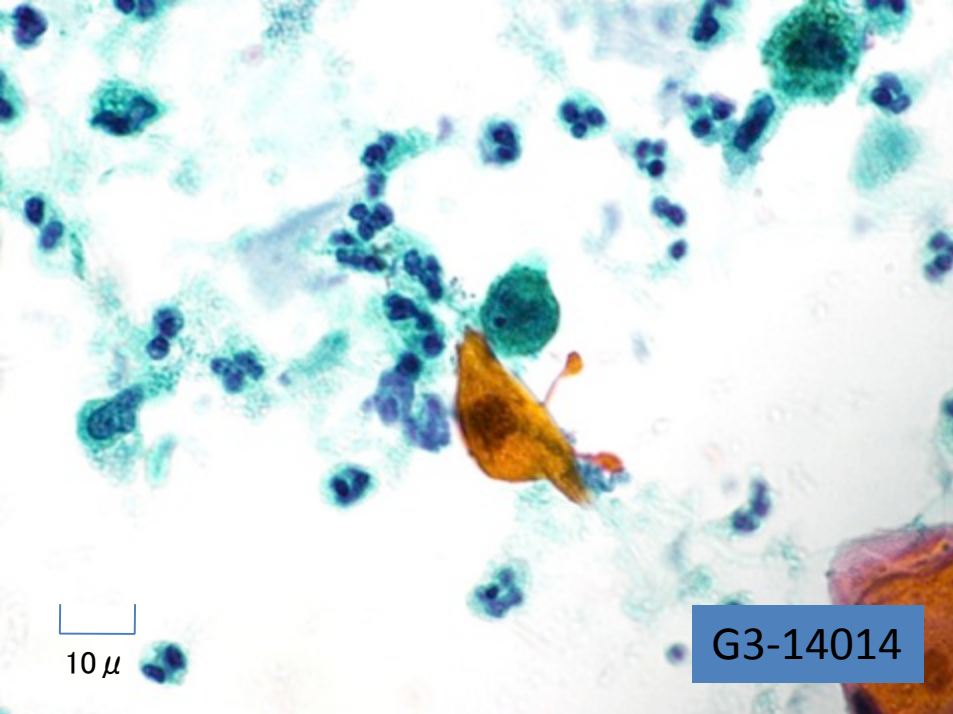


G3-14004





10 μ



G3-14014

症例 D15

D判定

6施設再判定:C 1、D 5

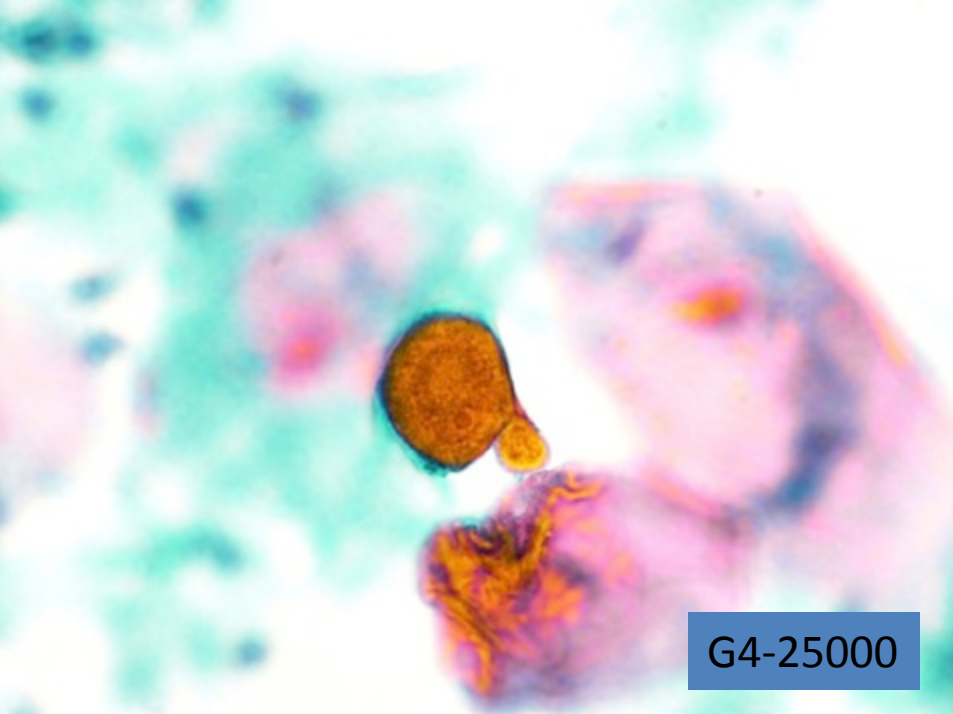
エオジンに濃染する中型類円形細胞で、細胞質の厚みを有し、N/C比大の類円形核は核縁にクロマチン分布し、増量程度に乏しい。

C判定としない理由

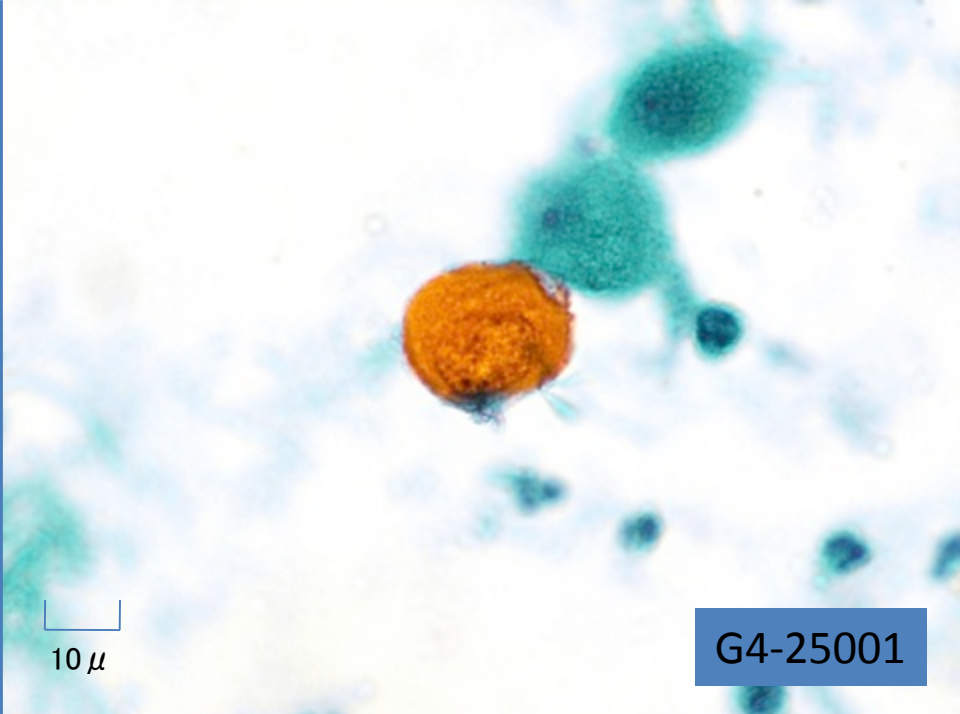
- ・ 細胞質の厚み
- ・ N/C比大の中型細胞

E判定としない理由

- ・ 変性によりクロマチン増量程度が不明瞭

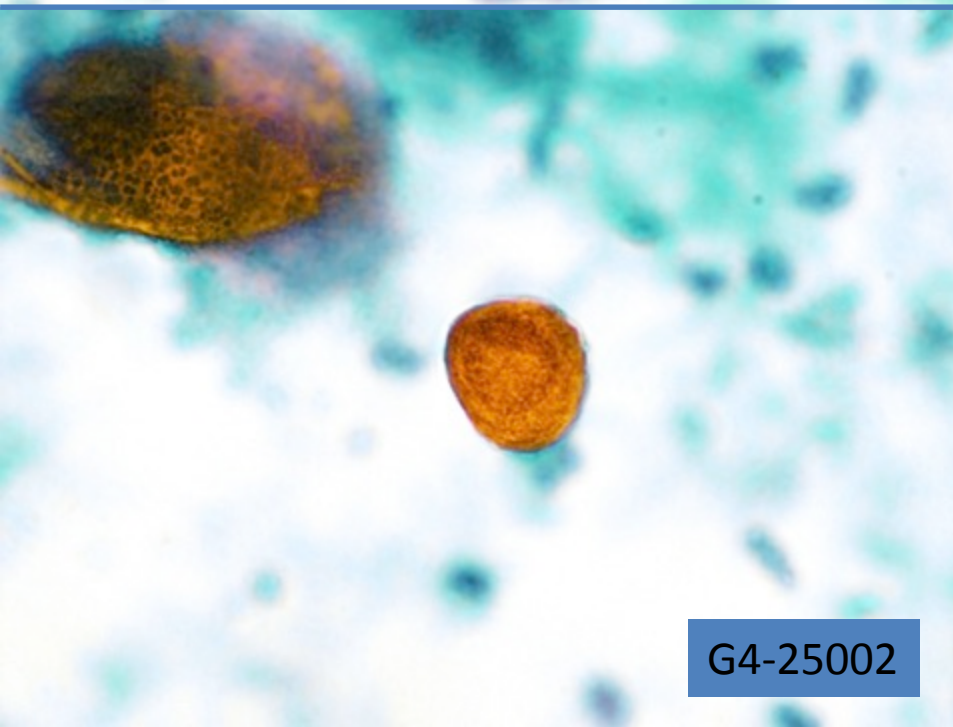


G4-25000



G4-25001

10 μ



G4-25002

症例 D16

D判定

6施設再判定:C 1、D 5

OG濃染や深青緑色など多彩な染色性の小型～中型細胞が主体で、多核細胞も認める。N/C比中～大で、クロマチン中等度増量を呈する。

C判定としない理由

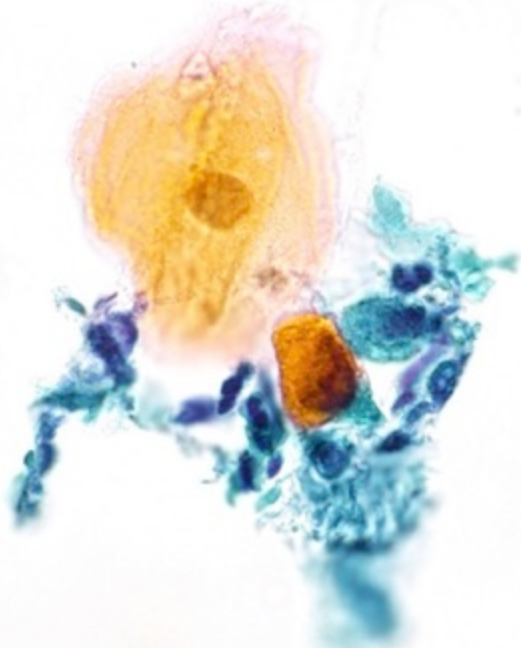
- ・ 細胞質厚い
- ・ 核形不整
- ・ 集塊中の核が大きくN/C比大(G6-19007)

E判定としない理由

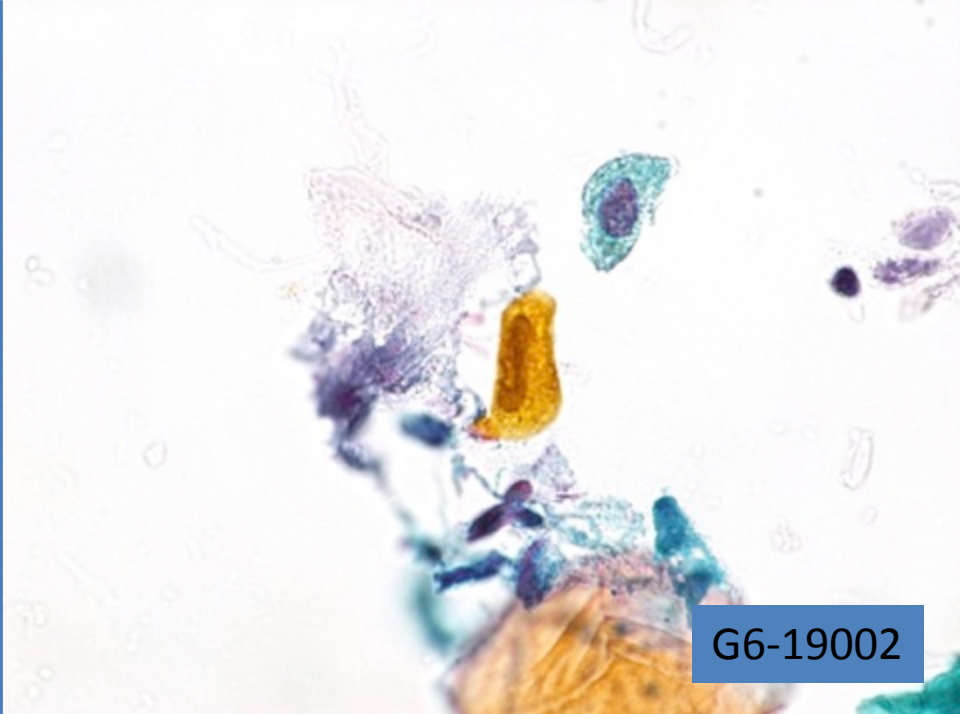
- ・ クロマチン中等度増量まで
- ・ 変性所見もあり

その他

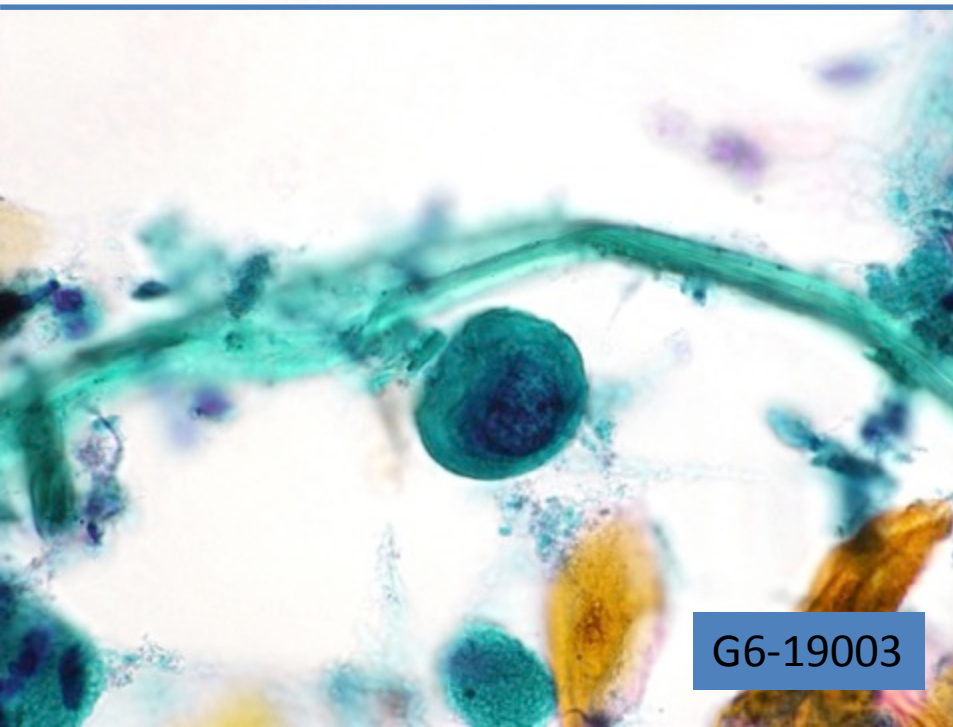
- ・ 小型～中型のN/C比大の厚みを有する細胞(G6-19000,19005)
- ・ 癌を強く疑う所見



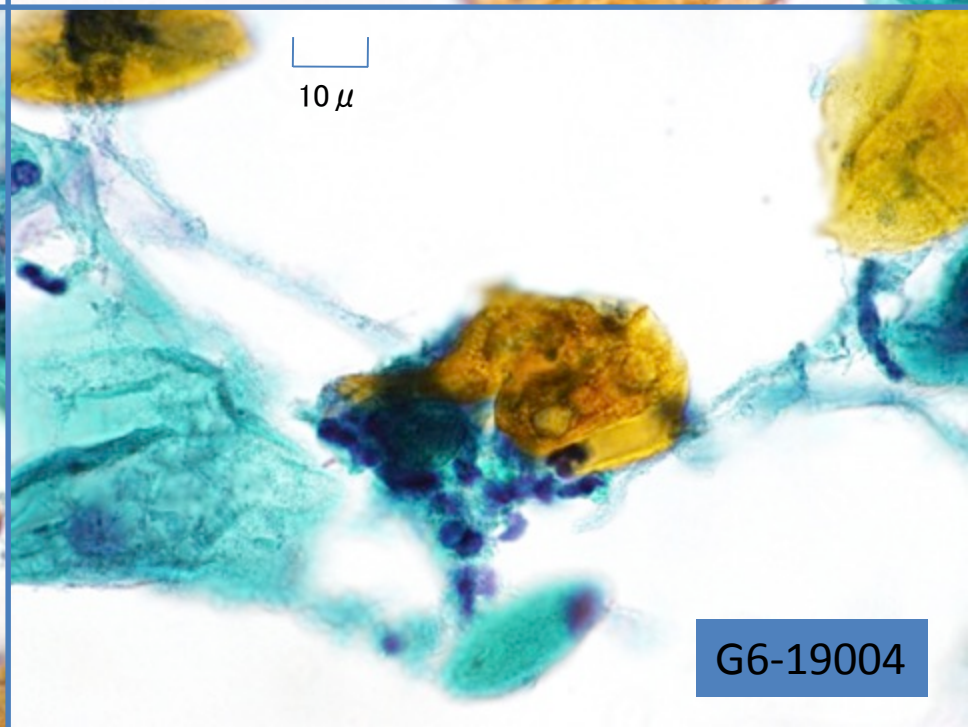
G6-19000



G6-19002



G6-19003



G6-19004

